

**第7次川越町総合計画 後期基本計画
策定に向けた住民意識調査**

報 告 書

**令和7年2月
川 越 町**

目 次

| | |
|---|-----------|
| 序 章 調査の概要 | 1 |
| (1) 調査の目的..... | 1 |
| (2) 調査の概要..... | 1 |
| (3) 報告書の見方..... | 1 |
| 第1章 回答者のプロフィール | 3 |
| (1) 性別..... | 3 |
| (2) 年齢..... | 4 |
| (3) 住まいの地区..... | 5 |
| (4) 同居人の状況..... | 6 |
| (5) 居住歴..... | 7 |
| (6) 川越町に移り住んだ理由..... | 8 |
| 第2章 川越町のまちの状況 | 10 |
| (1) 川越町の住みやすさ..... | 10 |
| (2) 定住意向..... | 11 |
| (3) 住み続けたい理由..... | 12 |
| (4) 移転したい理由..... | 14 |
| 第3章 川越町の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度 | 16 |
| (1) 暮らしの満足度..... | 16 |
| (2) 今後のまちづくりの重要度..... | 47 |
| (3) 満足度と重要度の関係..... | 79 |
| 第4章 川越町の将来のまちづくり | 83 |
| (1) まちの将来イメージ..... | 83 |
| (2) 定住促進策..... | 84 |
| (3) 就業対策..... | 85 |
| (4) 災害対策..... | 86 |
| (5) 環境対策..... | 87 |
| (6) 子ども・子育て施策..... | 88 |
| (7) 学校教育..... | 89 |
| (8) 生涯学習..... | 90 |
| (9) 高齢者・障害者施策..... | 91 |
| 第5章 行政サービスのデジタル化について | 92 |
| (1) 行政情報の入手手段..... | 92 |
| (2) 関心のある行政情報..... | 93 |

(3) IT・デジタル化で町が取り組むべきこと 94

第6章 協働のまちづくりについて 96

(1) 地区を良くしていくための活動への参加状況 96

(2) 地区を良くしていく活動への今後の参加意向 97

(3) 住民参加や住民主体のまちづくりを推進するために町として行うべきこと 98

(1) 調査の目的

本町では、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする第7次川越町総合計画にもとづき、「つながる笑顔 ず〜〜っと暮らしたい町 かわごえ」をめざして、まちづくりを進めています。この第7次川越町総合計画が策定後、中間年次を迎えることから、これまでの事業の進捗状況を評価・検証しながら、昨今の社会経済状況と今後の社会環境の変化、住民ニーズなどに対応したまちづくりが進められるように、現在、令和8年度から5年間のまちづくりの方向性を示す「第7次川越町総合計画 後期基本計画」としての見直し作業を行っています。

そこで、現在の川越町に対する評価や、今後のまちづくりに関する住民意向を把握し、計画策定に役立てるため、住民意識調査を実施しました。

この結果は、第7次川越町総合計画に沿って進めてきたこれまでの施策・事業の評価・点検として、また後期基本計画の策定に向けた基礎資料として活用していきます。

(2) 調査の概要

本調査の概要は、以下に示すとおりです。

- 調査対象：川越町在住の18歳以上の男女
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収及びインターネット回答
- 調査時期：令和6年9月～10月
- 配布数：3,000票
- 回収数：1,317票（内インターネット回答：456票）
- 有効回収数：1,315票（内インターネット回答：456票）
- 有効回収率：43.8%（令和元年度：49.0%、平成26年度：51.2%）

(3) 報告書の見方

- 図中の構成比（%）は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。
- 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表わしています。
- 性別・年齢別などのクロス集計の結果については、全体と比較しておよそ±10%以上の差異がある場合にのみ、分析結果を言及しています。
- なお、今回、1,315人から回答を得ましたが、この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるのかは、アンケート結果に対する標本誤差を算出し、その誤差範囲により検討することができます。この標本誤差を算出すると、下記の通りで、最も誤差の大きい場合でも±2.56%となり、18歳以上の全町民に回答してもらった場合と比べて最高で±2.56%の誤差しか生じない結果となり、統計上有効な結果であると考えられます。

図表 標本誤差

| 母集団 | 標本数 | 抽出率 | 回答割合 | | | | |
|--------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|------|
| | | | 10%・90% | 20%・80% | 30%・70% | 40%・60% | 50% |
| 13,093 | 1,315 | 10.0% | 1.54 | 2.05 | 2.35 | 2.51 | 2.56 |

$$\sigma = k \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

M : 母集団
n : 有効回収数
p : 結果の比率
k : 信頼度による定数
 σ : 標本誤差

※信頼度を95%とすると、 $k=1.96$ となる。

第1章 回答者のプロフィール

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

◆男性 40.8%、女性 57.3%と、女性の割合が高くなっています。

- 回答者の性別をみると、男性 40.8%、女性 57.3%と、女性の回答者の割合が 16.5 ポイント高くなっています。
- 令和6年10月1日現在の住民基本台帳における町内の18歳以上人口が13,093人であり、そのうち男性が6,762人(51.6%)、女性が6,331人(48.4%)となっており、現在の住民の性別構成に比べ、男性が10.8ポイント低く、女性が8.9ポイント高くなっています。
- なお、前回、前々回の調査と比べて、女性の割合が高くなっています。

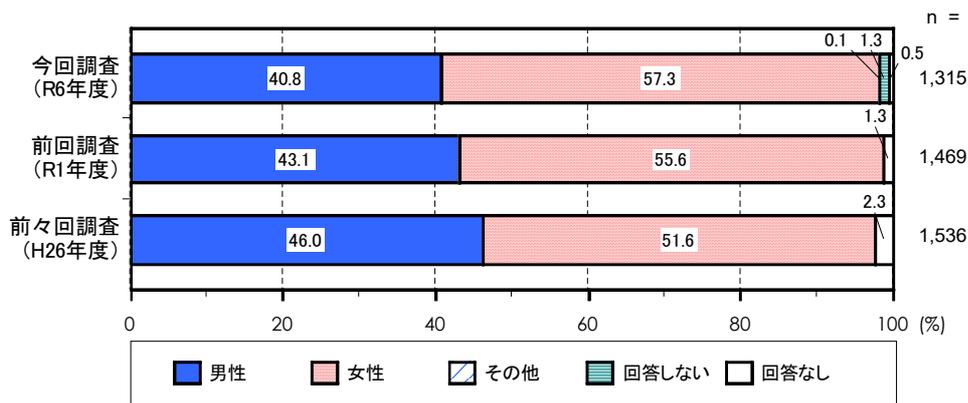


図 1-1 性別（前回・前々回との比較）

(2) 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。

◆40歳代が最も割合が高く、次いで50歳代、30歳代、20歳代となっています。

○回答者の年齢をみると、40歳代の割合が22.2%で最も割合が高く、次いで50歳代（20.8%）、30歳代（18.2%）となっており、中高年の回答率が高くなっています。

○令和6年10月1日現在の住民基本台帳における町内の18歳以上人口の年齢別構成は、20歳未満（18歳・19歳）が2.3%、20歳代が17.2%、30歳代が16.3%、40歳代が17.3%、50歳代が18.4%、60～64歳が6.3%、65～69歳が4.4%、70～74歳が5.1%、75歳以上が12.8%となっています。人口の年齢構成と回答者の年齢構成を比較すると、20歳代、75歳以上の回答が少なく、40歳代、50歳代の回答が多い結果となっています。

○なお、前回・前々回の調査と比較して、60歳以上の回答が少なく、20歳代～50歳代の回答が多くなっています。

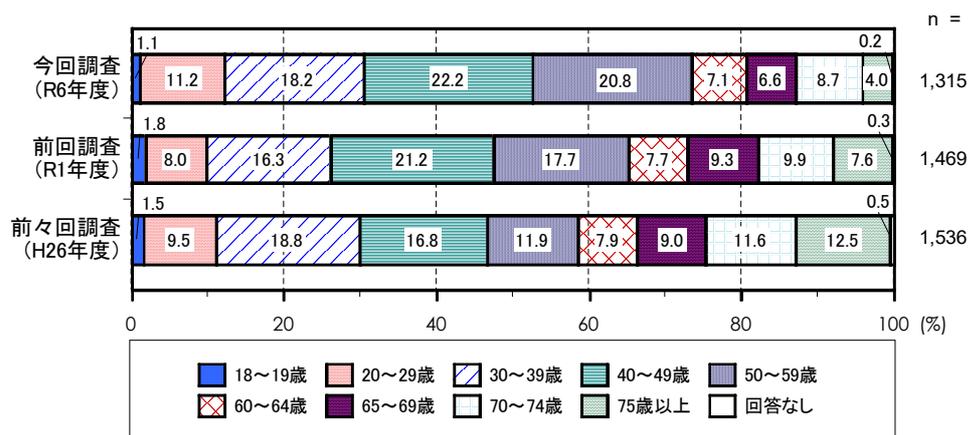


図 1-2 年齢（前回・前々回との比較）

(3) 住まいの地区

問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。

◆回答者の住まいの地区は、豊田地区が最も割合が高く、次いで南福崎地区、高松地区、豊田一色地区の割合が高くなっています。

○回答者の住まいの地区については、「豊田地区」が25.3%で最も割合が高く、次いで「高松地区」(16.0%)、「南福崎地区」(15.4%)、「豊田一色地区」(11.7%)、「当新田地区」(10.1%)、「北福崎地区」(6.8%)、「天神地区」(5.9%)、「亀崎地区」(5.1%)、「亀須地区」(2.8%)、「上吉地区」(0.8%)の順になっています。

○前回調査と比較して「当新田地区」、「北福崎地区」、「亀須地区」、「高松地区」では回答の割合が高くなっていますが、「亀崎地区」、「上吉地区」、「北福崎地区」、「豊田一色地区」、「豊田地区」、「天神地区」では低くなっています。

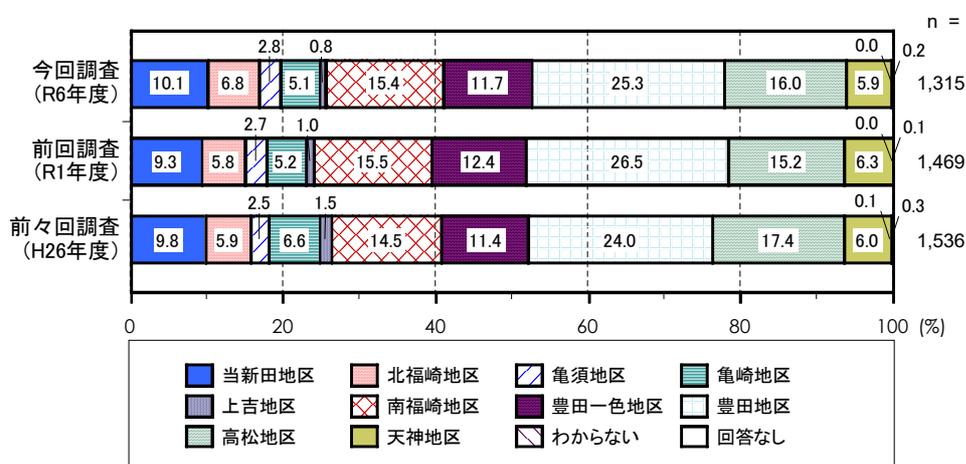


図 1-3 住まいの地区 (前回・前々回との比較)

(4) 同居人の状況

問4 あなたのお宅にはどのような方が同居されているかを教えてください。

◆住まいの同居人として、「子どもや高齢者以外の同居人がいる」が半数以上を占めて最も高くなっていますが、「小学生がいる」や「小学校入学前の子どもがいる」の世帯や、「65～74歳までの方がいる」、「75歳以上の方がいる」の高齢者がいる世帯も多くなっています。

○回答者の住まいの同居人については、「子どもや高齢者以外の同居人がいる（上記以外の同居人がいる）」が52.6%で最も割合が高くなっています。次いで「小学生がいる」（16.2%）、「65～74歳の方がいる」（15.8%）、「75歳以上の方がいる」（15.0%）、「小学校入学前の子どもがいる」（14.5%）となっており、子どもや高齢者がいる回答者が多くなっています。

○なお、「同居人はいない（単身世帯である）」は9.7%であり、前回調査に比べて1.0ポイント上昇しています。また、前回調査に比べ、「中学生がいる」や「高校生がいる」の回答の割合が高くなっています。

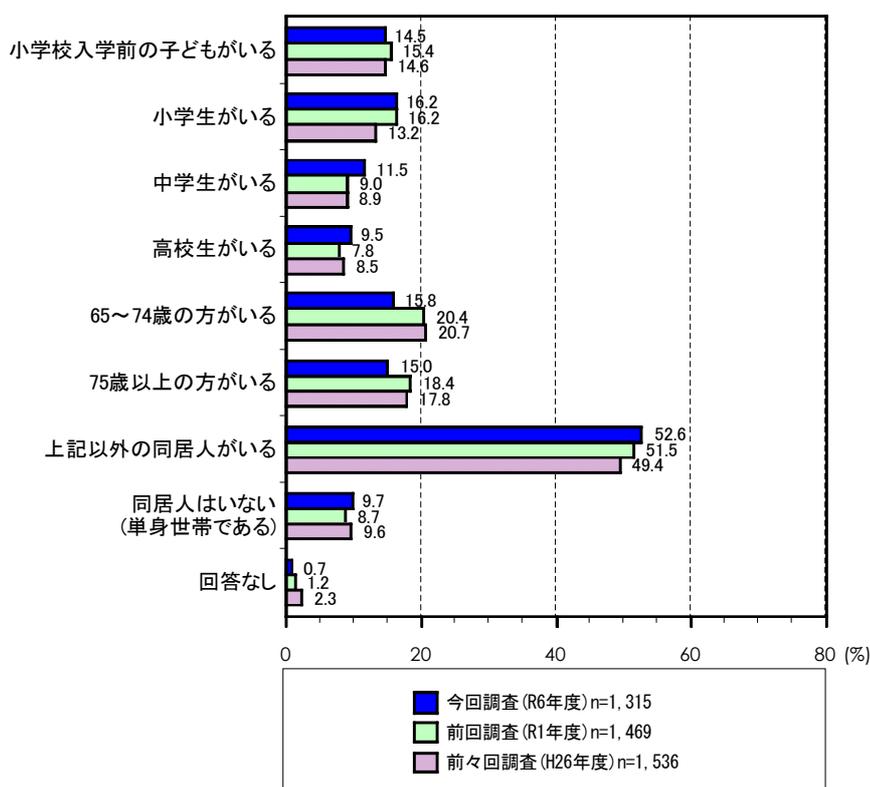


図1-4 同居人の状況（前回・前々回との比較）

(5) 居住歴

問5 あなたはいつから川越町に住んでいますか。

◆川越町に移り住んだ方が最も割合が高く、次いで、ずっと川越町に住んでいる方、川越町に戻ってきた方の順になっています。

○回答者の居住歴については、「生まれは他市町村でその後、川越町に移り住んだ」が67.1%で最も割合が高く、町外から移住してきた方が多くなっています。次いで「生まれたときからずっと川越町に住んでいる」(21.8%)、「生まれは川越町で、一旦、町外に移り住み、その後、Uターンして川越町に戻ってきた」(10.3%)となっています。

○前回調査と比較して、「生まれは他市町でその後、川越町に移り住んだ」が3.3ポイント上昇しています。また、「生まれたときからずっと川越町に住んでいる」が3.3ポイント、「生まれは川越町で、一旦、町外に移り住み、その後、Uターンして川越町に戻ってきた」が0.3ポイントそれぞれ低下しています。

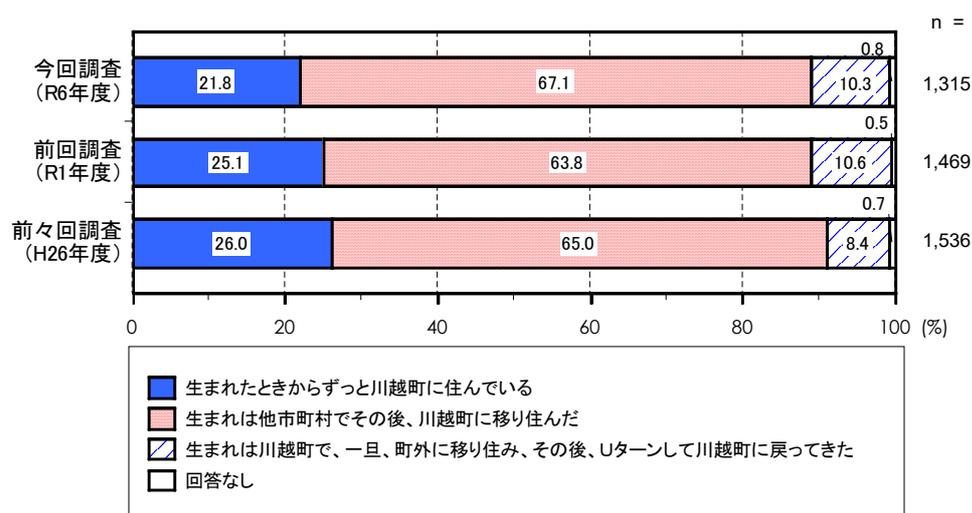


図 1-5 居住歴 (前回・前々回との比較)

問 5-1 あなたが川越町に移り住んだ理由は何かを教えてください。(1,017 名対象)

◆川越町に移り住んだ、もしくは川越町に戻ってきた方は、「実家や自宅があるため」、「働く場所が近くにあるため」、「住宅の価格・賃料が手頃であるため」、「買い物などが便利であるため」、「子育て支援などの子育てしやすい環境が充実しているため」などが多く、住宅と仕事の関係や、買い物の利便性、子育てのしやすさなどを理由に移り住んでいます。

○問 5 で「川越町に移り住んだ」もしくは「川越町に戻ってきた」と回答した 1,017 名の方の移り住んだ理由を尋ねたところ、「実家や自宅（配偶者の家なども含む）があるため」が 38.7% で最も割合が高くなっています。次いで、「働く場所が近くにあるため」（26.2%）、「住宅・土地の価格・賃料が手頃であるため」（21.7%）、「買い物などが便利であるため」（19.2%）、「子育て支援などの子育てしやすい環境が充実しているため」（14.4%）、「道路網が充実しているため」（12.4%）と続いています。

○なお、前回調査と比較して、「実家や自宅があるため」、「働く場所が近くにあるため」、「買い物などが便利であるため」、「子育て支援などの子育てしやすい環境が充実しているため」などの回答の割合が高くなっています。

○その他の回答として、川越町を選んだ理由ではありませんが、「結婚のため」、「親の都合」、「町内に家を建てる土地があったため」などとなっています。

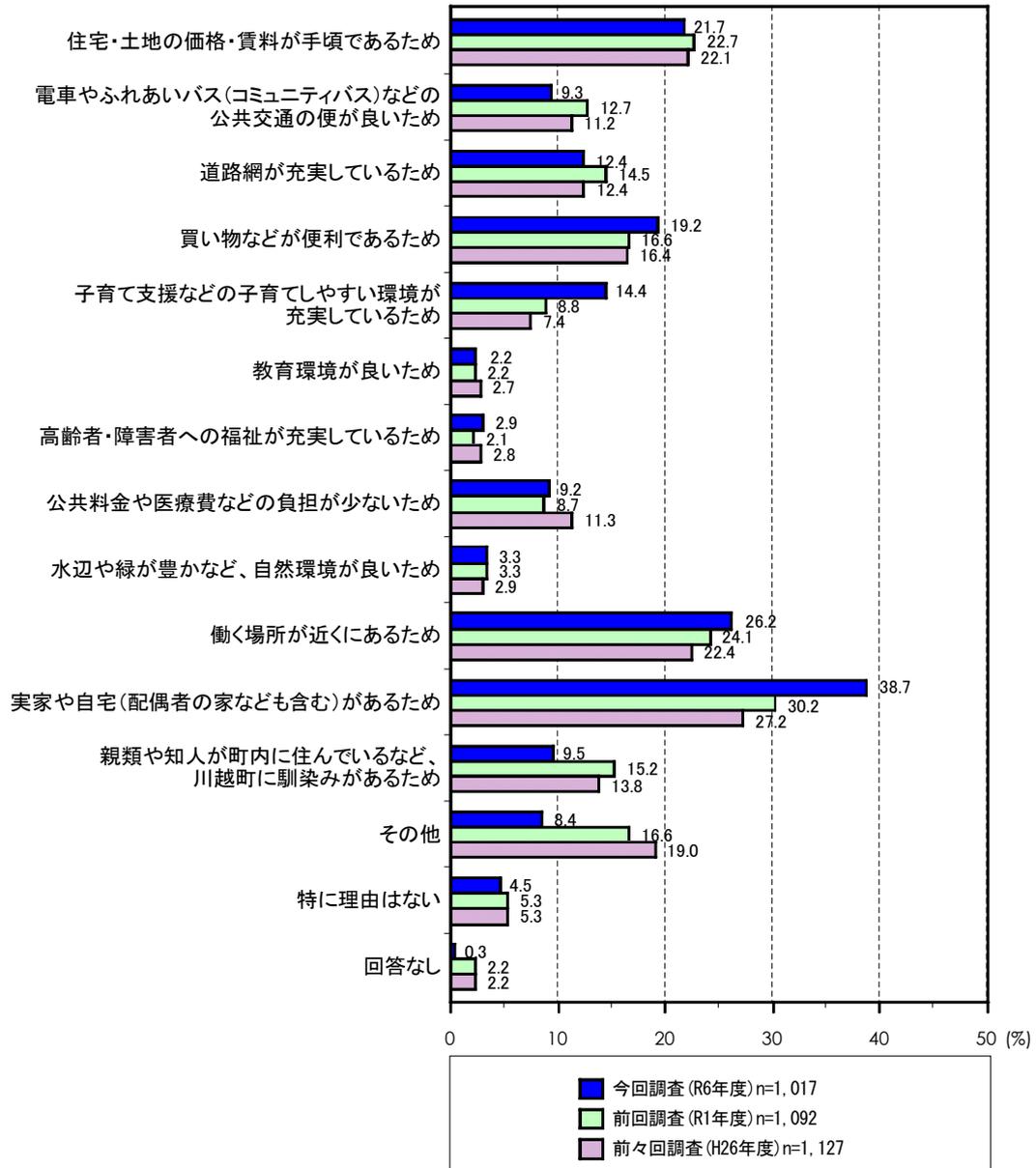


図 1-6 川越町に移り住んだ理由（前回・前々回との比較）

第2章

川越町のまちの状況

(1) 川越町の住みやすさ

問6 川越町は住みやすいまちだと思いますか。

◆「住みやすい」、または「どちらかといえば住みやすい」と感じている方は、あわせて9割近くを占めています。

○川越町の住みやすさについて、「住みやすい」が50.2%、「どちらかといえば住みやすい」が39.2%、「どちらかといえば住みにくい」が2.3%、「住みにくい」が1.0%、「どちらとも言えない」が6.6%となっており、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と感じている方があわせて89.4%を占め、多くの方が住みやすいと感じています。

○前回調査と比較して「住みやすい」が0.4ポイント上昇、「どちらかといえば住みやすい」が2.5ポイント上昇し、住みやすいと感じている方の割合が2.9ポイント上昇しています。

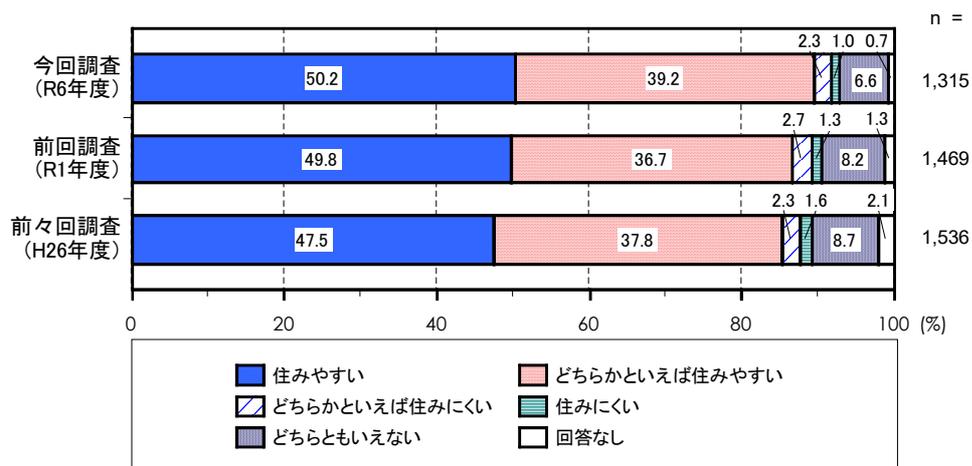


図 2-1 川越町の住み心地（前回・前々回との比較）

(2) 定住意向

問7 これからも川越町に住み続けたいと思いますか。

◆「永住したい」、または「当分住み続けたい」と感じている方は、あわせて9割近くを占めています。

○川越町への定住意向としては、「永住したい」が42.4%、「当分住み続けたい」が46.4%、「いずれは移転したい」が9.8%、「すぐにでも移転したい」が1.0%となっており、「永住したい」、「当分住み続けたい」と感じている方があわせて88.8%を占め、多くの方が定住したいと考えています。

○前回調査と比較して「永住したい」が3.9ポイント低下し、「当分住み続けたい」が2.8ポイント上昇したものの、定住したいと考えている方の割合が1.1ポイント低下しています。

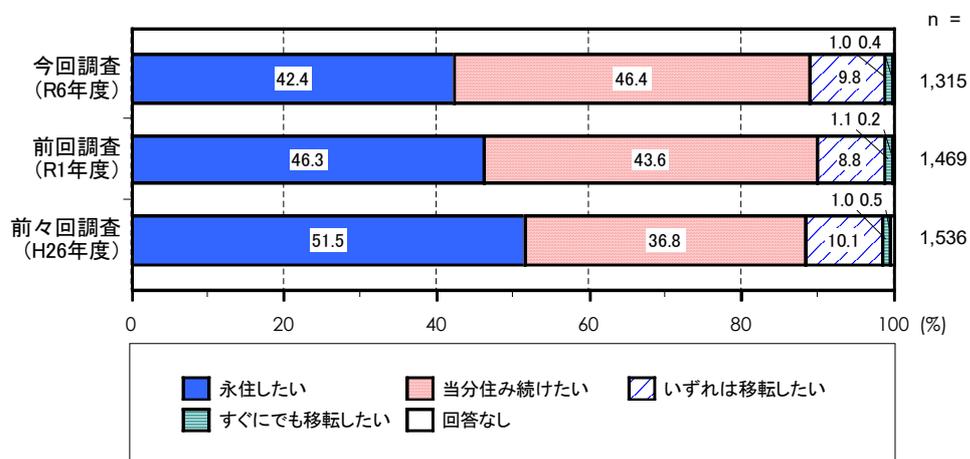


図 2-2 川越町の定住意向（前回・前々回との比較）

(3) 住み続けたい理由

【3つまでの複数回答】

問 7-1 あなたが今後も住み続けたいと思う理由は何ですか。(定住意向のある 1,168 名対象)

◆住み続けたい理由として、「家や土地がある」、「買い物に便利」、「住み慣れていて愛着がある」、「交通の便がよい」と考えている方が多くなっています。

-
- 前述の間で「永住したい」、「当分住み続けたい」と回答した 1,168 名の方の定住したい理由については、「家や土地がある」が 48.1%で最も割合が高くなっています。次いで「買い物に便利」(39.4%)、「住み慣れていて愛着がある」(37.1%)、「交通の便がよい」(35.8%)と続いています。
- 前回調査と比較して「家族や親類、知人が近くにいる」が 6.8 ポイント、「買い物に便利」が 5.6 ポイント、「職場が近くにあるなど通勤や仕事に便利」が 3.5 ポイント、「交通の便がよい」が 0.4 ポイント上昇しており、家族や知人などが近くにいることを住み続けたい理由としている方が多くなっています。
-

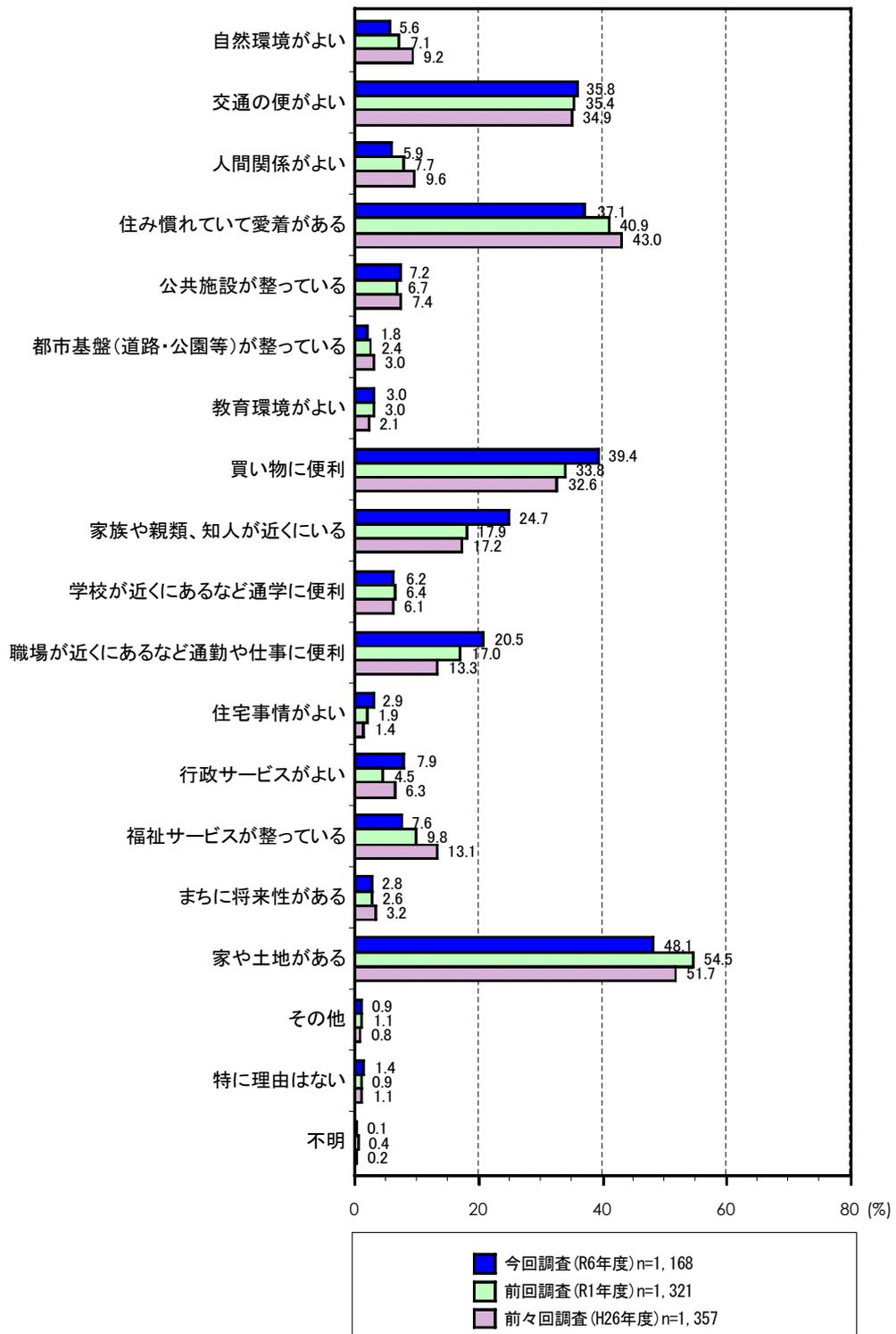


図 2-3 住み続けたい理由（前回・前々回との比較）

(4) 移転したい理由

【3つまでの複数回答】

問 7-2 あなたが移転したいと思う理由は何ですか。(移転意向のある 142 名対象)

◆川越町から移転したい理由として、「交通が不便」、「町外の実家等に戻るため」、「買い物に不便」、「家族や親類、知人が近くにいない」の回答が多く、また、その他の意見では「津波など災害の危険性がある」と考えている方が多くなっています。

○前述の間で「いずれは移転したい」、「すぐにでも移転したい」と回答した 142 名の方の移転したい理由については、その他を除き、「交通が不便」が 28.9%で最も割合が高く、次いで「町外の実家等に戻るため」(14.8%)、「買い物に不便」(13.4%)、「家族や親類、知人が近くにいない」(13.4%)、「自然環境がよくない」(12.0%)、「公共施設が整っていない」(10.6%)、「職場が遠いなど通勤に不便」(10.6%)と続いています。

○なお、その他は「津波など災害の危険性がある」、「道が狭い」、「歩道がなく暗くて怖い」、「騒音、悪臭、ごみなどの環境問題がある」、「他に住みたい場所がある」などを理由にしている方があわせて 44 名となっています。

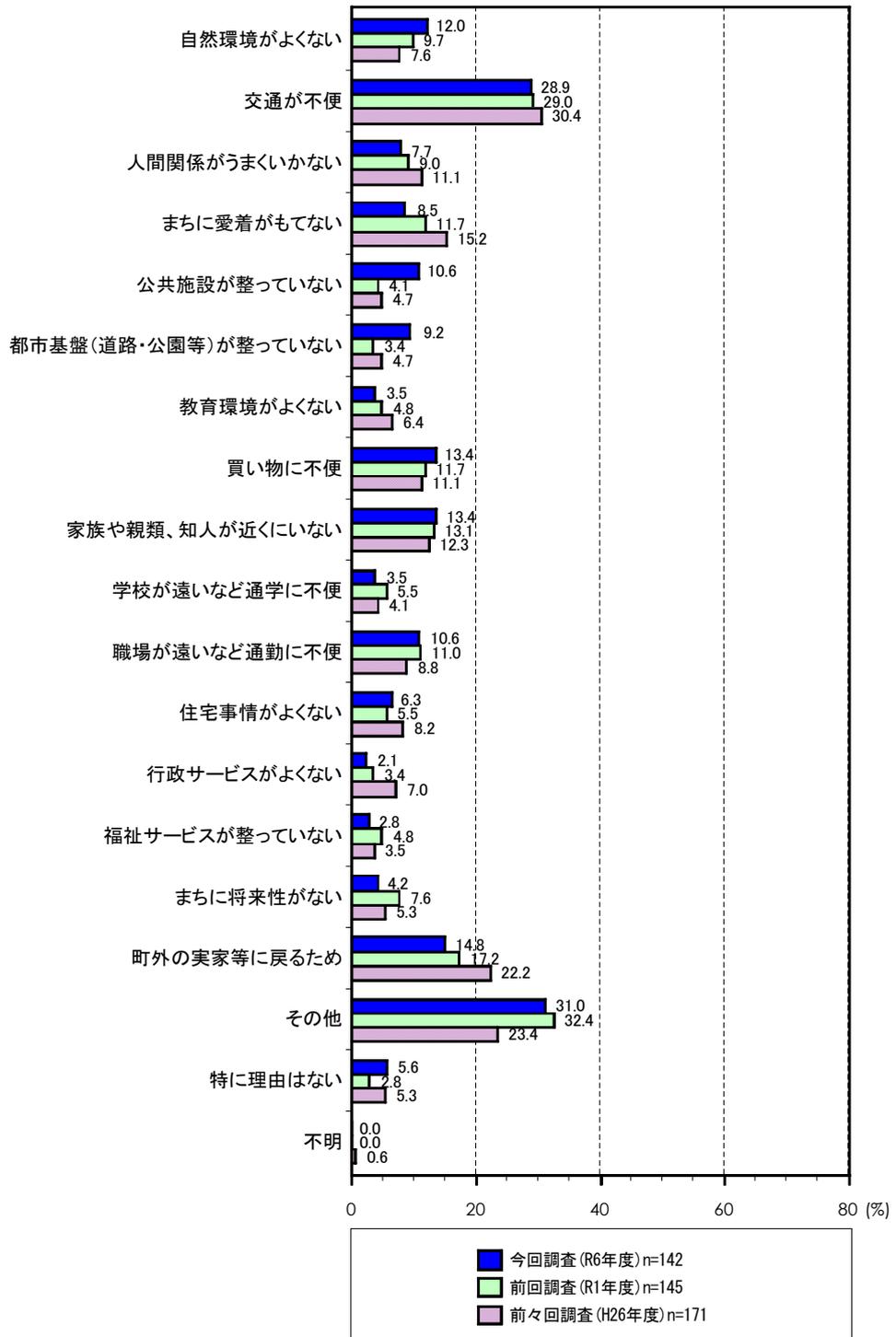


図 2-4 移転したい理由（前回・前々回との比較）

(1) 暮らしの満足度

問8 あなたは(1)～(56)のそれぞれの項目について、どの程度満足されていますか。

「満足」、「やや満足」と回答した者の合計の割合を満足度とし、「やや不満」、「不満」と回答した者の合計の割合を不満度とします。また、本文の構成比(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ値を単純に加算した数値とは必ずしも一致しません。

- ◆「上水道の整備」、「公共下水道の整備」、「健康づくり・検診などの疾病予防対策」、「国道などの幹線道路の整備」の満足度が高く、一方で「安全・安心な歩行環境の整備」、「地震・津波対策」、「ごみの分別収集、減量化・リサイクル活動」の不満足度が高くなっています。

- 川越町の暮らしの満足度として、「満足」と「やや満足」を合わせた回答では、「上水道の整備（安定した水の供給）が70.5%で最も割合が高く、次いで「公共下水道の整備」（59.3%）、「健康づくり・検診などの疾病予防対策」（56.9%）、「国道などの幹線道路の整備」（50.0%）、「役場の窓口などの行政サービス」（48.2%）、「雨水排水の整備」（47.8%）、「役場からの広報や情報公開」（47.1%）、「感染症予防対策」（47.1%）、「地域医療（川越診療所など）」（46.4%）、「文化施設（あいあいホール、図書室など）」（45.4%）などとなっており、上下水道の整備や疾病予防対策、幹線道路の整備、行政サービスなどへの満足度は高くなっています。
- 「やや不満」と「不満」を合わせた回答（不満度）は、「安全・安心な歩行環境の整備」が30.9%と最も割合が高く、次いで「地震・津波対策」（30.0%）、「ごみの分別収集、減量化・リサイクル活動」（27.8%）、「鉄道や駅の利便性」（26.3%）、「町道などの身近な生活道路の整備」（23.3%）、「不法投棄の防止」（21.6%）などとなっており、歩行環境、地震・津波対策、ごみの分別などへの不満度が高くなっています。
- 前回調査と比較して満足度が最も上昇したのは「地域医療（川越診療所など）」で、15.4ポイント上昇しています。次いで「消防・防火体制」と「健康づくり・検診などの疾病予防対策」がそれぞれ14.9ポイント、「河川の整備」が12.6ポイント上昇しています。
- 一方、前回調査と比較して不満度が最も上昇したのは「ごみの収集、減量化、リサイクル活動」で、8.0ポイント上昇しています。

[防災・消防・救急について]

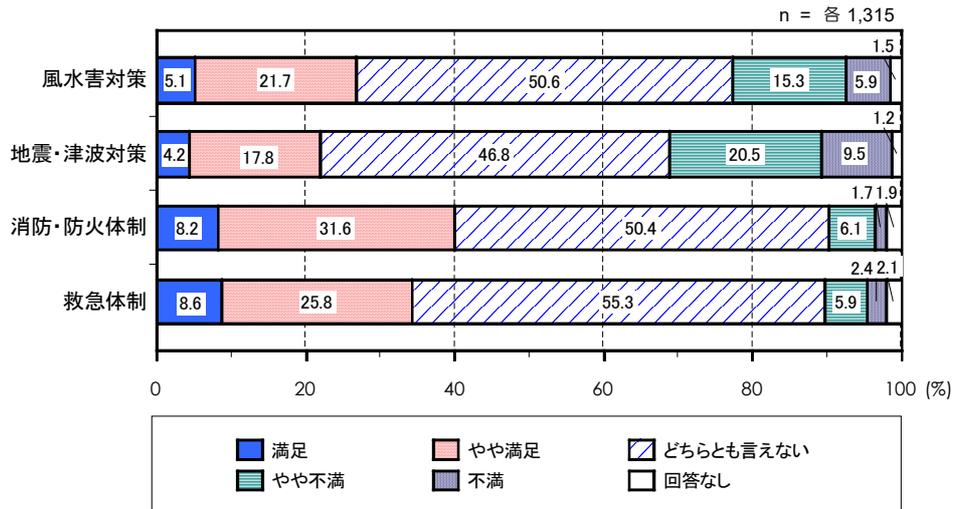


図 3-1-1-1 暮らしの満足度「防災・消防・救急について」

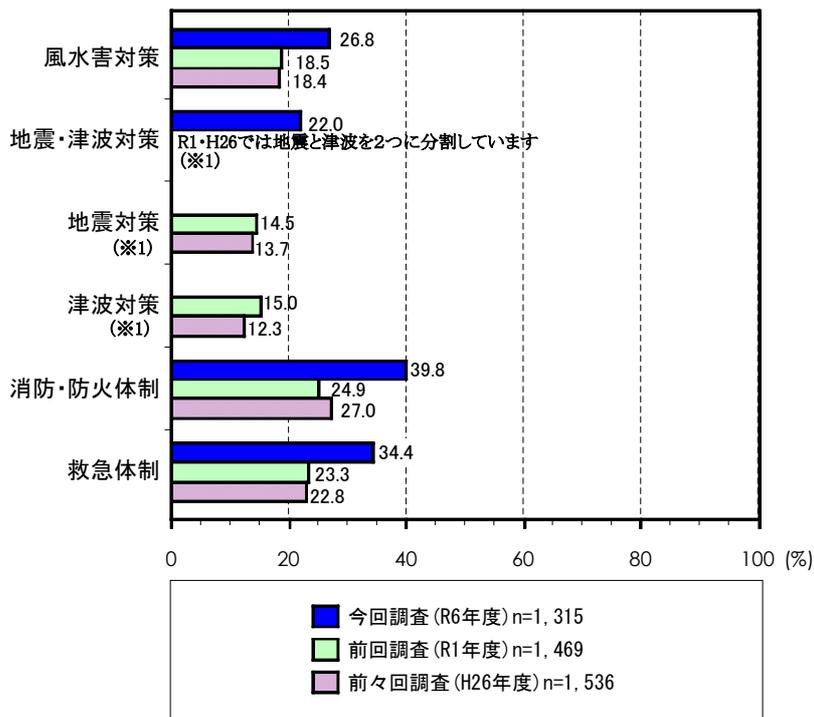


図 3-1-1-2 「防災・消防・救急について」の満足度 (前回・前々回調査比較)

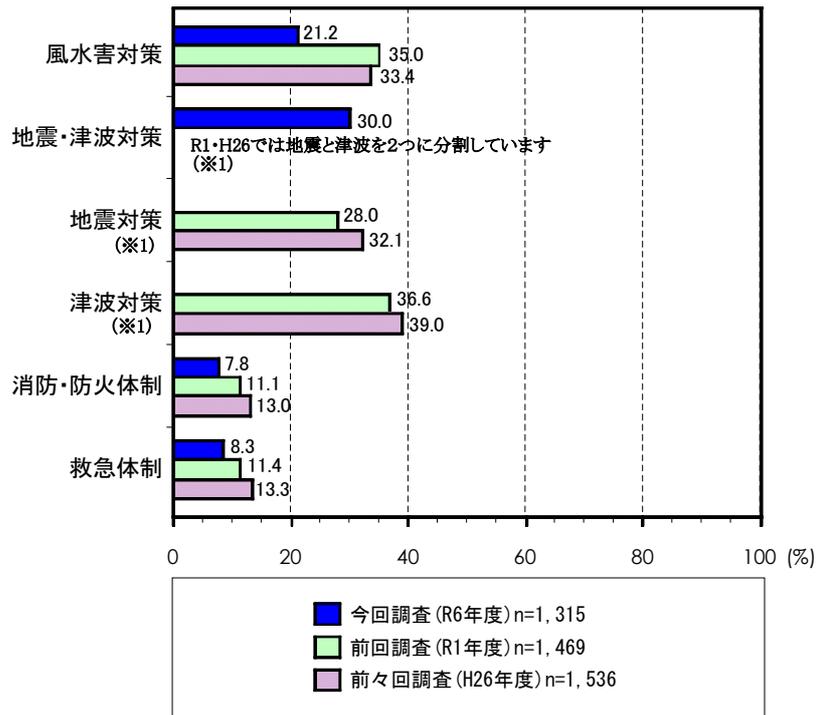


図 3-1-1-3 「防災・消防・救急について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[交通安全・防犯について]

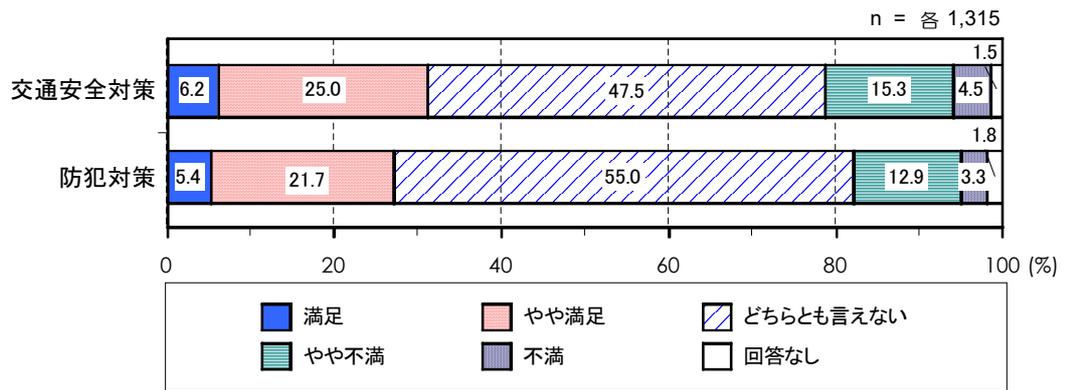


図 3-1-2-1 暮らしの満足度「交通安全・防犯について」

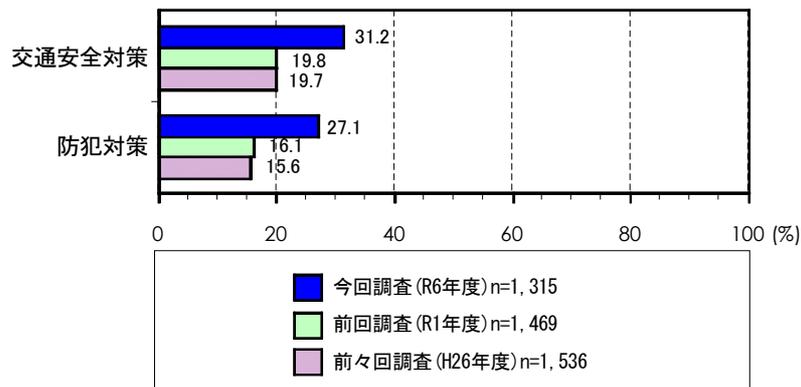


図 3-1-2-2 「交通安全・防犯について」の満足度（前回・前々回調査比較）

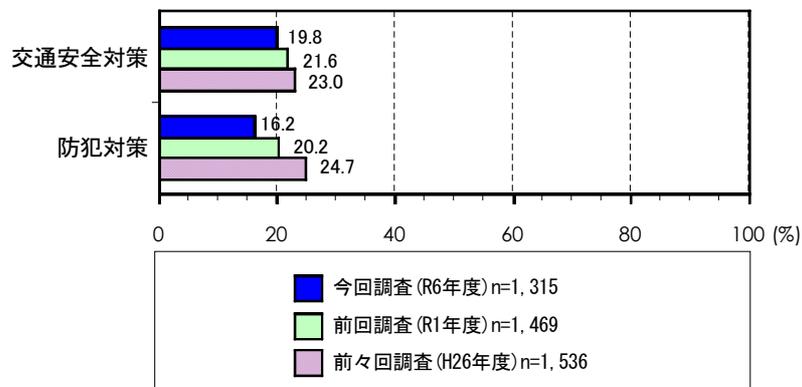


図 3-1-2-3 「交通安全・防犯について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[河川・海岸について]

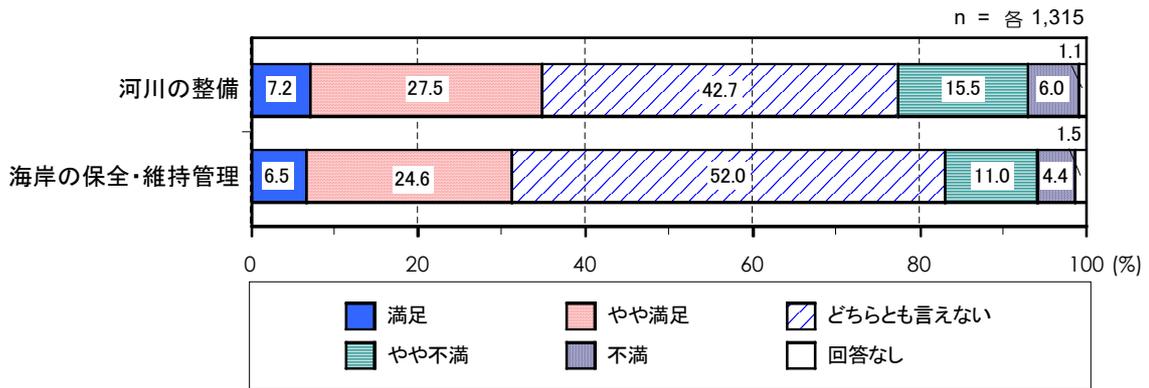


図 3-1-3-1 暮らしの満足度「河川・海岸について」

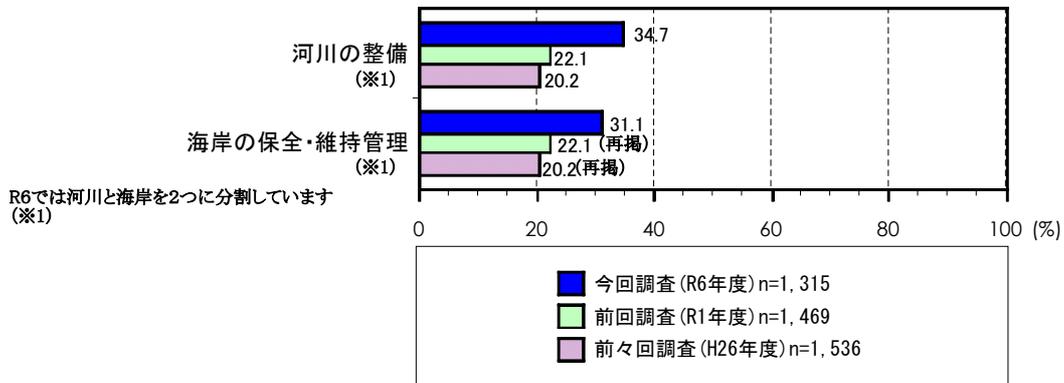


図 3-1-3-2 「河川・海岸について」の満足度 (前回・前々回調査比較)

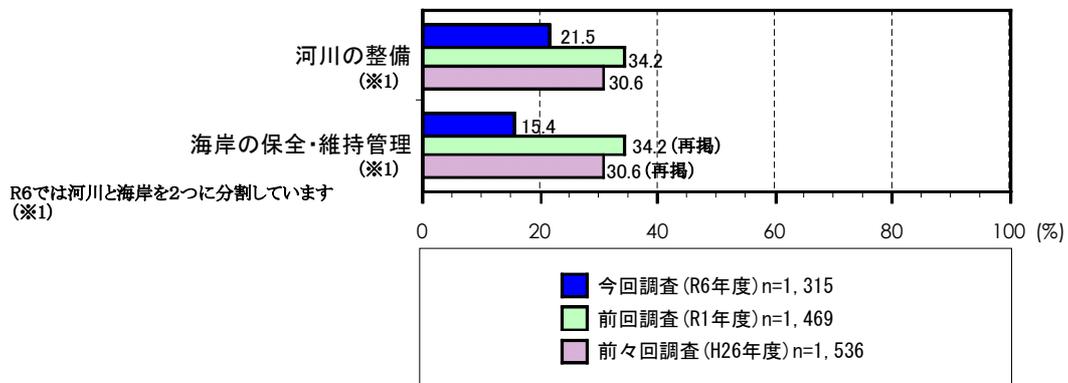


図 3-1-3-3 「河川・海岸について」の不満足度 (前回・前々回調査比較)

[上下水道について]

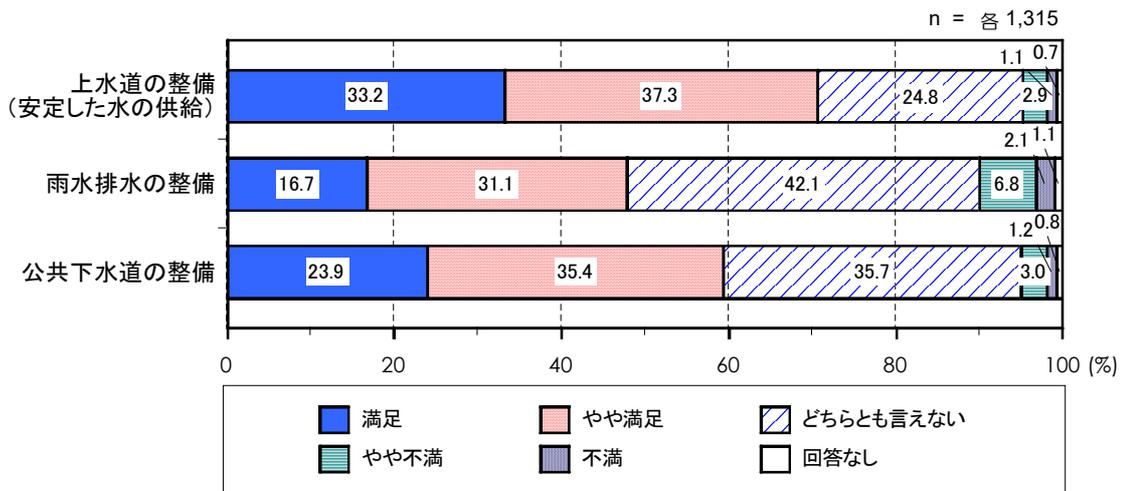


図 3-1-4-1 暮らしの満足度「上下水道について」

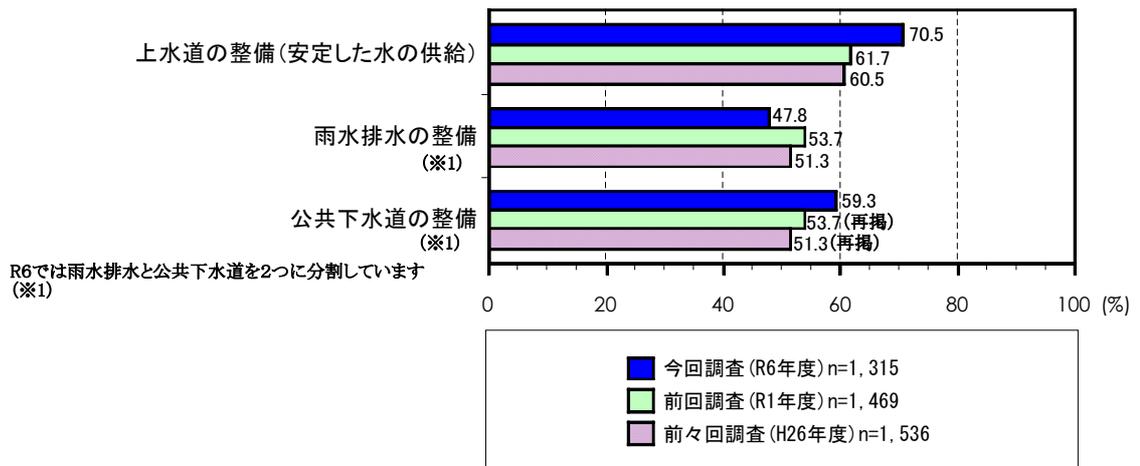


図 3-1-4-2 「上下水道について」の満足度 (前回・前々回調査比較)

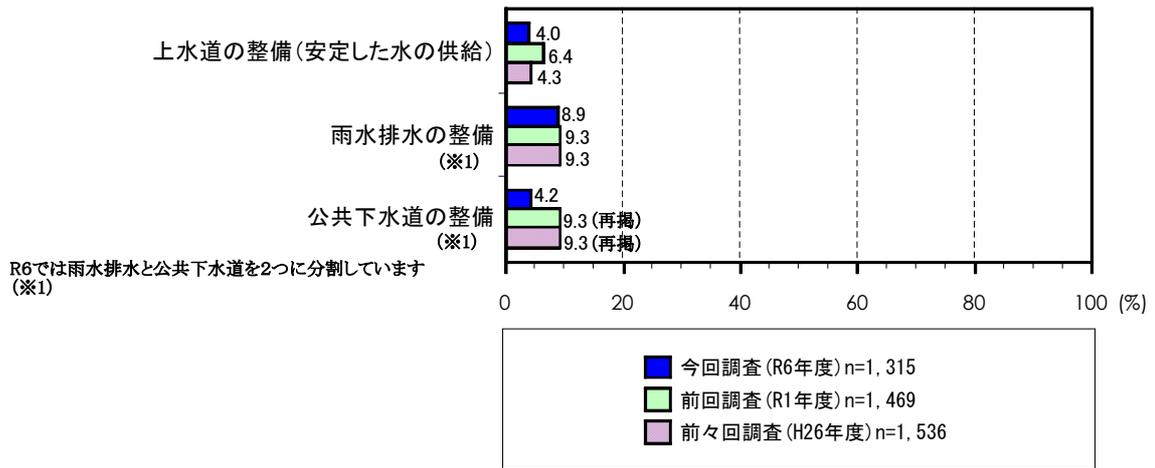


図 3-1-4-3 「上下水道について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[環境共生について]

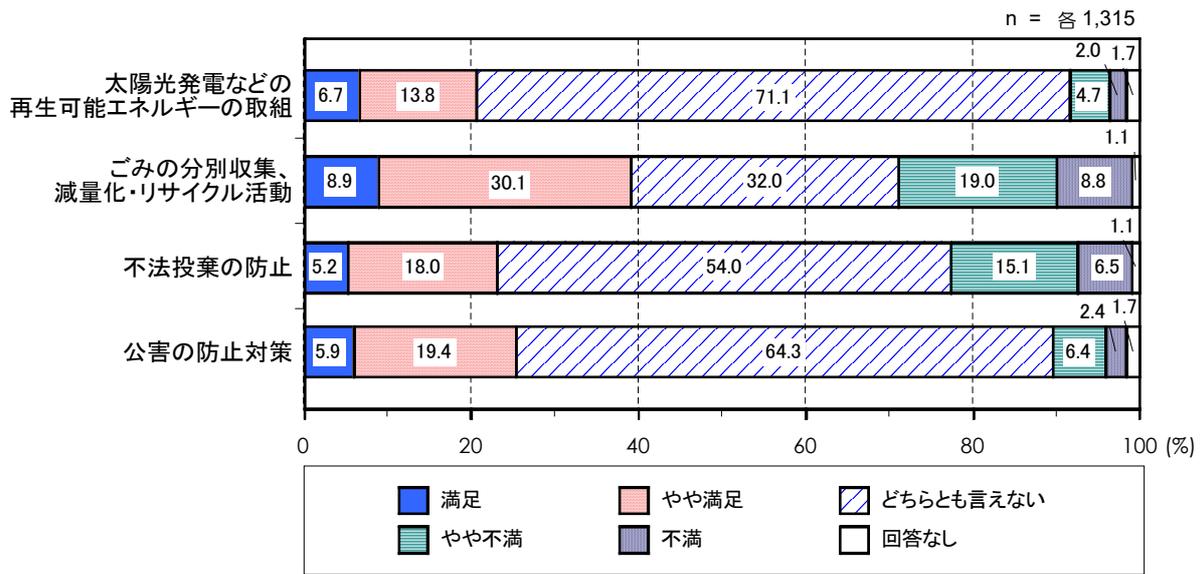


図 3-1-5-1 暮らしの満足度「環境共生について」

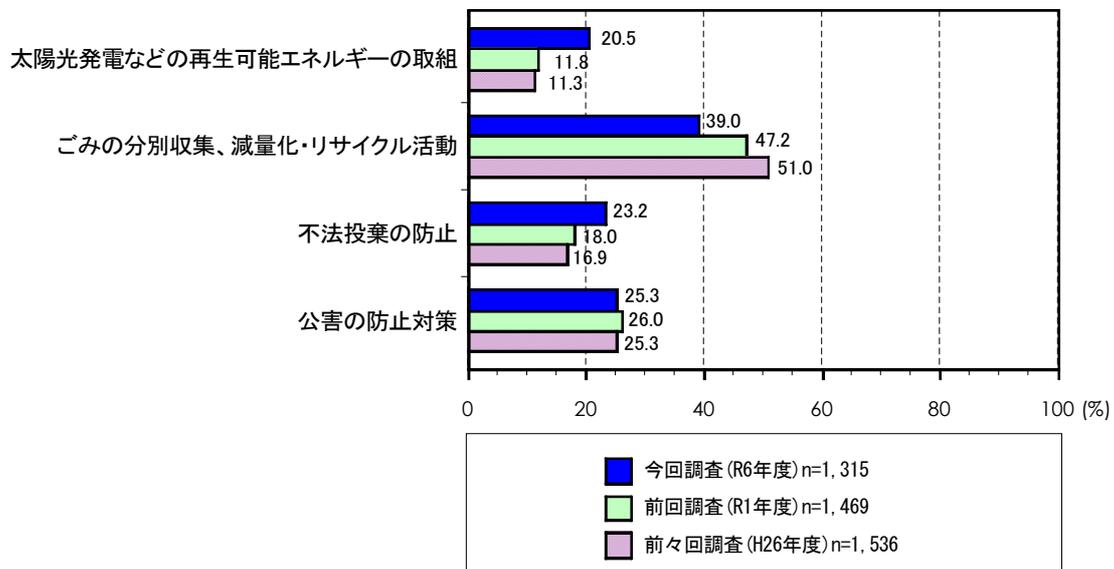


図 3-1-5-2 「環境共生について」の満足度（前回・前々回調査比較）

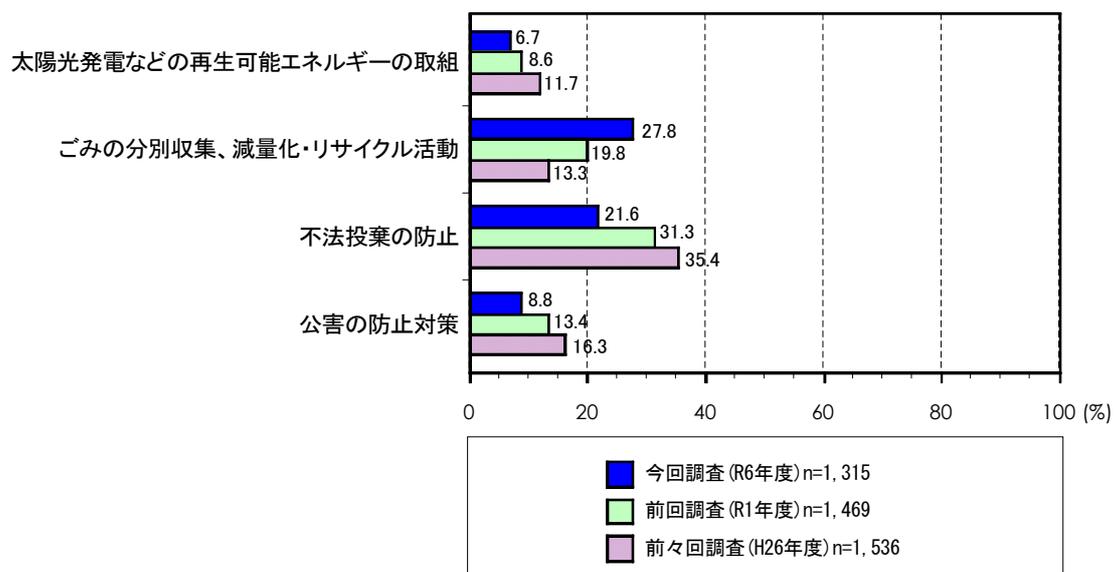


図 3-1-5-3 「環境共生について」の不満度（前回・前々回調査比較）

[市街地・住環境について]

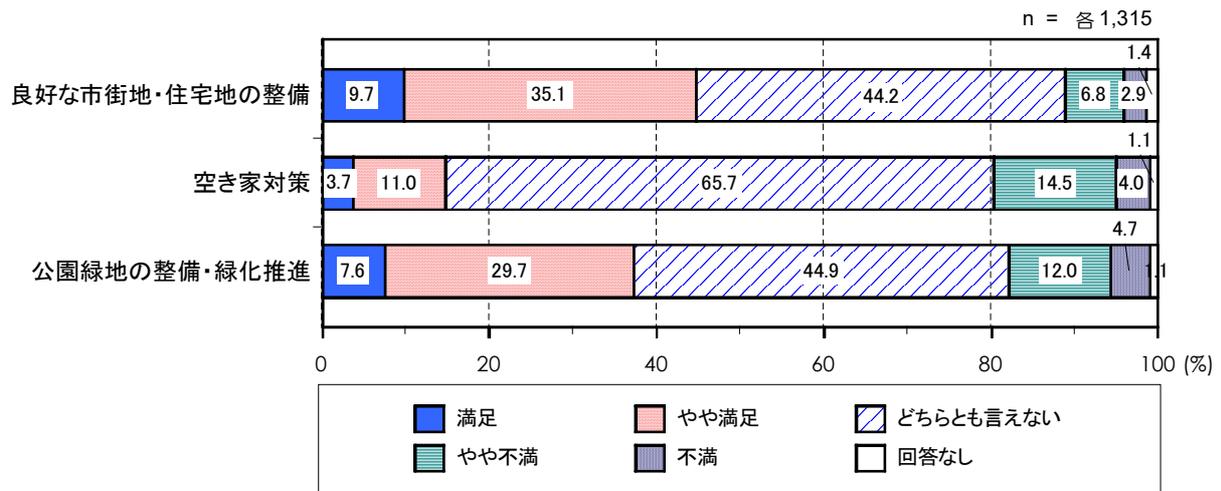


図 3-1-6-1 暮らしの満足度「市街地・住環境について」

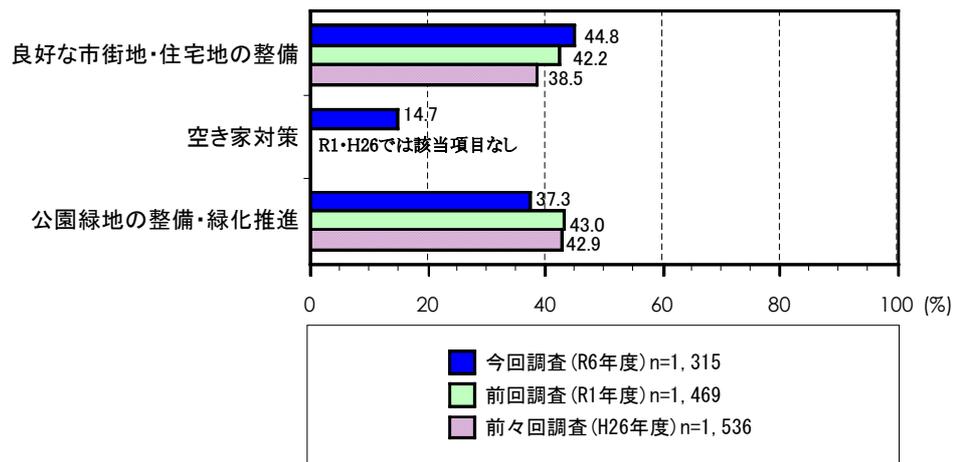


図 3-1-6-2 「市街地・住環境について」の満足度（前回・前々回調査比較）

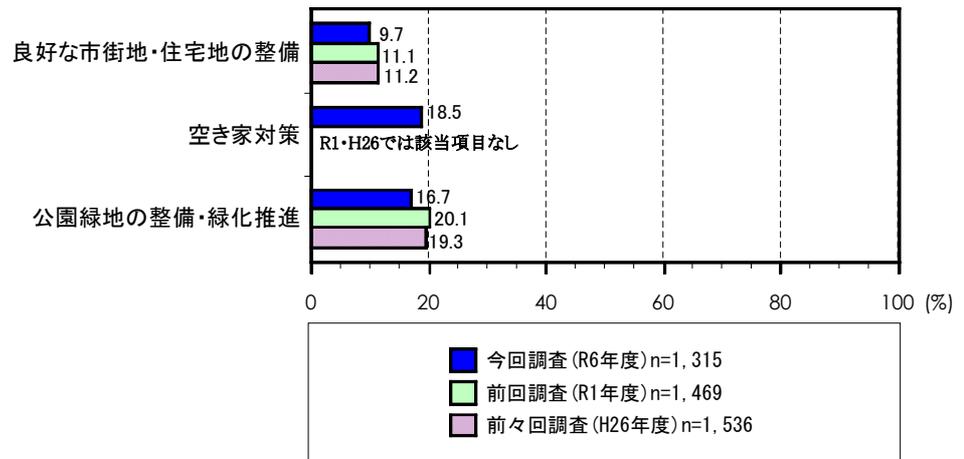


図 3-1-6-3 「市街地・住環境について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[道路・交通について]

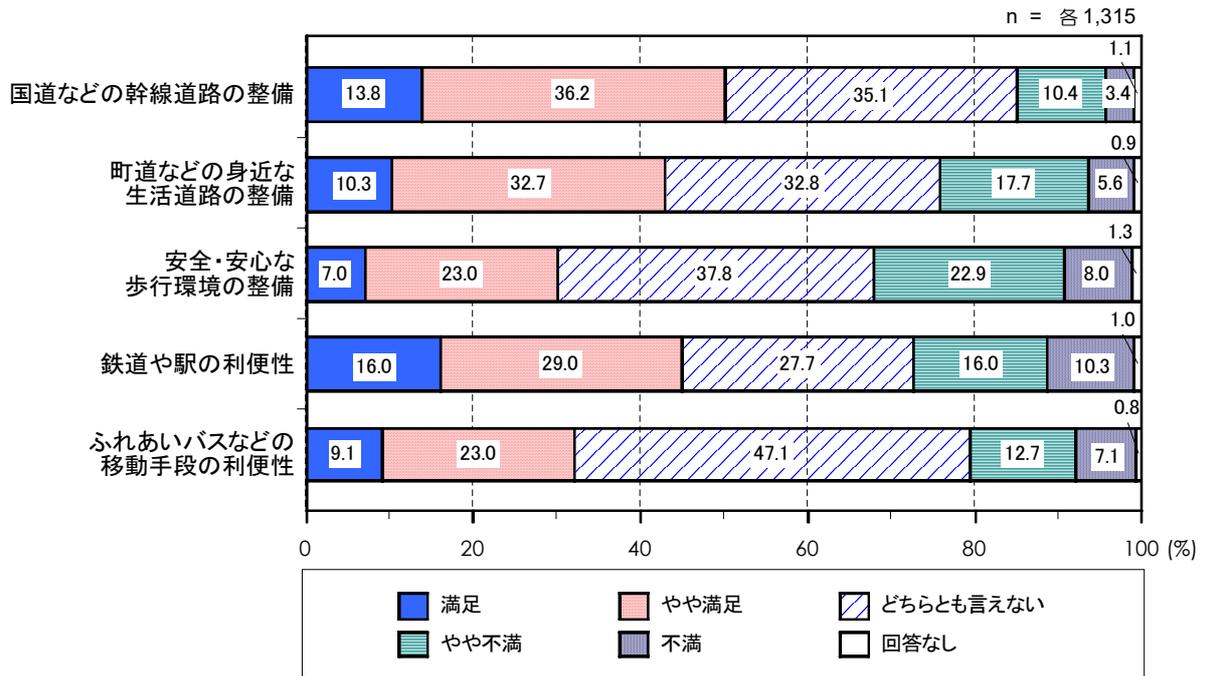


図 3-1-7-1 暮らしの満足度「道路・交通について」

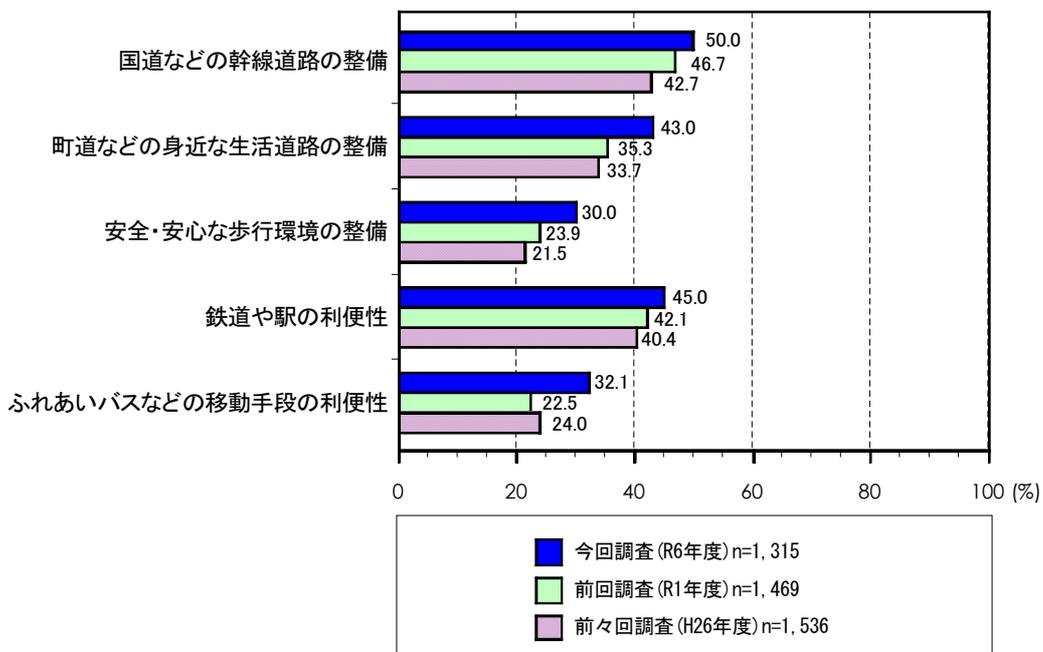


図 3-1-7-2 「道路・交通について」の満足度（前回・前々回調査比較）

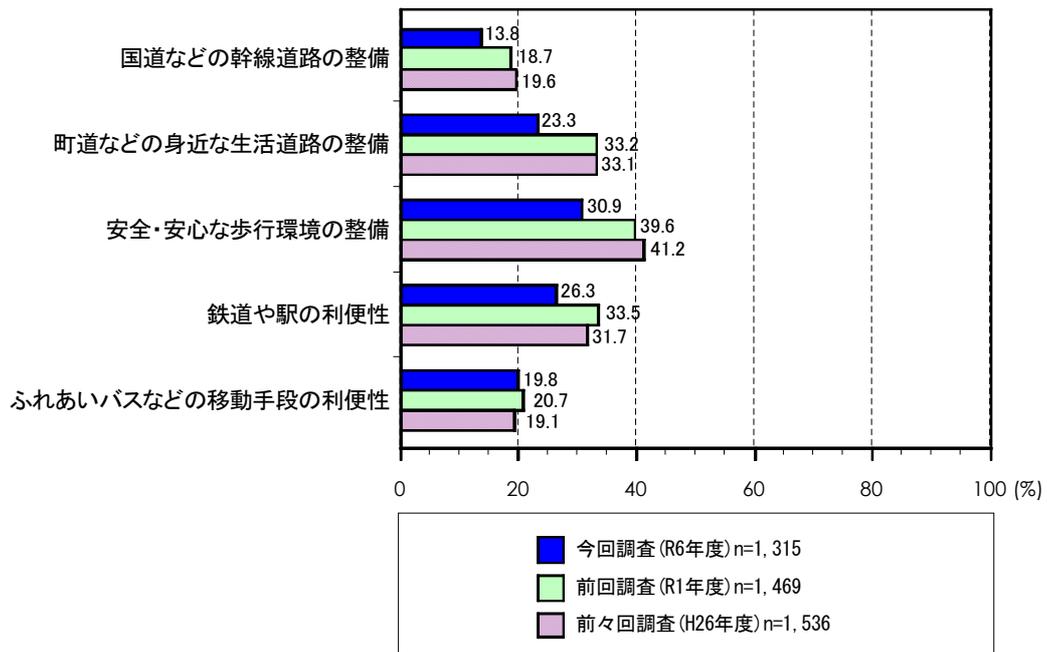


図 3-1-7-3 「道路・交通について」の不満足（前回・前々回調査比較）

[産業について]

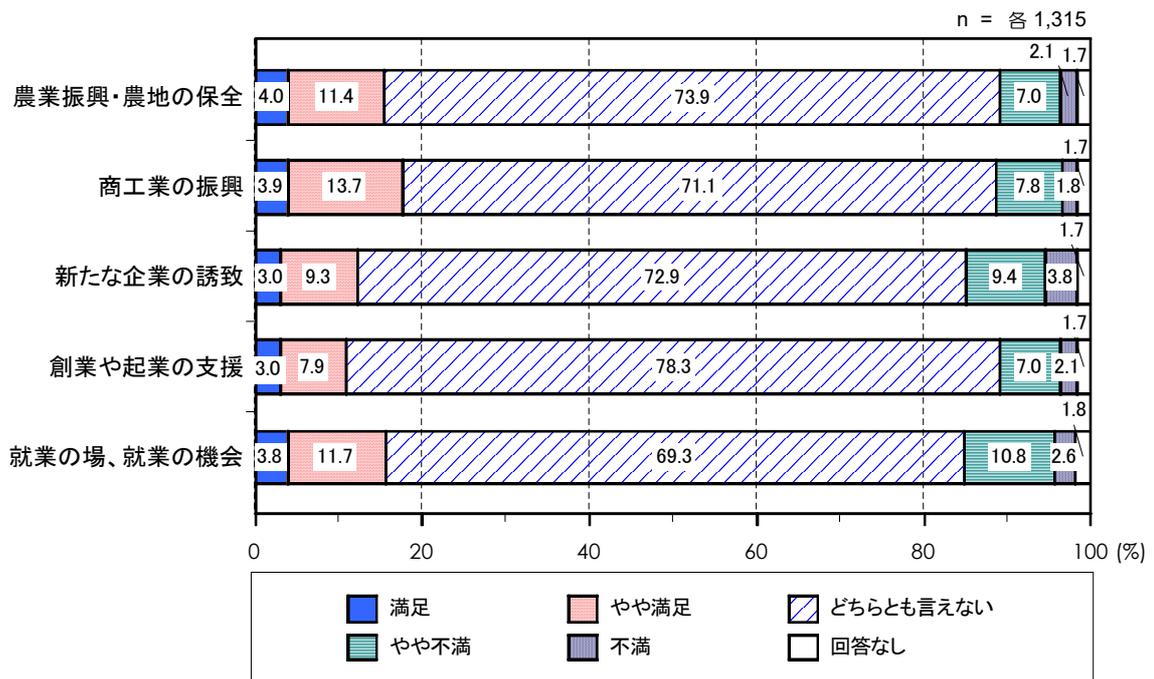


図 3-1-8-1 暮らしの満足度「産業について」

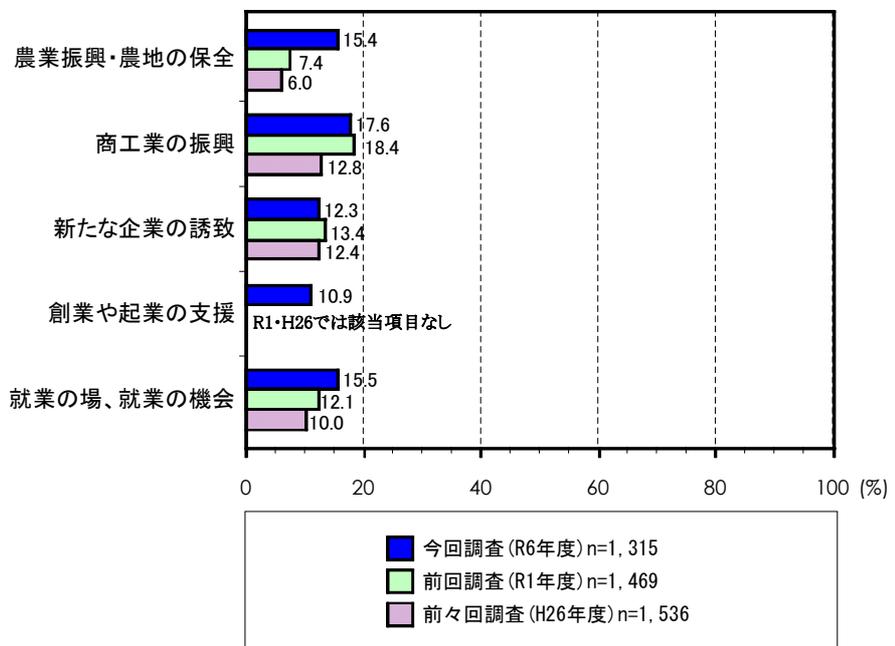


図 3-1-8-2 「産業について」の満足度（前回・前々回調査比較）

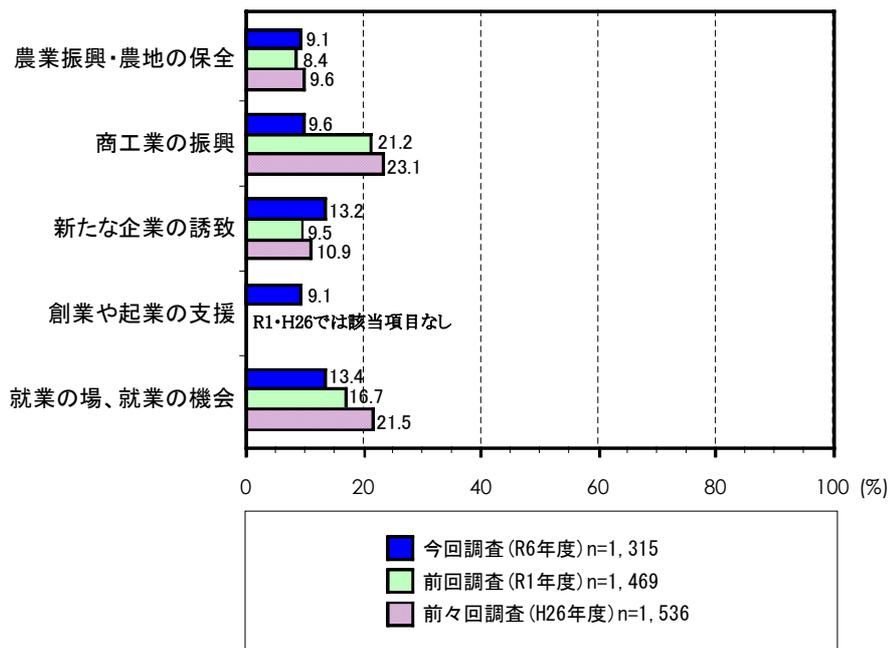


図 3-1-8-3 「産業について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[保健・医療について]

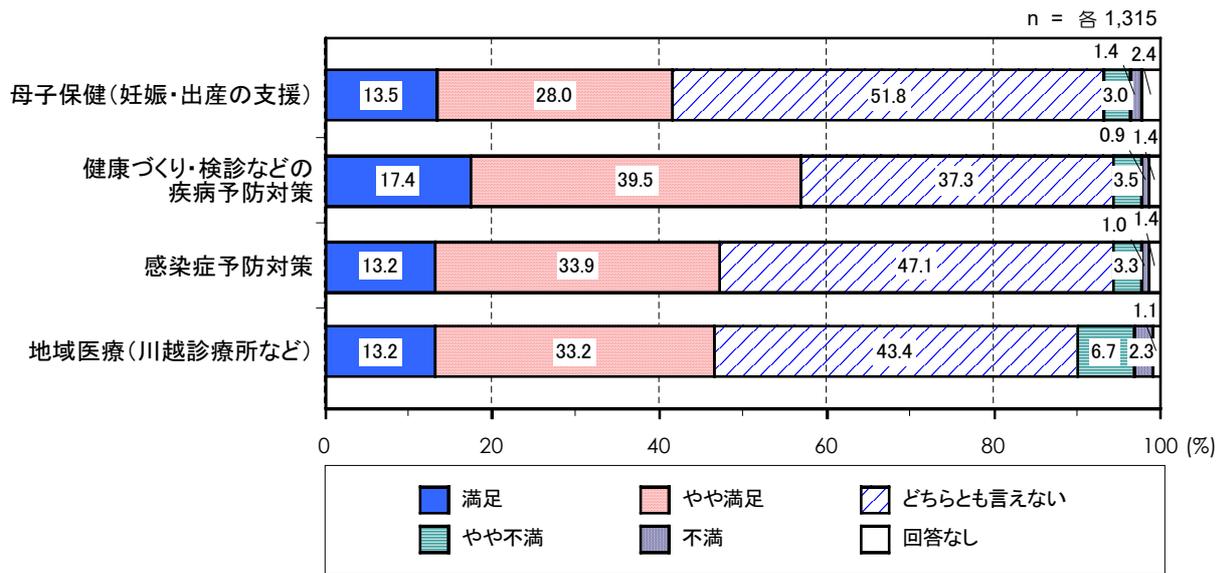


図 3-1-9-1 暮らしの満足度「保健・医療について」

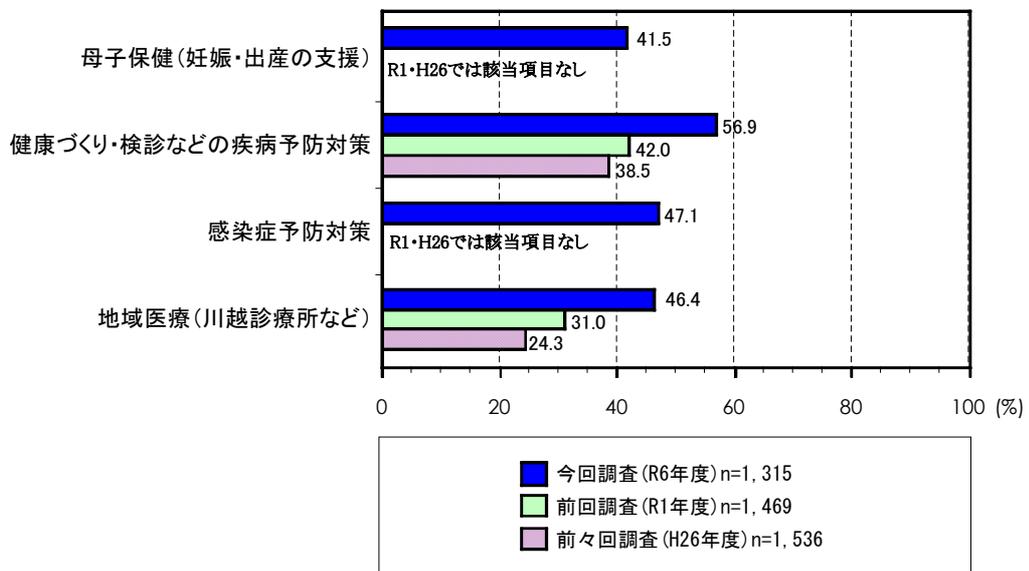


図 3-1-9-2 「保健・医療について」の満足度(前回・前々回調査比較)

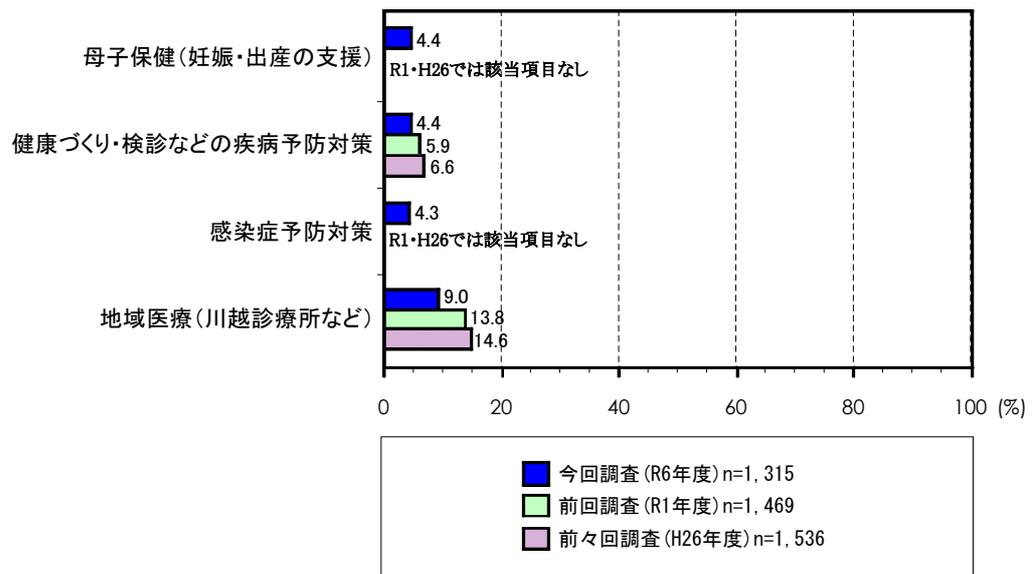


図 3-1-9-3 「保健・医療について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[子育て支援について]

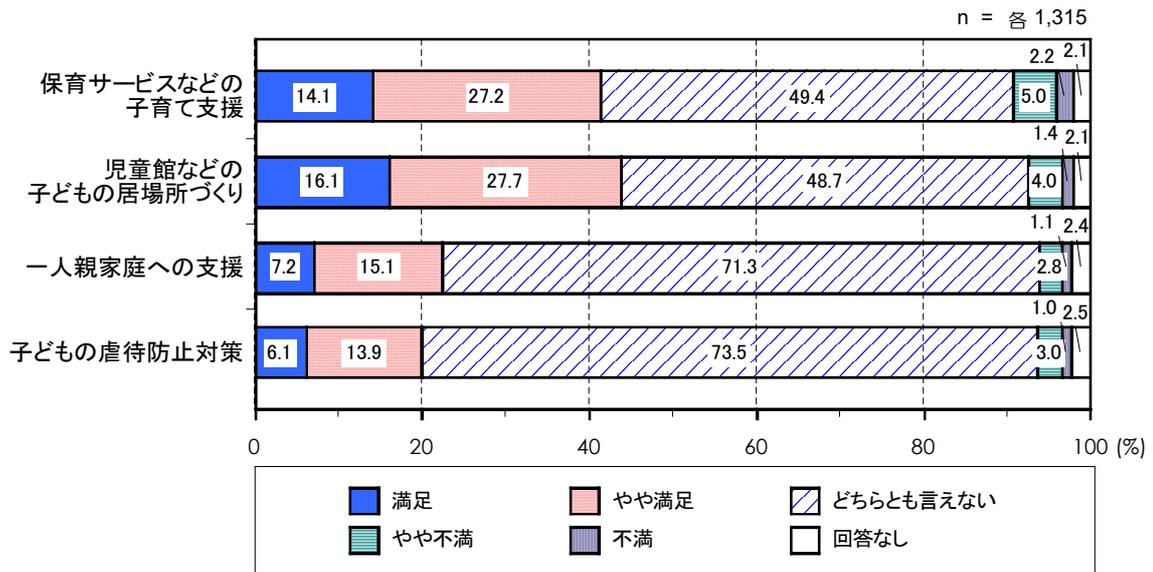


図 3-1-10-1 暮らしの満足度「子育て支援について」

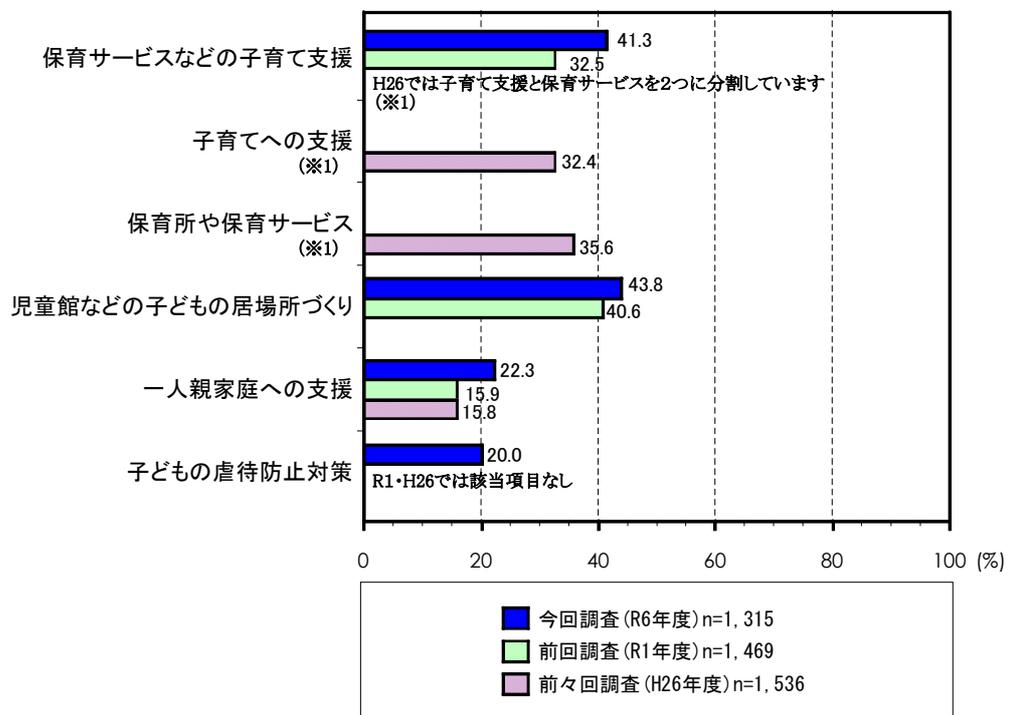


図 3-1-10-2 「子育て支援について」の満足度（前回・前々回調査比較）

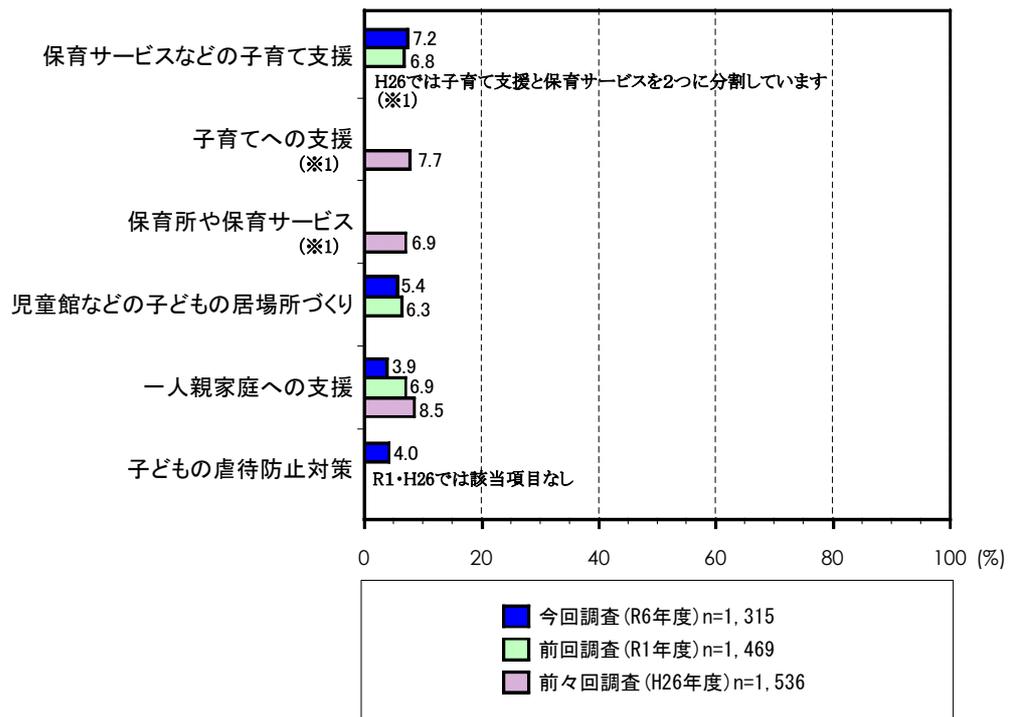


図 3-1-10-3 「子育て支援について」の不満度（前回・前々回調査比較）

[地域福祉・高齢者・障害者福祉について]

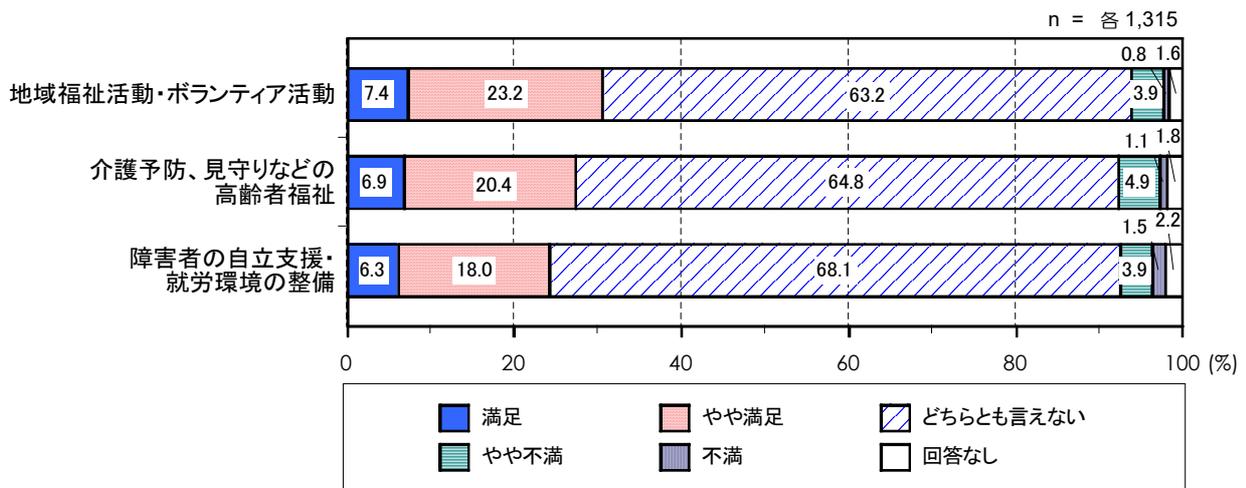


図 3-1-11-1 暮らしの満足度「地域福祉・高齢者・障害者福祉について」

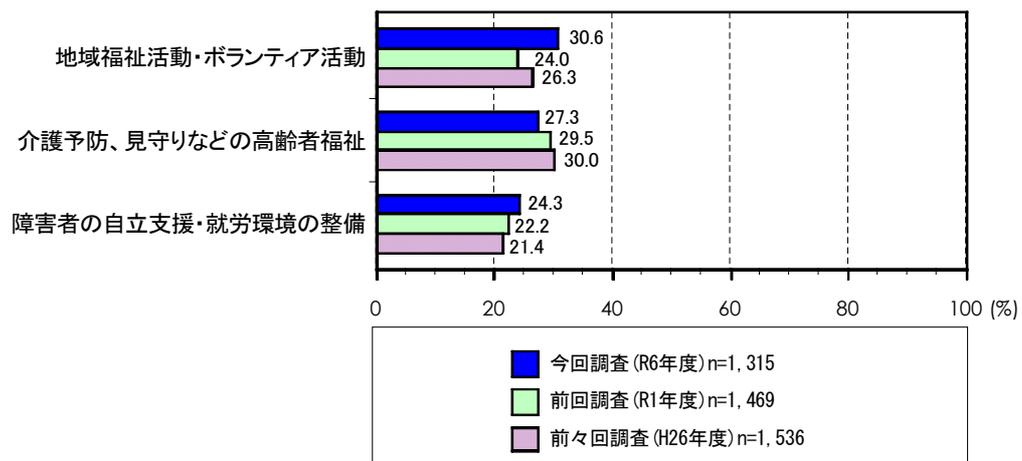


図 3-1-11-2 「地域福祉・高齢者・障害者福祉について」の満足度（前回・前々回調査比較）

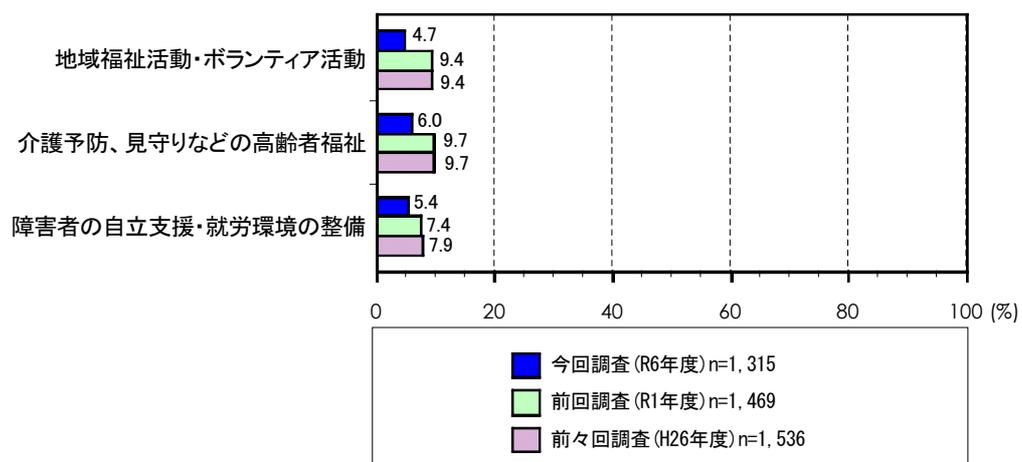


図 3-1-11-3 「地域福祉・高齢者・障害者福祉について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[学校教育・生涯学習について]

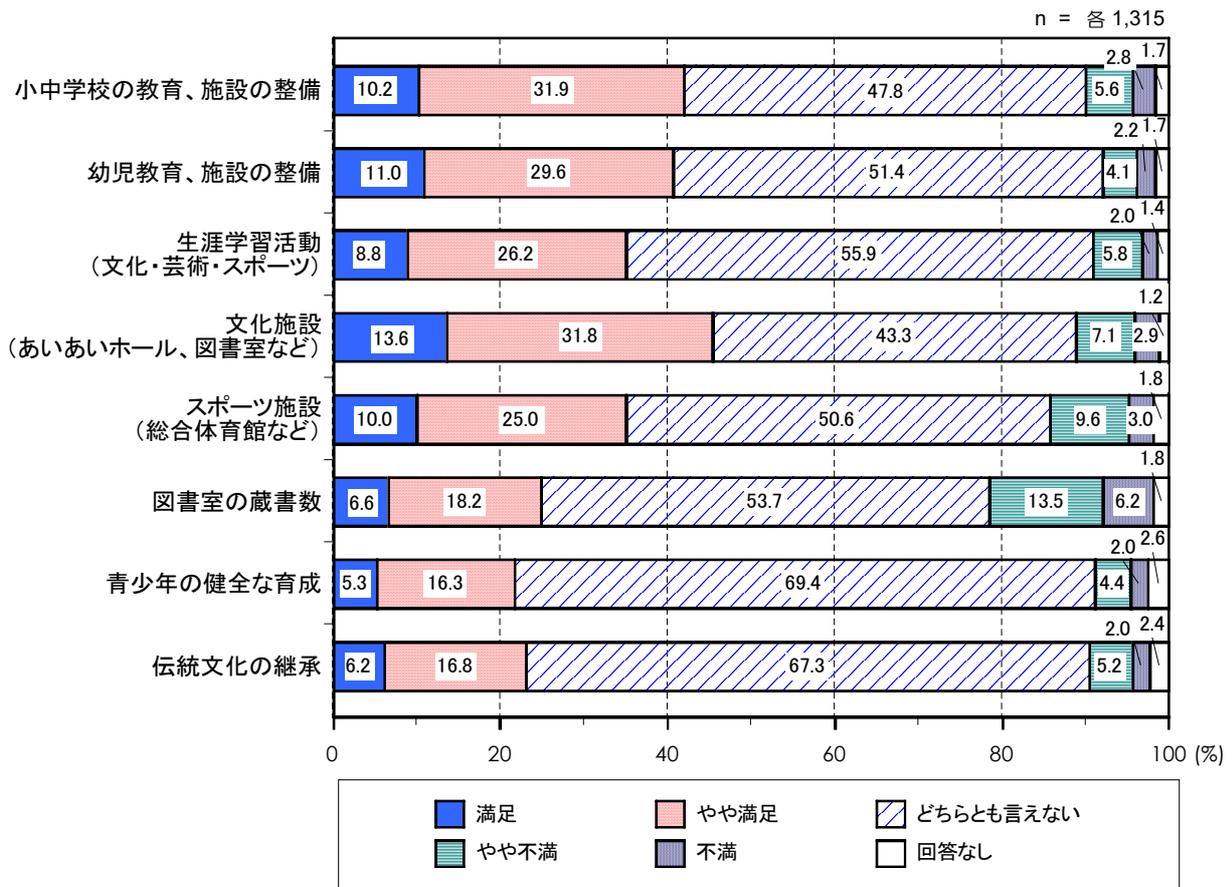


図 3-1-12-1 暮らしの満足度「学校教育・生涯学習について」

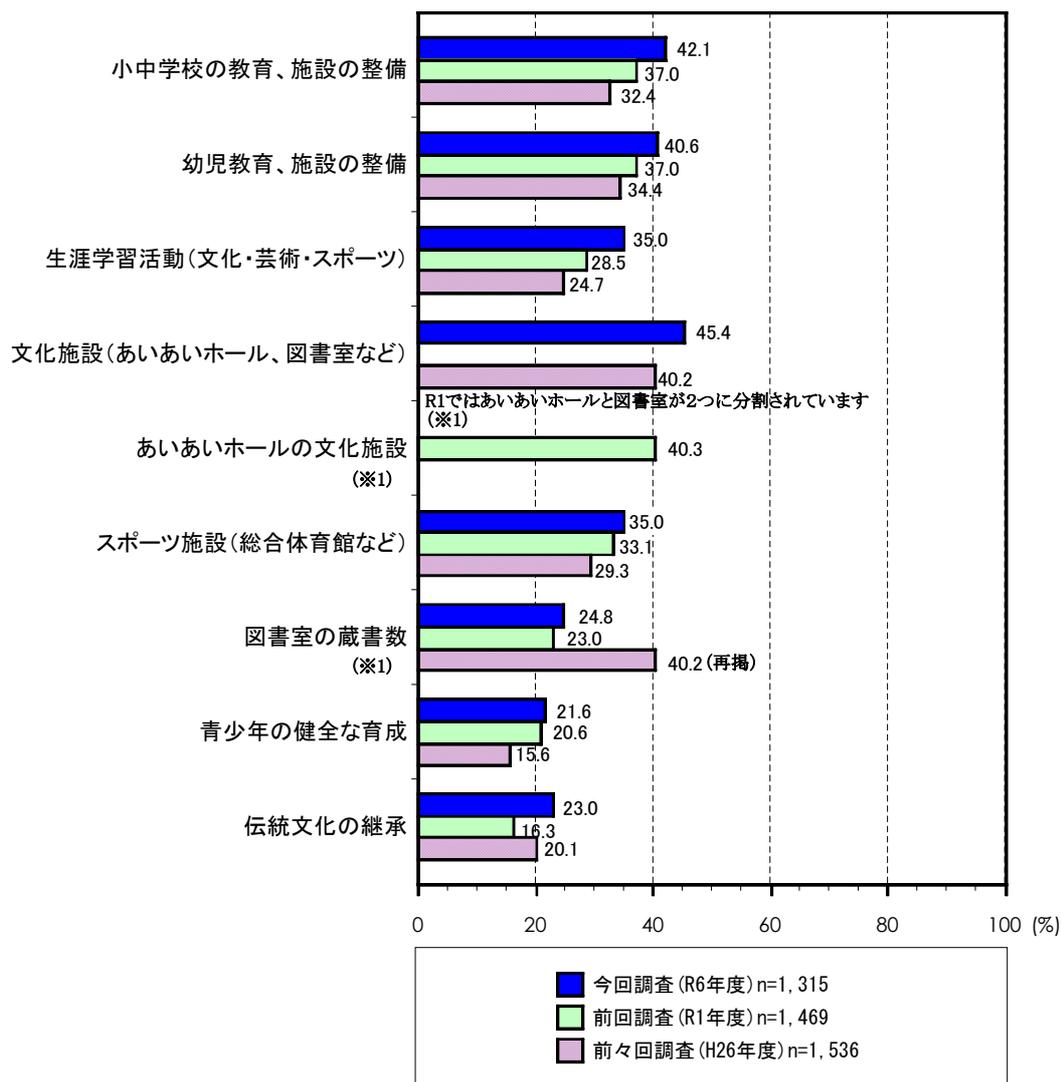


図 3-1-12-2 「学校教育・生涯学習について」の満足度（前回・前々回調査比較）

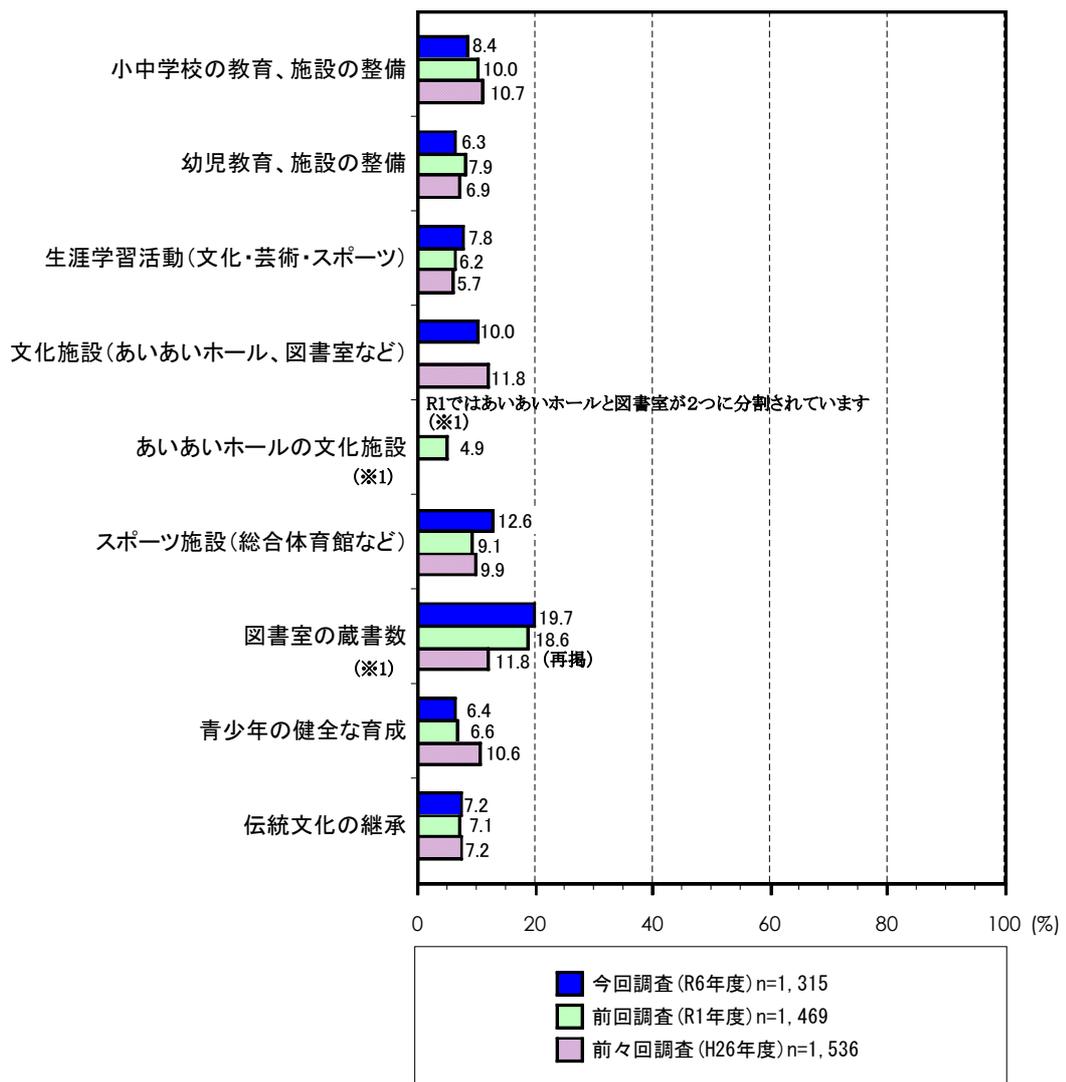


図 3-1-12-3 「学校教育・生涯学習について」の不満足度（前回・前々回調査比較）

[人権尊重・多文化共生]

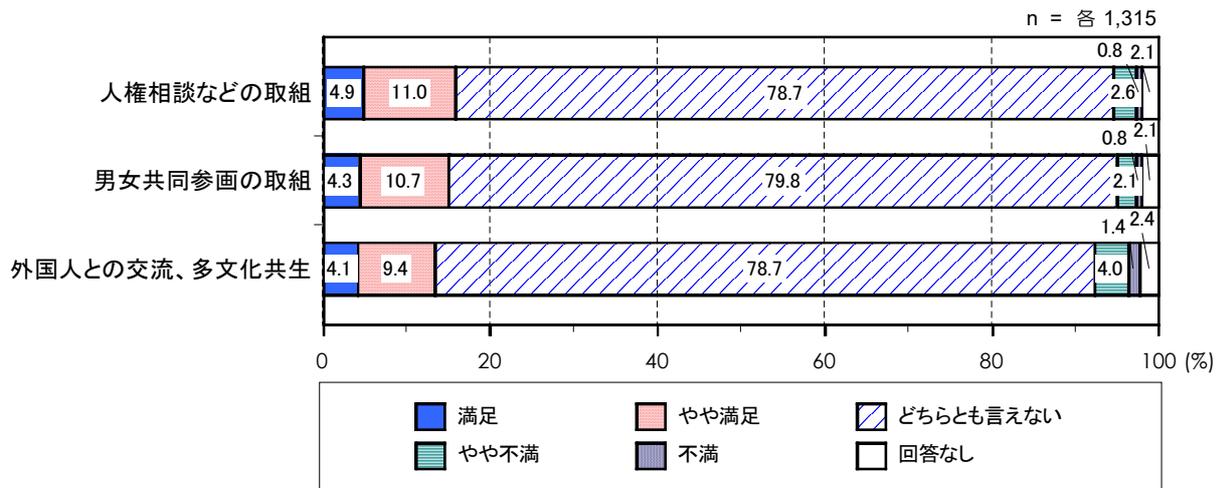


図 3-1-13-1 暮らしの満足度「人権尊重・多文化共生について」

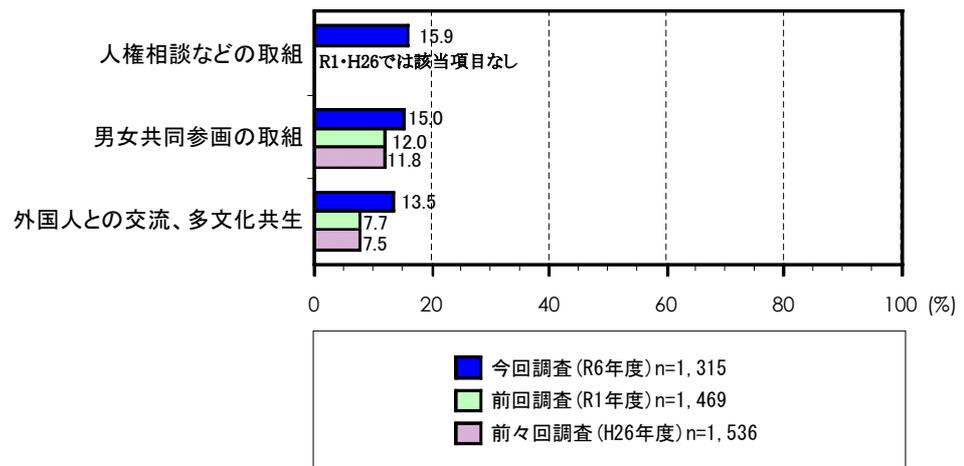


図 3-1-13-2 「人権尊重・多文化共生について」の満足度（前回・前々回調査比較）

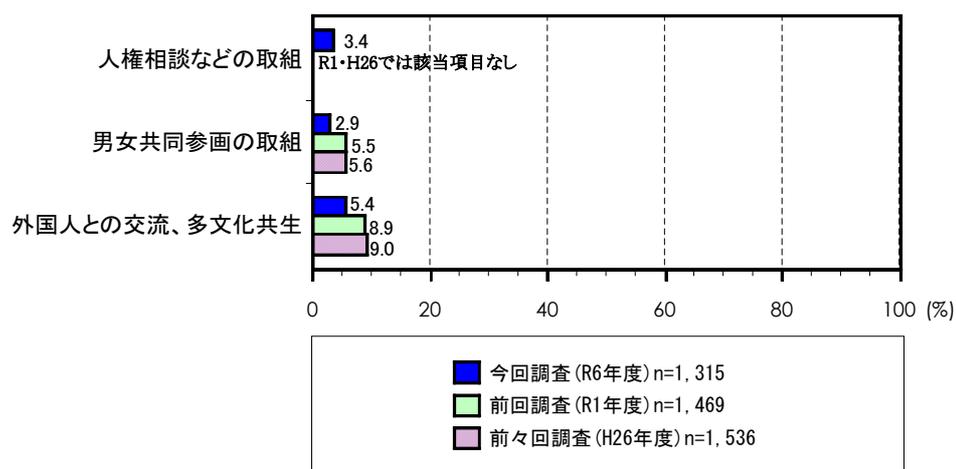


図 3-1-13-3 「人権尊重・多文化共生について」の不満度（前回・前々回調査比較）

[協働・行政運営について]

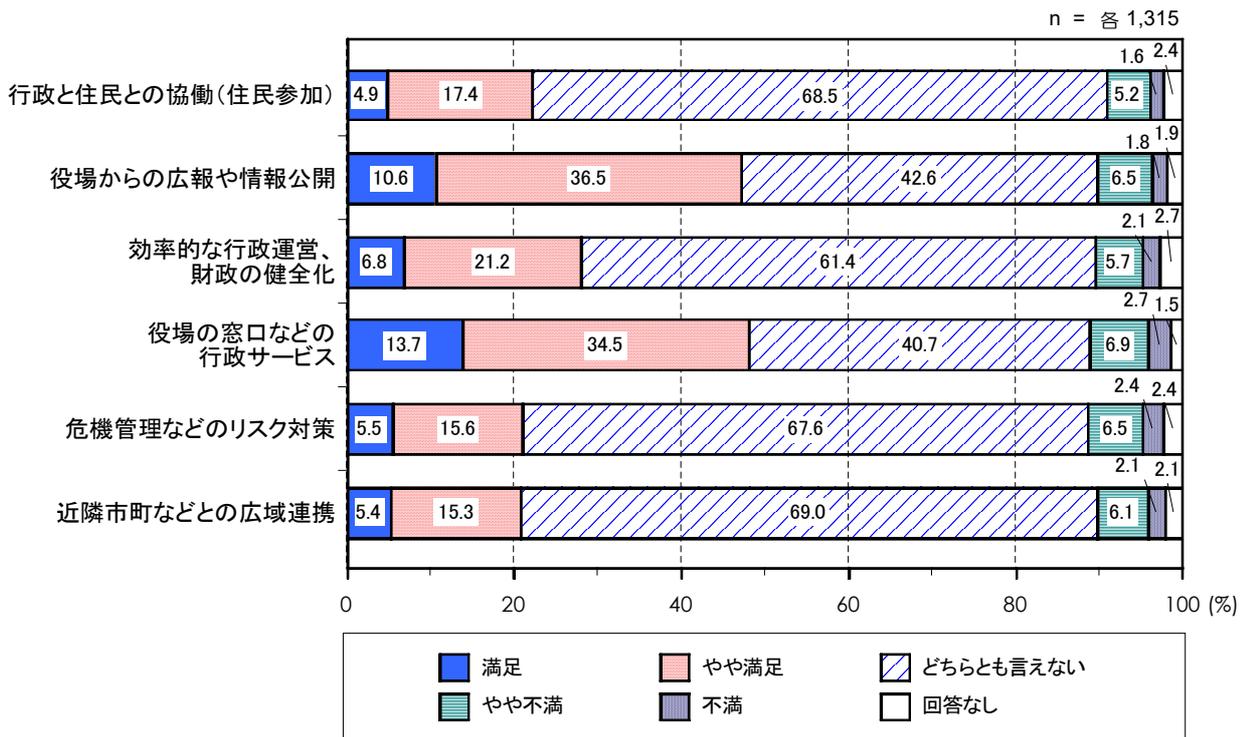


図 3-1-14-1 暮らしの満足度「協働・行政運営について」

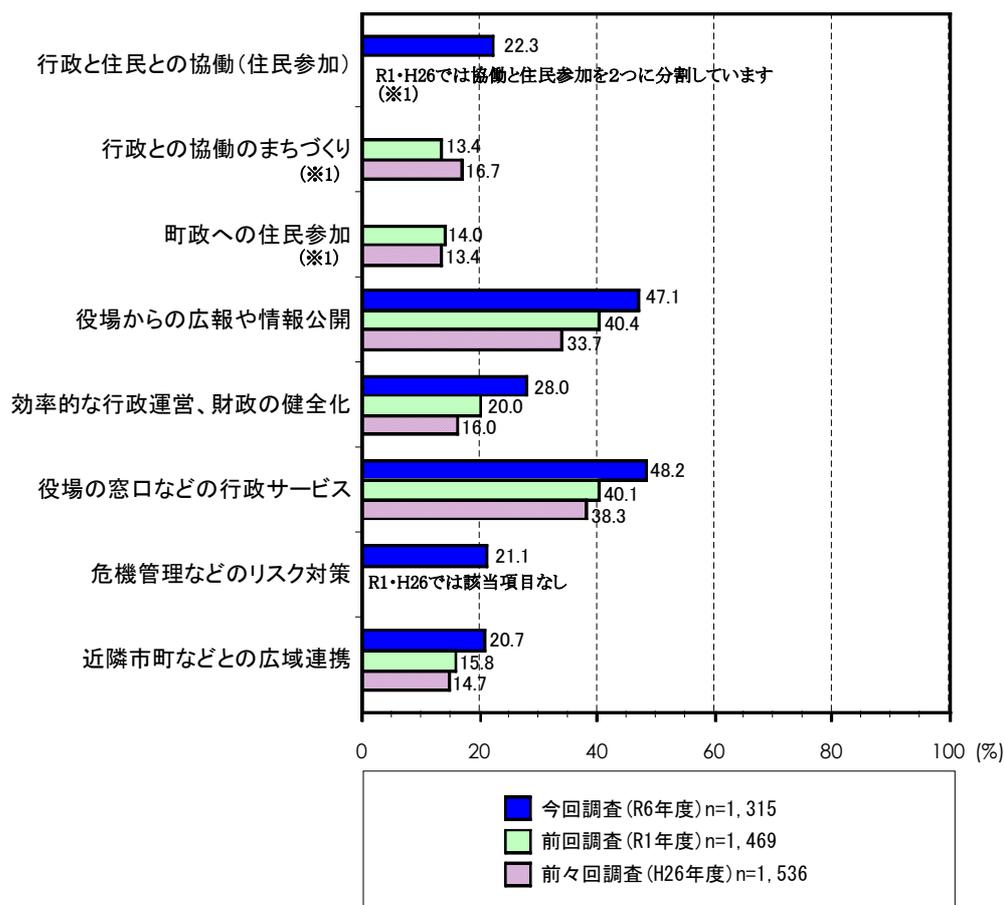


図 3-1-14-2 「協働・行政運営について」の満足度 (前回・前々回調査比較)

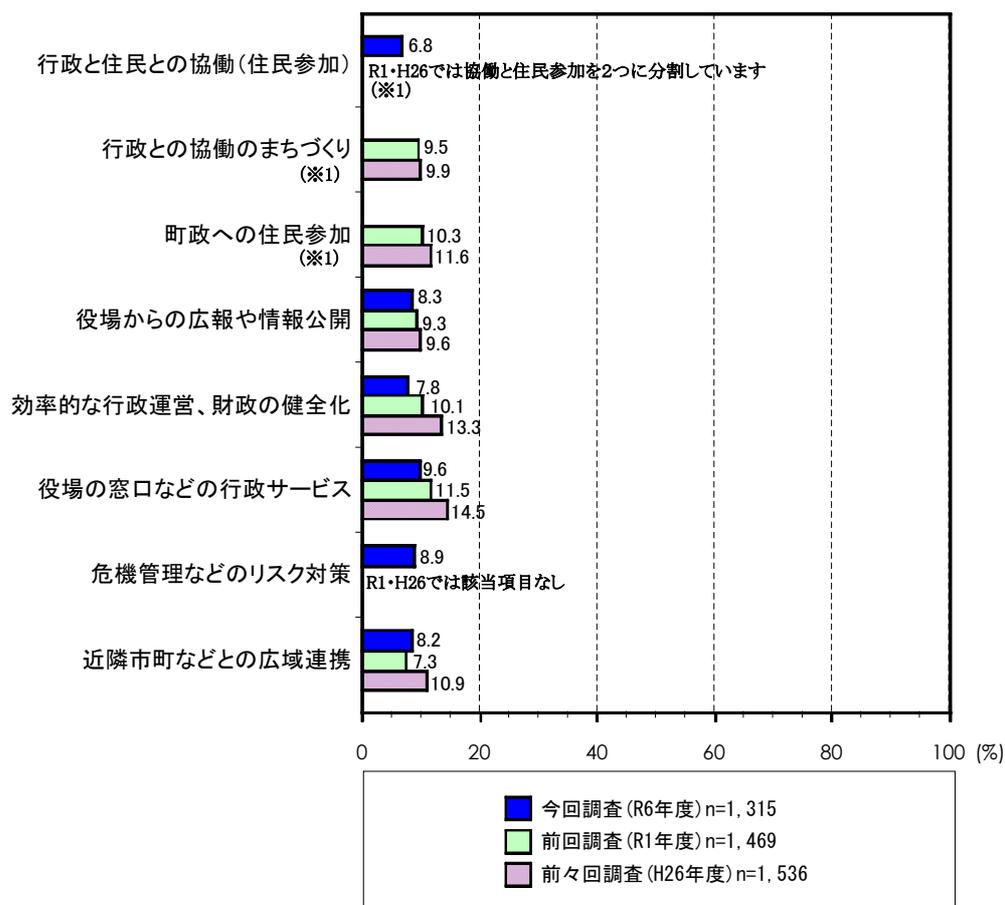


図 3-1-14-3 「協働・行政運営について」の不満度（前回・前々回調査比較）

- 56項目のうち、5段階評価の平均点では、プラスの評点は52項目、マイナスの評点は4項目と、プラス評価の項目の方が多く、全体的に満足度が高くなっています。特に「上下水道」の分野や「保健・医療」の分野、「子育て支援」の分野、「学校教育・生涯学習」の分野では評点が高く、「産業」の分野、「環境共生」の分野、「交通安全・防犯」の分野などで評点が低くなっています。
- 最も評点が高いのは「上水道の整備」(0.99点)となっており、次いで「公共下水道の整備」(0.78点)、「健康づくり・検診などの疾病予防対策」(0.70点)、「感染症予防対策」(0.56点)となっています。
- 一方、最も評点が低いのは「地震・津波対策」(-0.14点)となっており、次いで「空き家対策」(-0.04点)、「新たな企業の誘致」(-0.02点)、「安全・安心な歩行環境の整備」(-0.02点)となっています。

表3-1 暮らしの満足度（評点）

※「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点の5段階評価で得点を付け、57項目ごとに満足度の平均の評点を算出しました。

| 項目 | | 満足度 | |
|------------------|-------------------------|-------|-------|
| | | n | 評点 |
| 防消 災防 急救 | 1 風水害対策 | 1,295 | 0.05 |
| | 2 地震・津波対策 | 1,299 | -0.14 |
| | 3 消防・防火体制 | 1,290 | 0.39 |
| | 4 救急体制 | 1,288 | 0.33 |
| 犯防 交通 安全 | 5 交通安全対策 | 1,295 | 0.13 |
| | 6 防犯対策 | 1,291 | 0.13 |
| 海河 岸 | 7 河川の整備 | 1,300 | 0.15 |
| | 8 海岸の保全・維持管理 | 1,295 | 0.18 |
| 上 下 水 道 | 9 上水道の整備(安定した水の供給) | 1,306 | 0.99 |
| | 10 雨水排水の整備 | 1,300 | 0.54 |
| | 11 公共下水道の整備 | 1,304 | 0.78 |
| 環 境 共 生 | 12 太陽光発電などの再生可能エネルギーの取組 | 1,293 | 0.19 |
| | 13 ごみの分別収集、減量化・リサイクル活動 | 1,300 | 0.11 |
| | 14 不法投棄の防止 | 1,301 | 0.00 |
| | 15 公害の防止対策 | 1,293 | 0.20 |
| 住 市 環 境 | 16 良好な市街地・住宅地の整備 | 1,297 | 0.42 |
| | 17 空き家対策 | 1,300 | -0.04 |
| | 18 公園緑地の整備・緑化推進 | 1,301 | 0.24 |
| 通交 路道 | 19 国道などの幹線道路の整備 | 1,301 | 0.47 |
| | 20 町道などの身近な生活道路の整備 | 1,303 | 0.24 |
| | 21 安全・安心な歩行環境の整備 | 1,298 | -0.02 |
| | 22 鉄道や駅の利便性 | 1,302 | 0.25 |
| | 23 ふれあいバスなどの移動手段の利便性 | 1,304 | 0.14 |
| 産 業 | 24 農業振興・農地の保全 | 1,293 | 0.08 |
| | 25 商工業の振興 | 1,293 | 0.10 |
| | 26 新たな企業の誘致 | 1,293 | -0.02 |
| | 27 創業や起業の支援 | 1,292 | 0.03 |
| | 28 就業の場、就業の機会 | 1,291 | 0.03 |

| | | 項目 | 満足度 | | |
|-------|------|----|---------------------|-------|------|
| | | | n | 評点 | |
| 療医・健保 | | 29 | 母子保健(妊娠・出産の支援) | 1,284 | 0.50 |
| | | 30 | 健康づくり・検診などの疾病予防対策 | 1,296 | 0.70 |
| | | 31 | 感染症予防対策 | 1,296 | 0.56 |
| | | 32 | 地域医療(川越診療所など) | 1,300 | 0.49 |
| 子育て支援 | | 33 | 保育サービスなどの子育て支援 | 1,287 | 0.47 |
| | | 34 | 児童館などの子どもの居場所づくり | 1,287 | 0.54 |
| | | 35 | 一人親家庭への支援 | 1,284 | 0.25 |
| | | 36 | 子どもの虐待防止対策 | 1,282 | 0.22 |
| 障害者福祉 | 地域福祉 | 37 | 地域福祉活動・ボランティア活動 | 1,294 | 0.33 |
| | | 38 | 介護予防、見守りなどの高齢者福祉 | 1,291 | 0.27 |
| | | 39 | 障害者の自立支援・就労環境の整備 | 1,286 | 0.24 |
| 生涯学習 | 学校教育 | 40 | 小中学校の教育、施設の整備 | 1,293 | 0.42 |
| | | 41 | 幼児教育、施設の整備 | 1,292 | 0.44 |
| | | 42 | 生涯学習活動(文化・芸術・スポーツ) | 1,297 | 0.35 |
| | | 43 | 文化施設(あいあいホール、図書室など) | 1,299 | 0.47 |
| | | 44 | スポーツ施設(総合体育館など) | 1,291 | 0.30 |
| | | 45 | 図書室の蔵書数 | 1,291 | 0.06 |
| | | 46 | 青少年の健全な育成 | 1,281 | 0.19 |
| | | 47 | 伝統文化の継承 | 1,283 | 0.21 |
| 多文化共生 | 人 | 48 | 人権相談などの取組 | 1,287 | 0.17 |
| | | 49 | 男女共同参画の取組 | 1,287 | 0.16 |
| | | 50 | 外国人との交流、多文化共生 | 1,284 | 0.11 |
| 営運政行 | 働協 | 51 | 行政と住民との協働(住民参加) | 1,284 | 0.19 |
| | | 52 | 役場からの広報や情報公開 | 1,290 | 0.49 |
| | | 53 | 効率的な行政運営、財政の健全化 | 1,279 | 0.25 |
| | | 54 | 役場の窓口などの行政サービス | 1,295 | 0.50 |
| | | 55 | 危機管理などのリスク対策 | 1,283 | 0.16 |
| | | 56 | 近隣市町などとの広域連携 | 1,287 | 0.16 |

(2) 今後のまちづくりの重要度

問8 あなたは(1)～(56)のそれぞれの項目について、今後の行政を進めるにあたって、どれくらい重要であると思われますか。

「重要」、「やや重要」と回答した者の合計の割合を重要度とし、「あまり重要でない」、「重要でない」と回答した者の合計の割合を非重要度とします。また、本文の構成比(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ値を単純に加算した数値とは必ずしも一致しません。

◆「地震・津波対策」、「風水害対策」、「河川の整備」、「救急体制」など、町民の命に係わる安全・安心に関連する項目への重要度が高くなっています。

○今後のまちづくりの重要度として、「重要」と「やや重要」を合わせた回答では、「地震・津波対策」が88.3%で最も割合が高く、次いで「風水害対策」(83.8%)、「河川の整備」(81.0%)、「救急体制」(80.2%)、「上水道の整備(安定した水の供給)」(80.1%)、「防犯対策」(80.0%)、「消防・防火体制」(79.7%)、「交通安全対策」(79.2%)、「安全・安心な歩行環境の整備」(79.2%)などとなっており、地震・津波対策などをはじめ、町民の命に係わる安全・安心に関連する項目が高くなっています。

○一方、「あまり重要でない」と「重要でない」と合わせた回答(非重要度)は、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの取組」が11.5%で最も割合が高く、次いで「外国人との交流、多文化共生」(9.2%)、「伝統文化の継承」(7.6%)、「ふれあいバスなどの移動手段の利便性」(6.6%)、「新たな企業の誘致」(6.4%)などとなっています。

○前回調査と比較して重要度が最も上昇したのは、「農業振興・農地の保全」で20.0ポイント上昇しています。次いで「伝統文化の継承」が14.2ポイント、「ふれあいバスなどの移動手段の利便性」が13.6ポイント、「男女共同参画の取組」が13.5ポイント、「良好な市街地・住宅地の整備」が11.4ポイントそれぞれ上昇しています。

○一方、前回調査と比較して非重要度が最も上昇したのは「太陽光発電などの再生可能エネルギーの取組」で、2.7ポイント上昇しています。

[防災・消防・救急について]

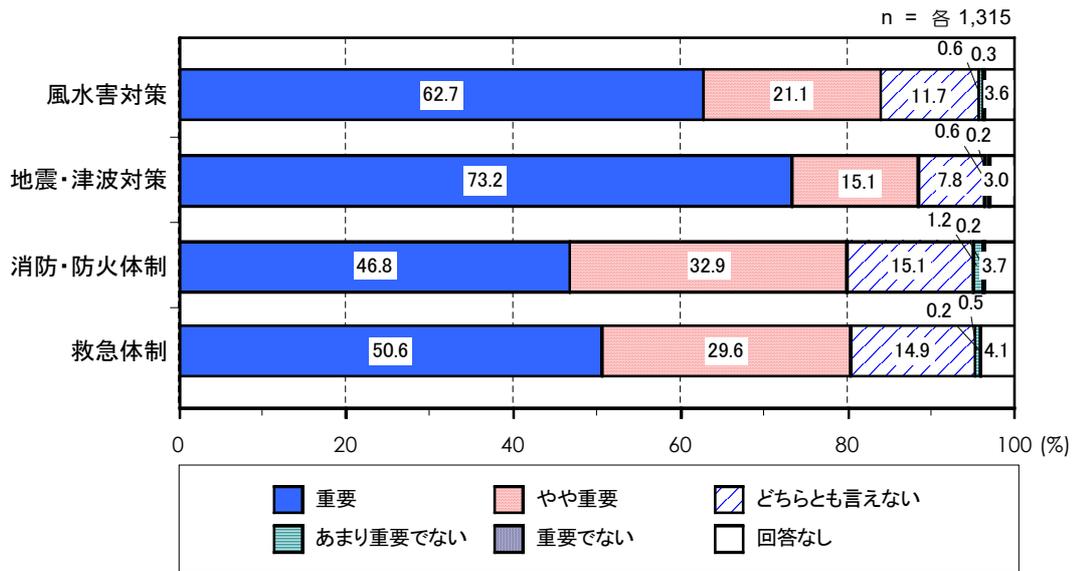


図 3-2-1-1 今後のまちづくりの重要度「防災・消防・救急について」

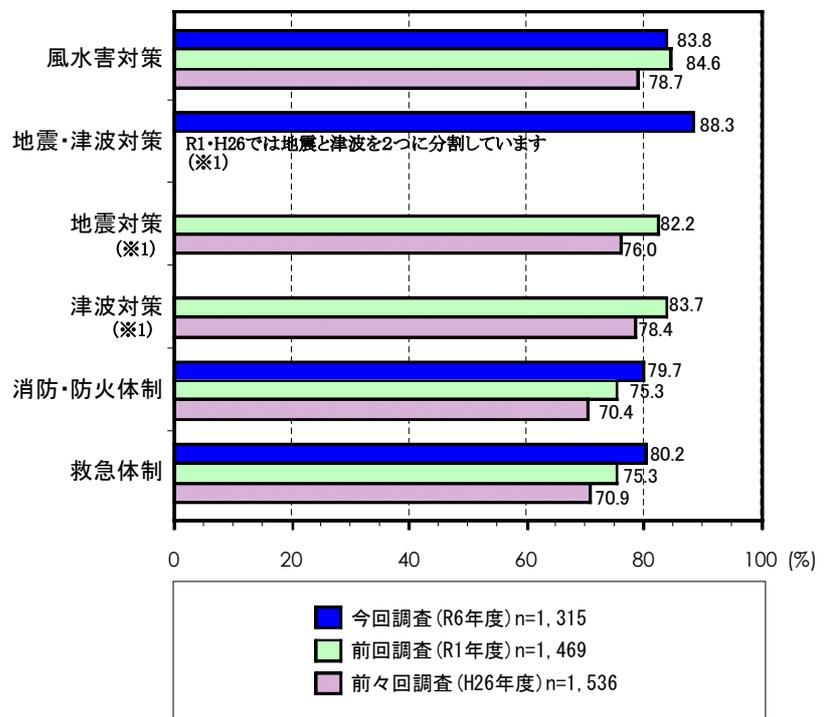


図 3-2-1-2 「防災・消防・救急について」の重要度 (前回・前々回調査比較)

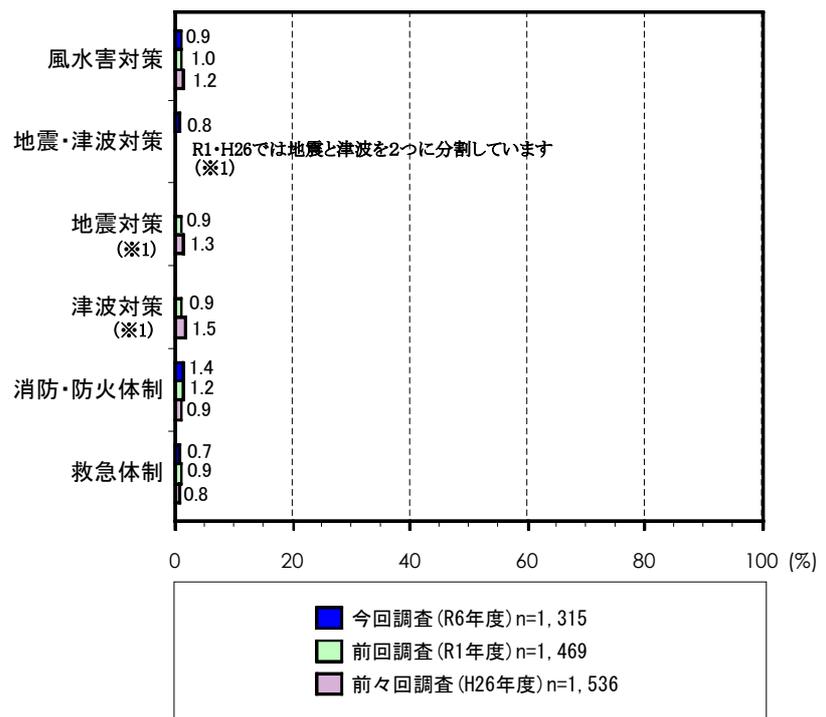


図 3-2-1-3 「防災・消防・救急について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[交通安全・防犯について]

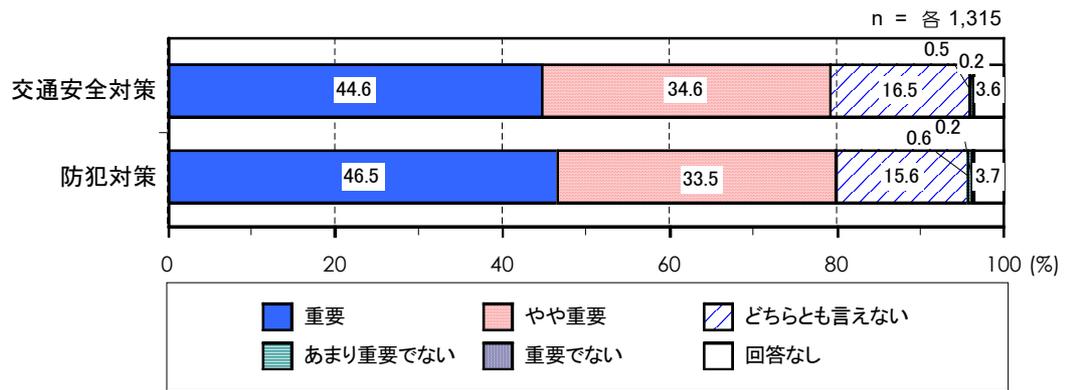


図 3-2-2-1 今後のまちづくりの重要度「交通安全・防犯について」

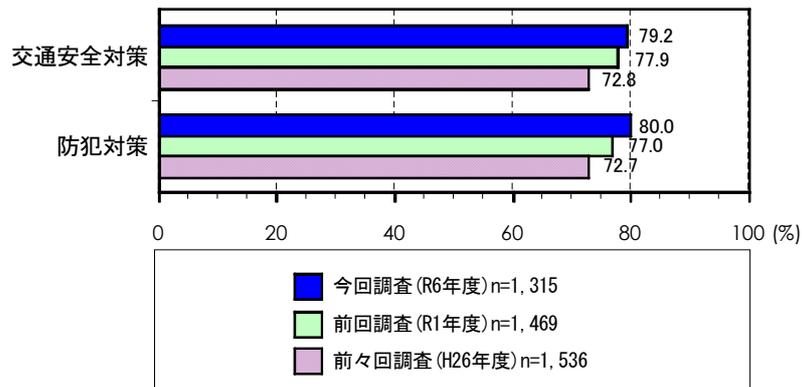


図 3-2-2-2 「交通安全・防犯について」の重要度（前回・前々回調査比較）

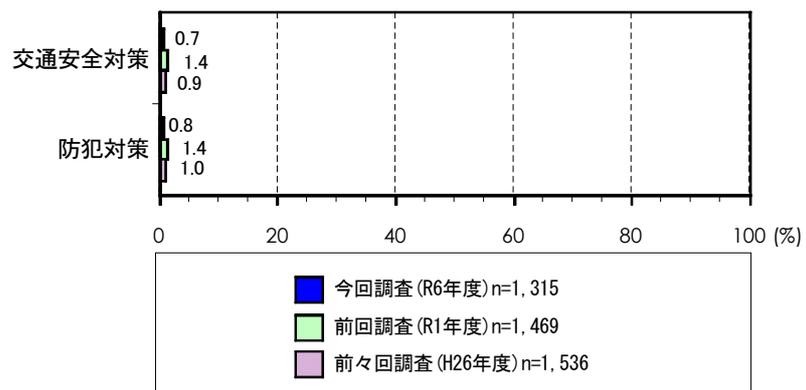


図 3-2-2-3 「交通安全・防犯について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[河川・海岸について]

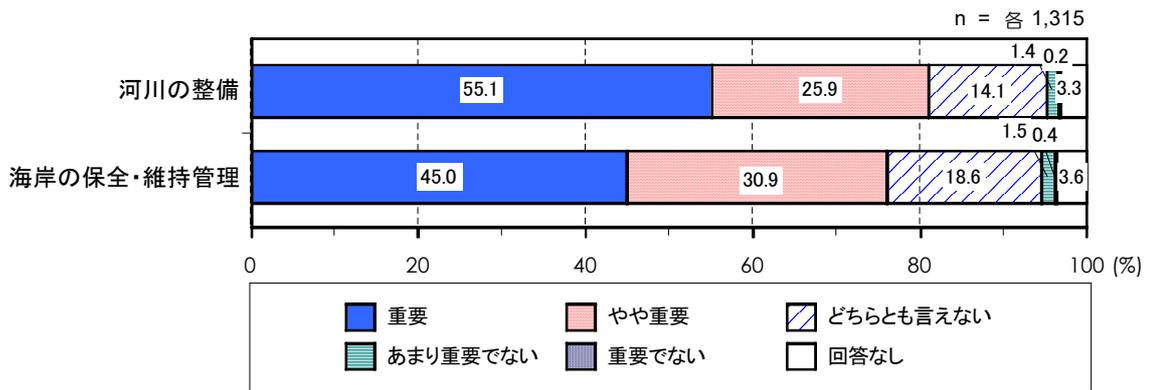


図 3-2-3-1 今後のまちづくりの重要度「河川・海岸について」

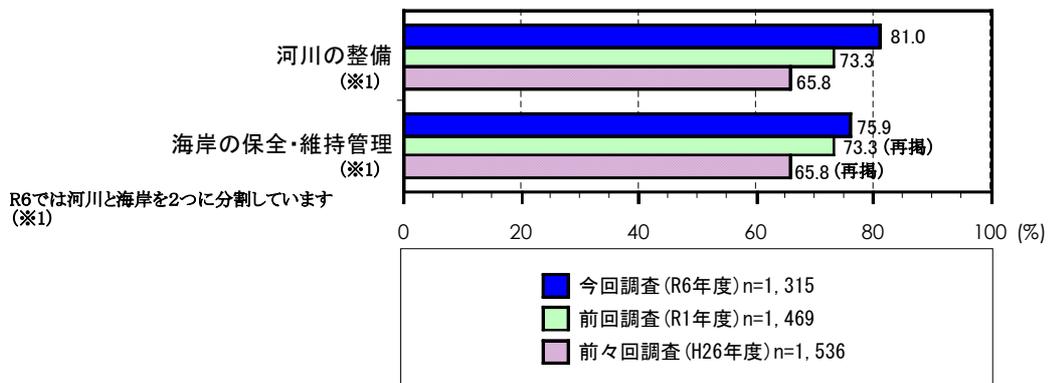


図 3-2-3-2 「河川・海岸について」の重要度（前回・前々回調査比較）

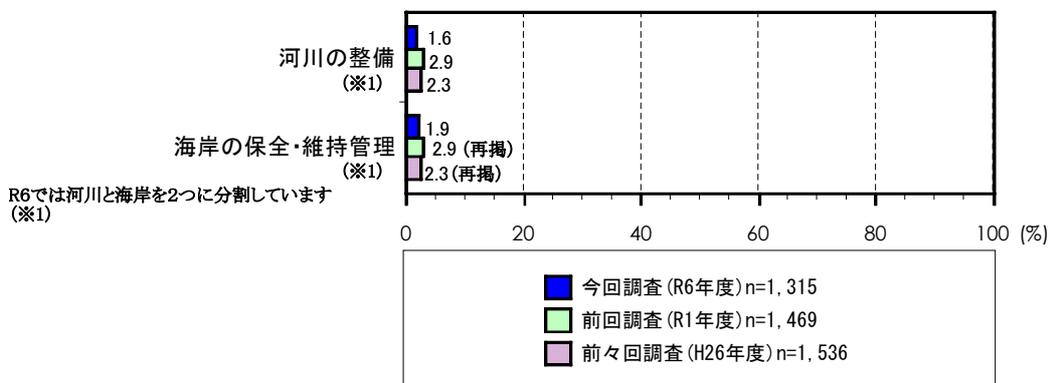


図 3-2-3-3 「河川・海岸について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[上下水道について]

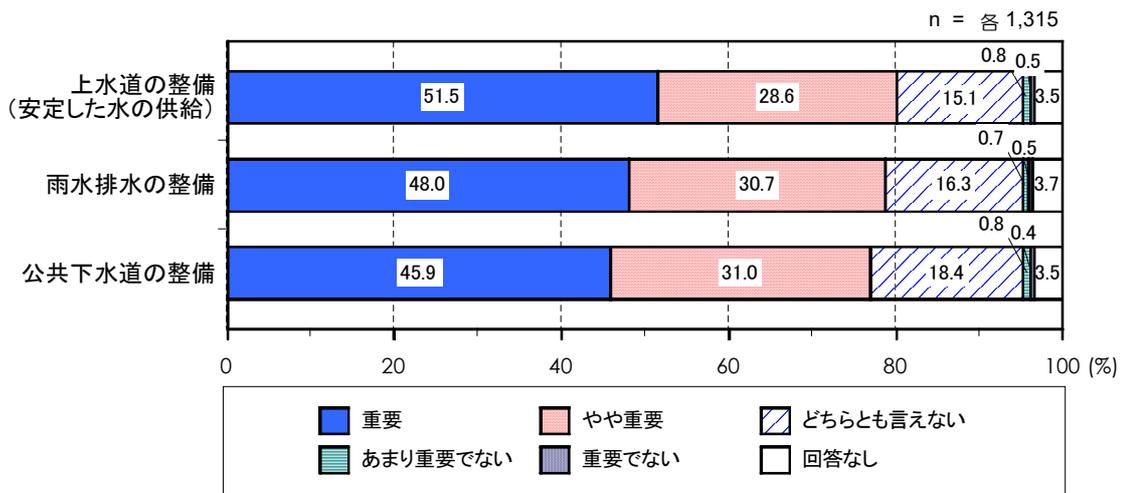


図 3-2-4-1 今後のまちづくりの重要度「上下水道について」

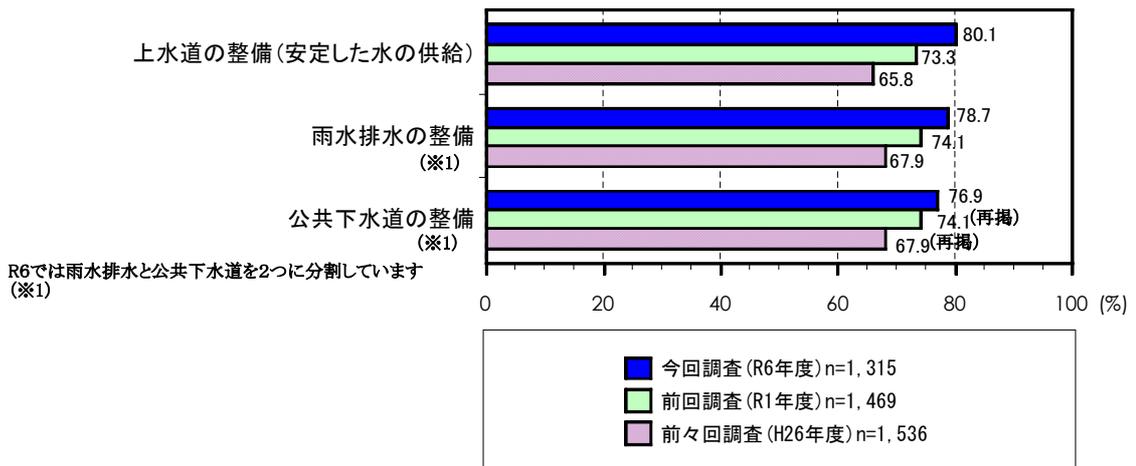


図 3-2-4-2 「上下水道について」の重要度 (前回・前々回調査比較)

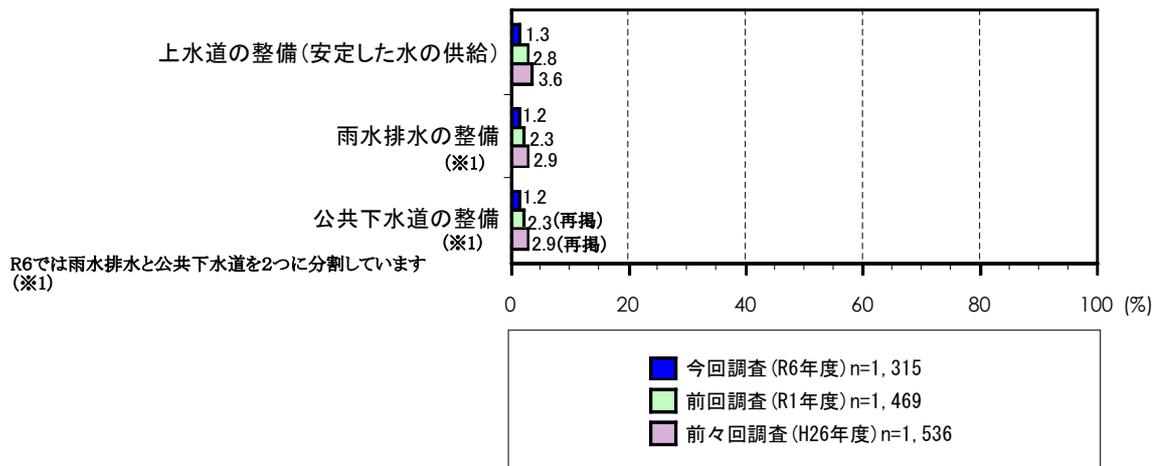


図 3-2-4-3 「上下水道について」の非重要度 (前回・前々回調査比較)

[環境共生について]

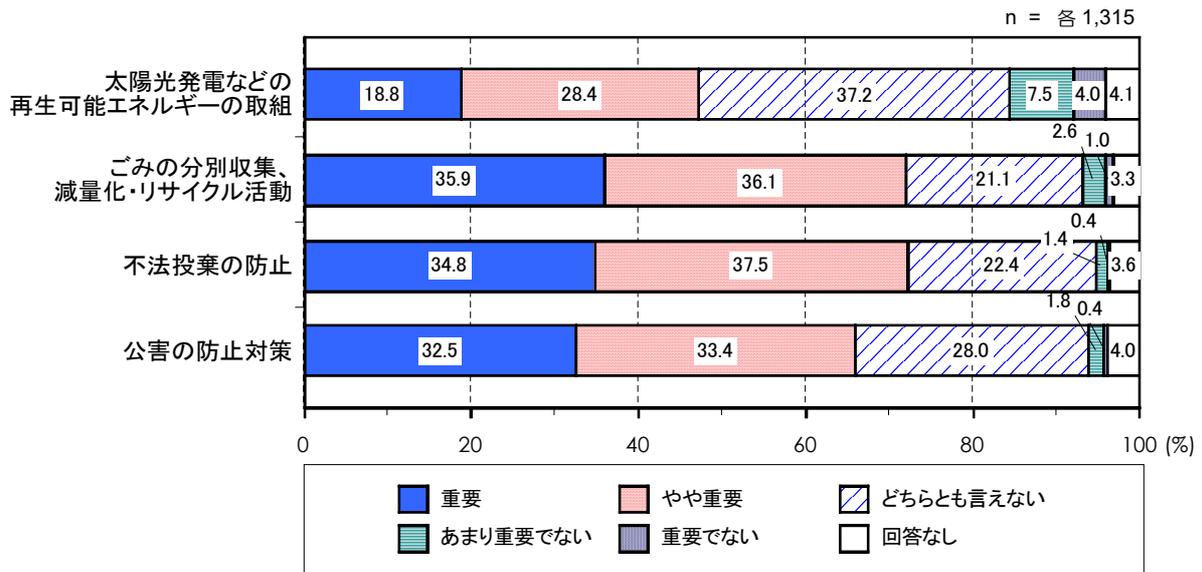


図 3-2-5-1 今後のまちづくりの重要度「環境共生について」

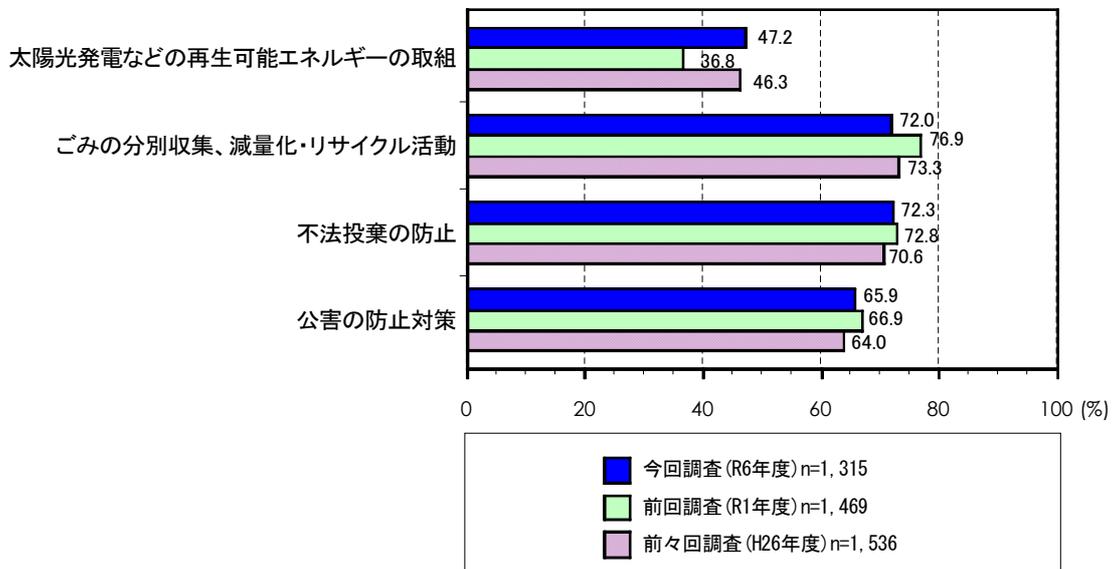


図 3-2-5-2 「環境共生について」の重要度（前回・前々回調査比較）

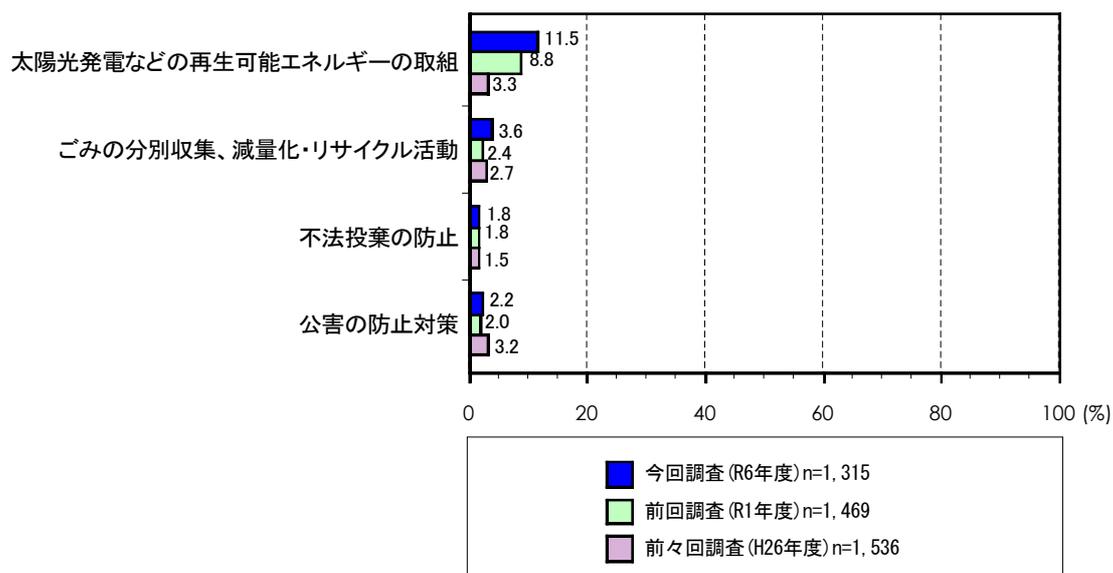


図 3-2-5-3 「環境共生について」の非重要度 (前回・前々回調査比較)

[市街地・住環境について]

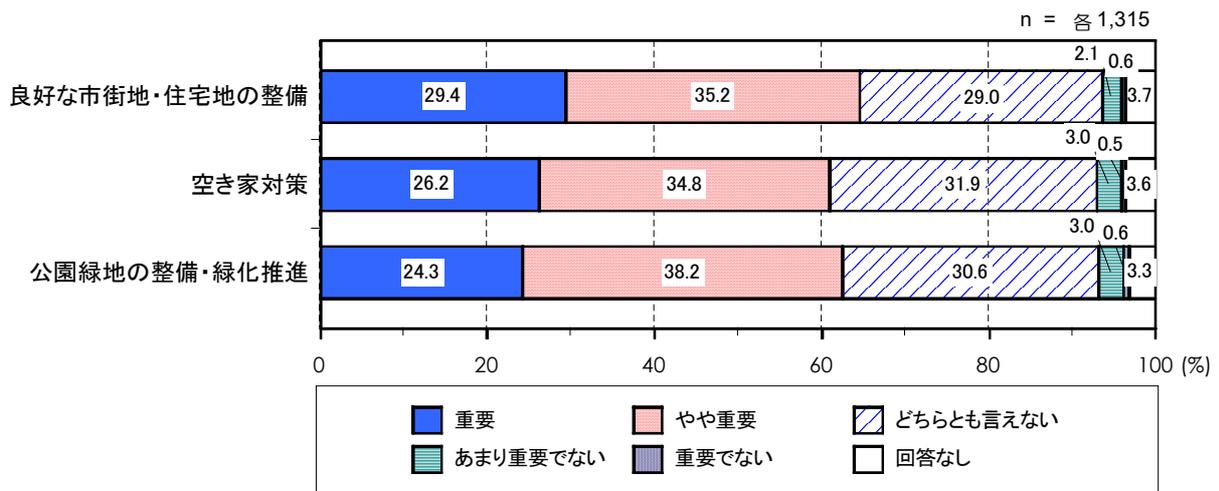


図 3-2-6-1 今後のまちづくりの重要度「市街地・住環境について」

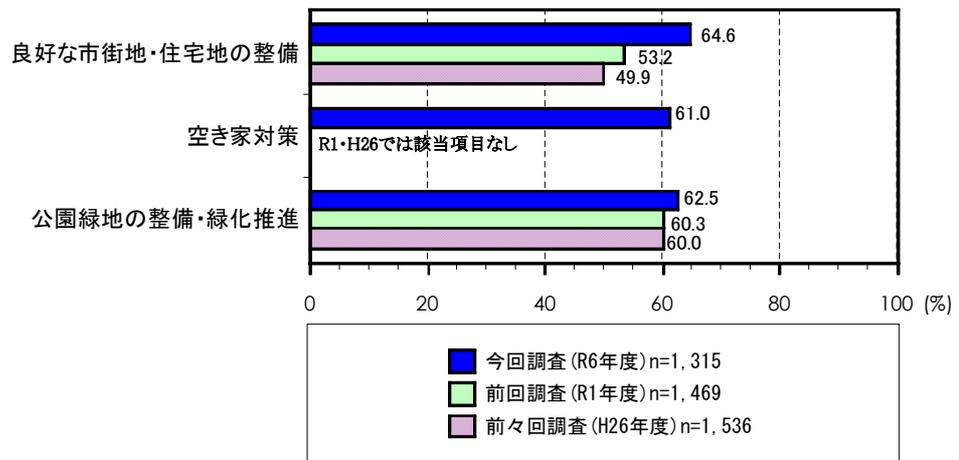


図 3-2-6-2 「市街地・住環境について」の重要度（前回・前々回調査比較）

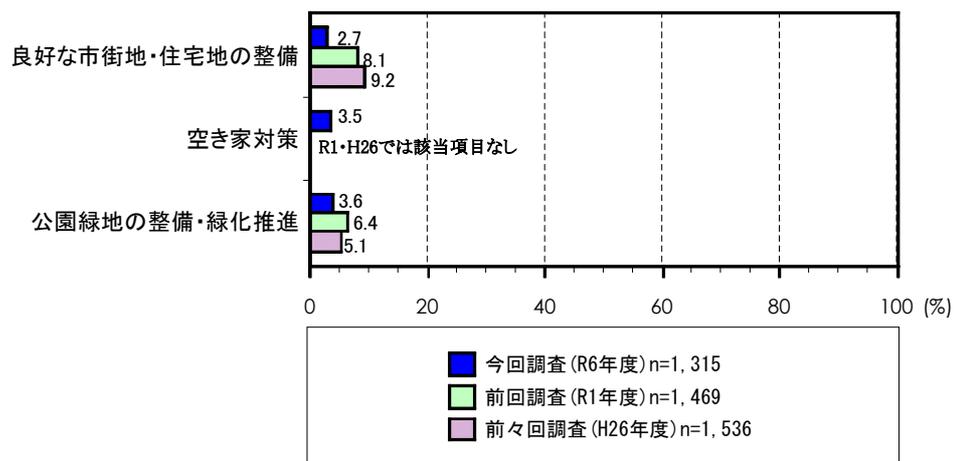


図 3-2-6-3 「市街地・住環境について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[道路・交通について]

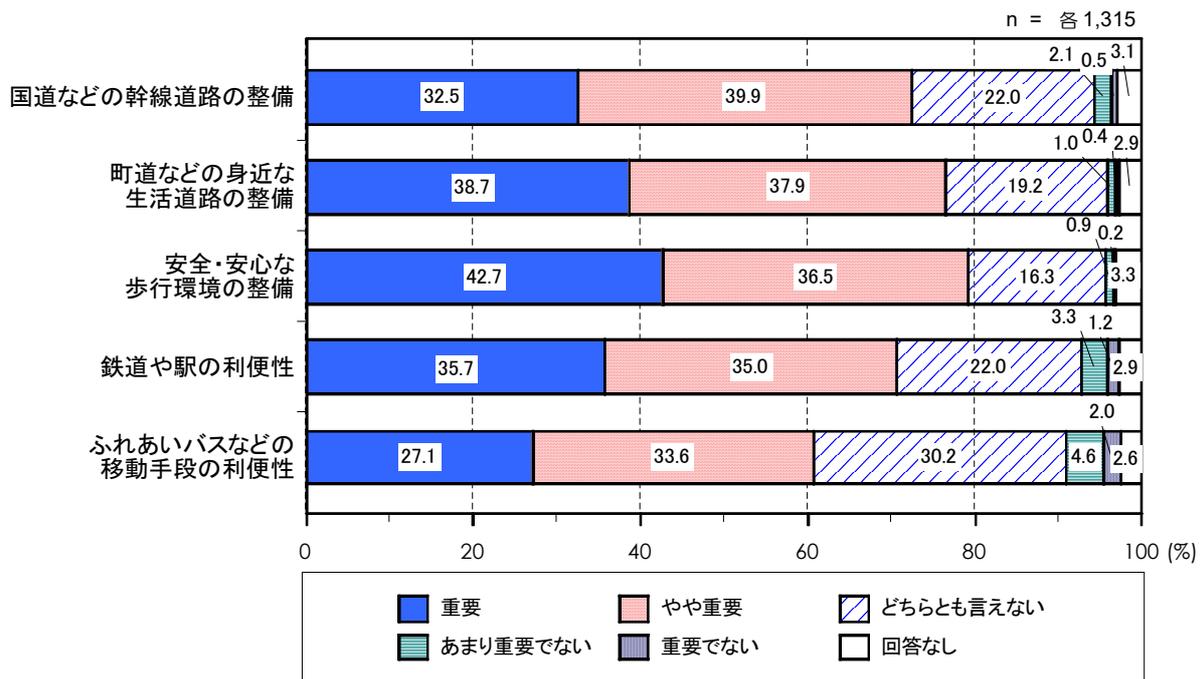


図 3-2-7-1 今後のまちづくりの重要度「道路・交通について」

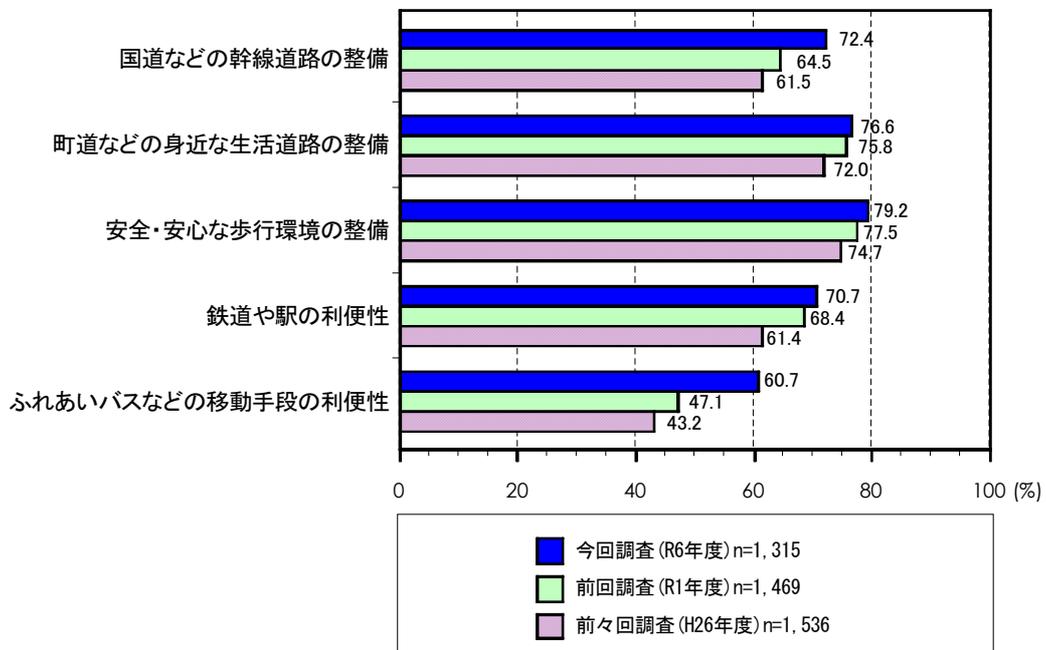


図 3-2-7-2 「道路・交通について」の重要度（前回・前々回調査比較）

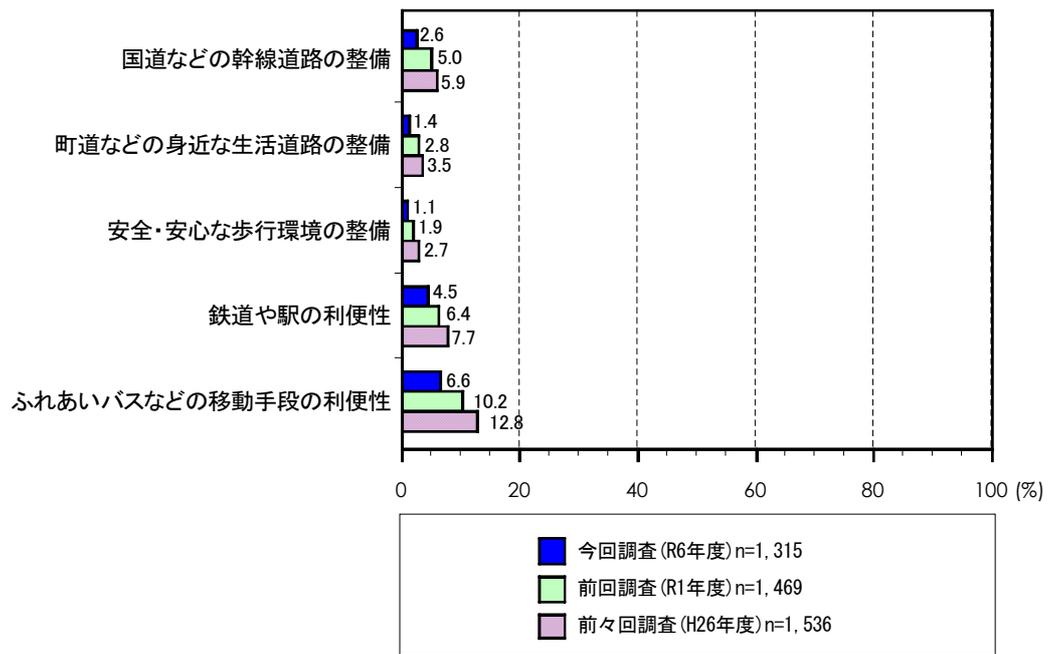


図 3-2-7-3 「道路・交通について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[産業について]

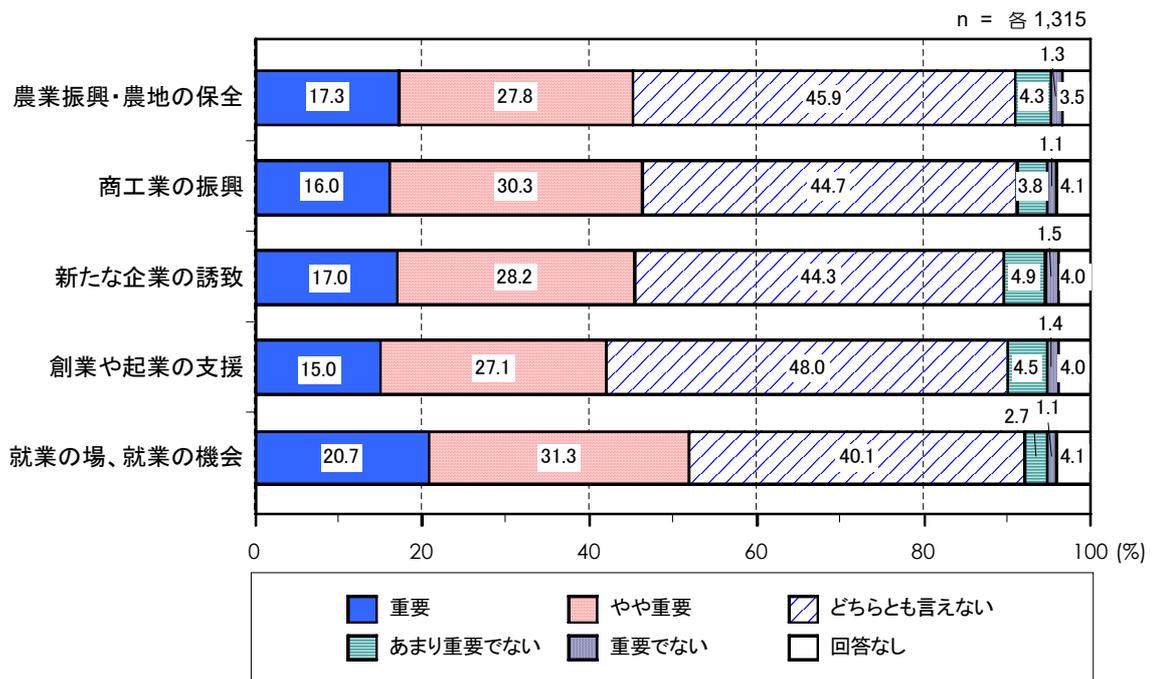


図 3-2-8-1 今後のまちづくりの重要度「産業について」

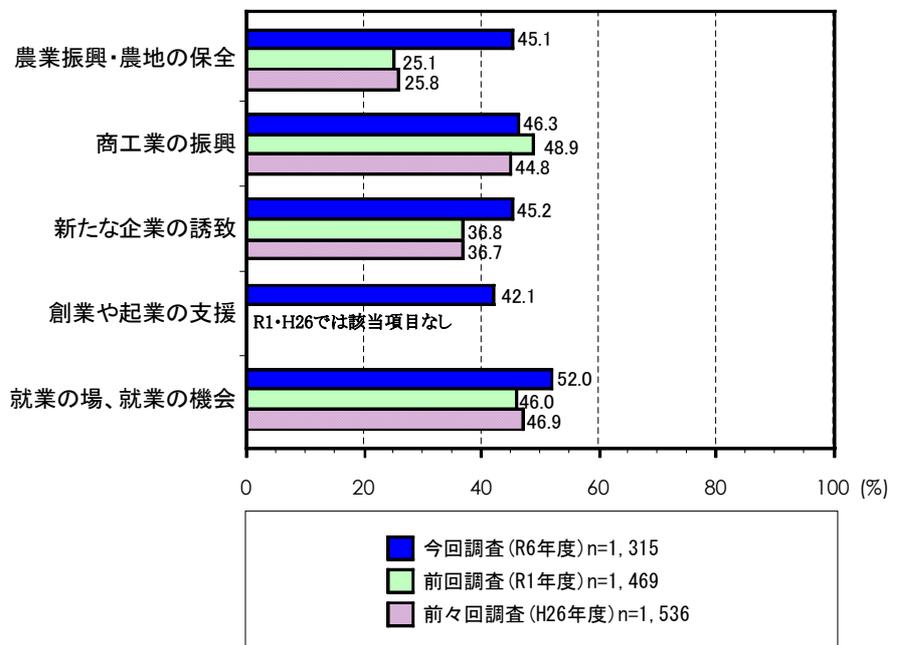


図 3-2-8-2 「産業について」の重要度（前回・前々回調査比較）

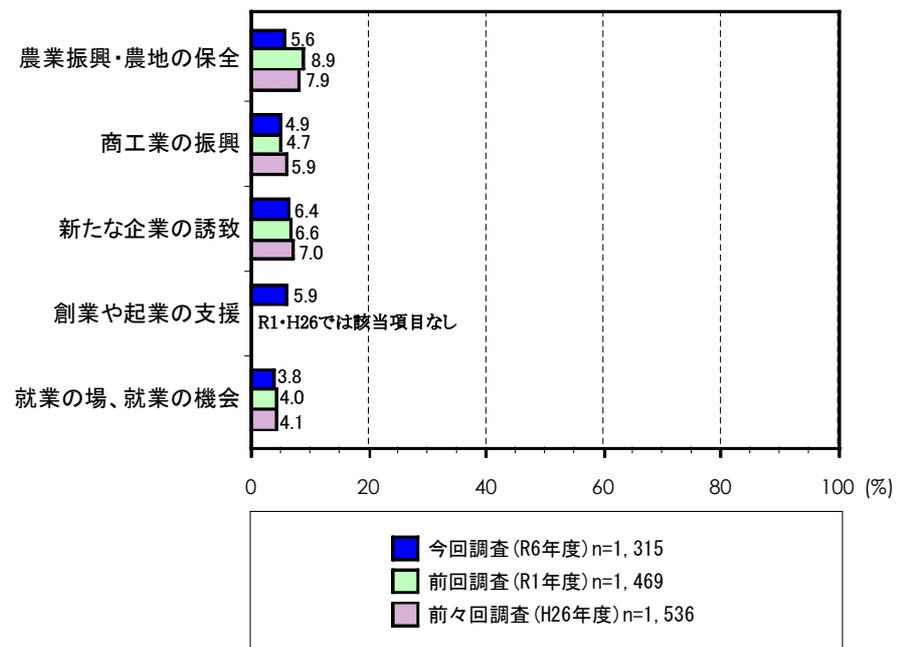


図 3-2-8-3 「産業について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[保健・医療について]

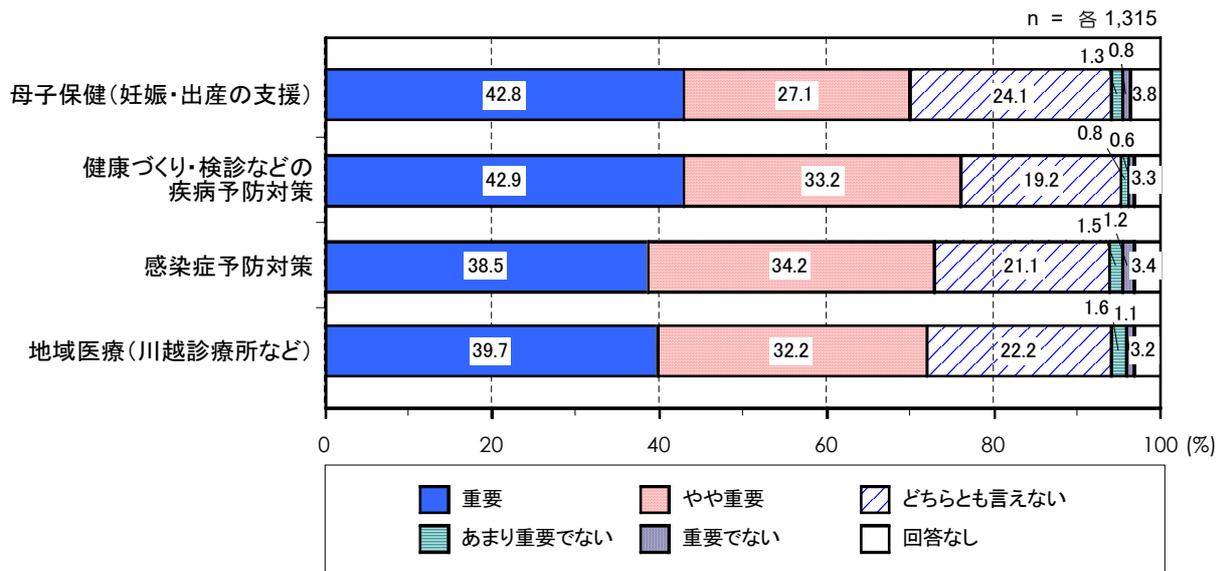


図 3-2-9-1 今後のまちづくりの重要度「保健・医療について」

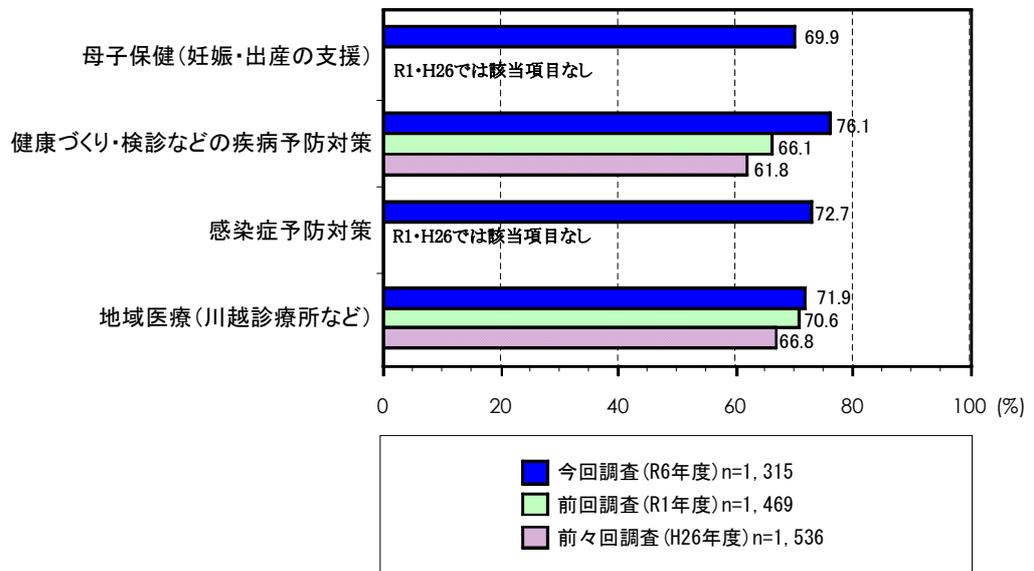


図 3-2-9-2 「保健・医療について」の重要度(前回・前々回調査比較)

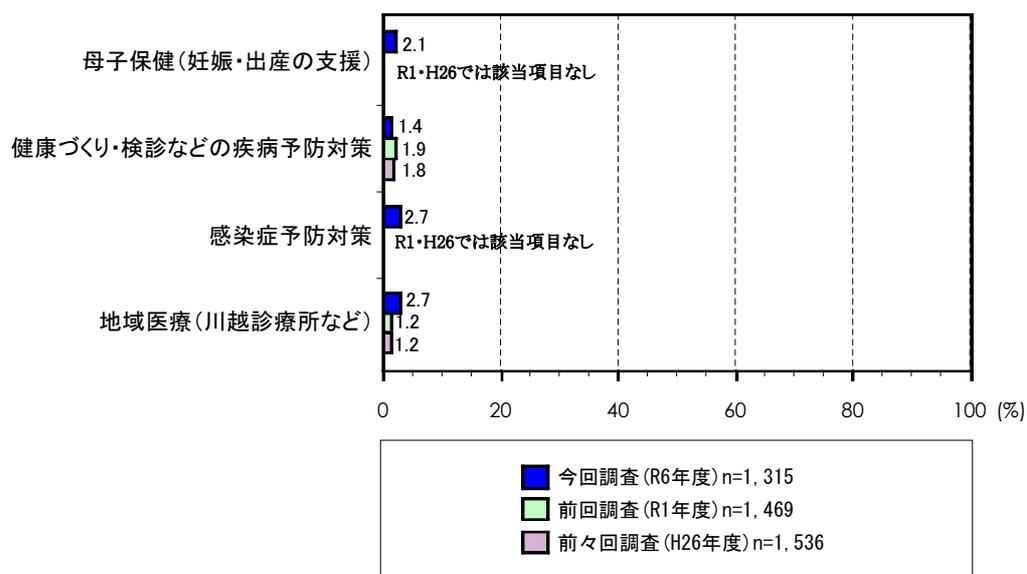


図 3-2-9-3 「保健・医療について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[子育て支援について]

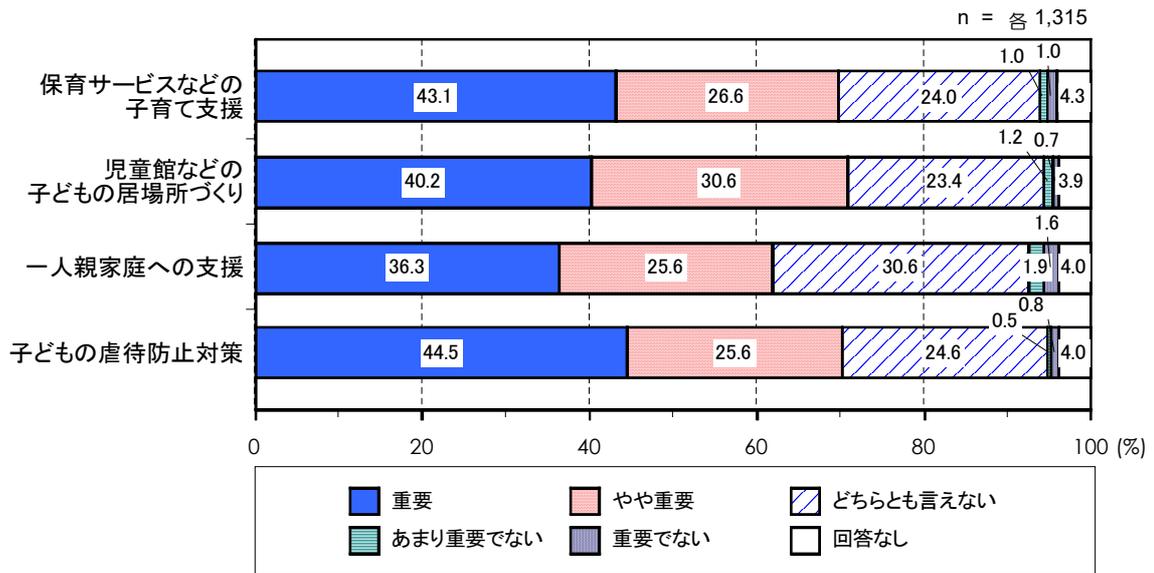


図 3-2-10-1 今後のまちづくりの重要度「子育て支援について」

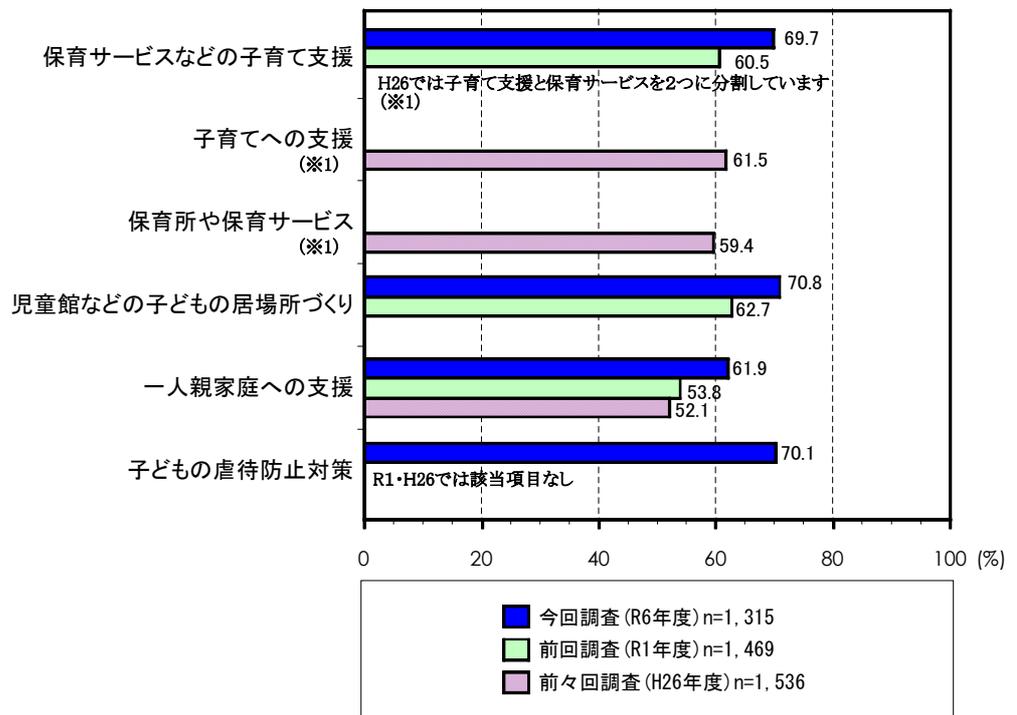


図 3-2-10-2 「子育て支援について」の重要度（前回・前々回調査比較）

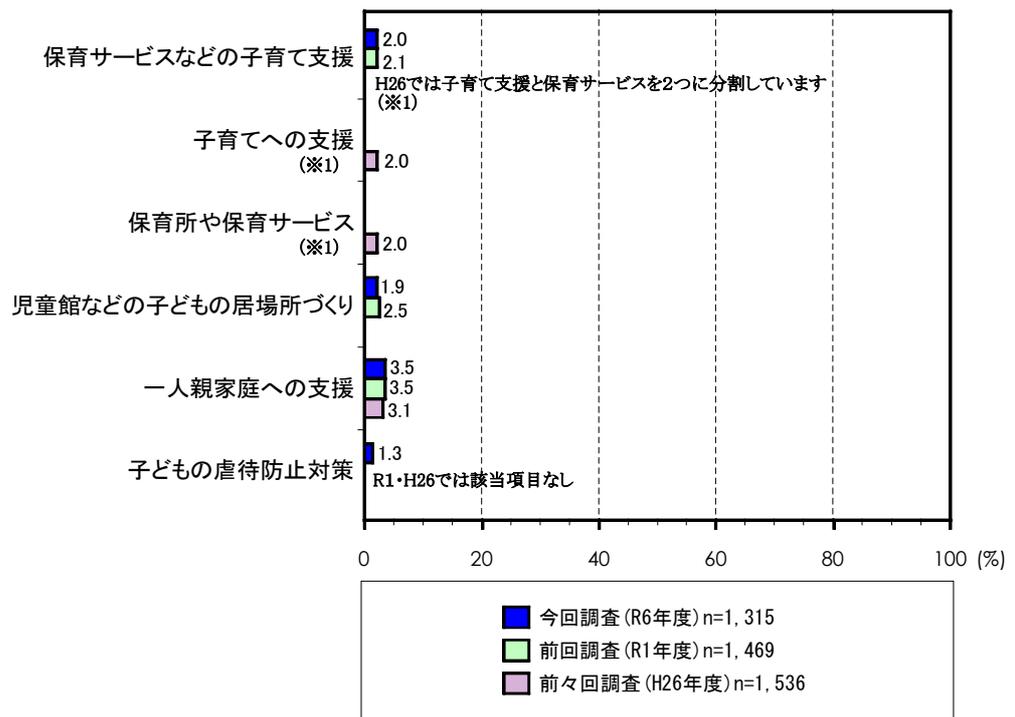


図 3-2-10-3 「子育て支援について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[地域福祉・高齢者・障害者福祉について]

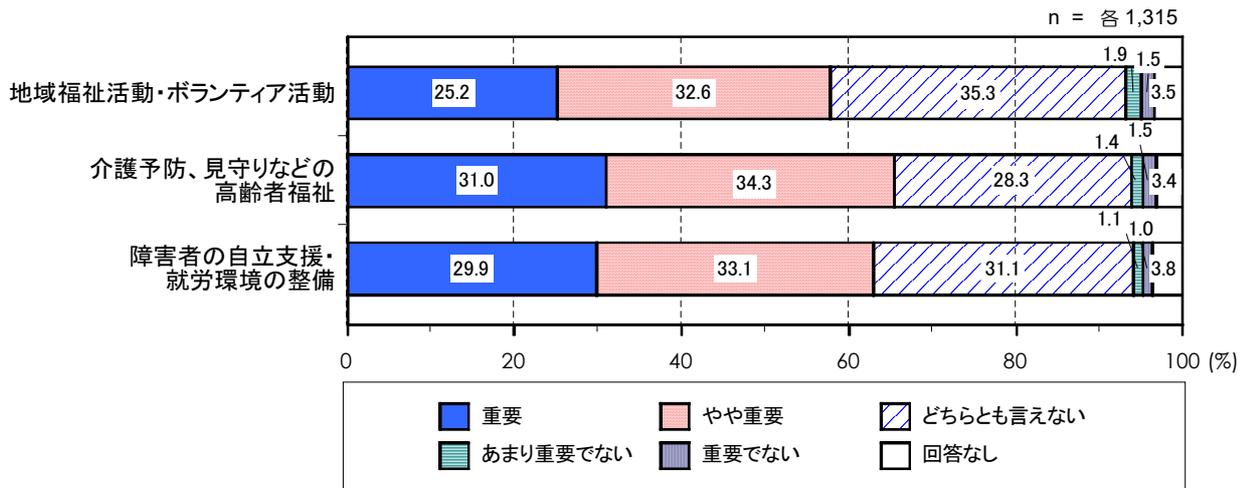


図 3-2-11-1 今後のまちづくりの重要度「地域福祉・高齢者・障害者福祉について」

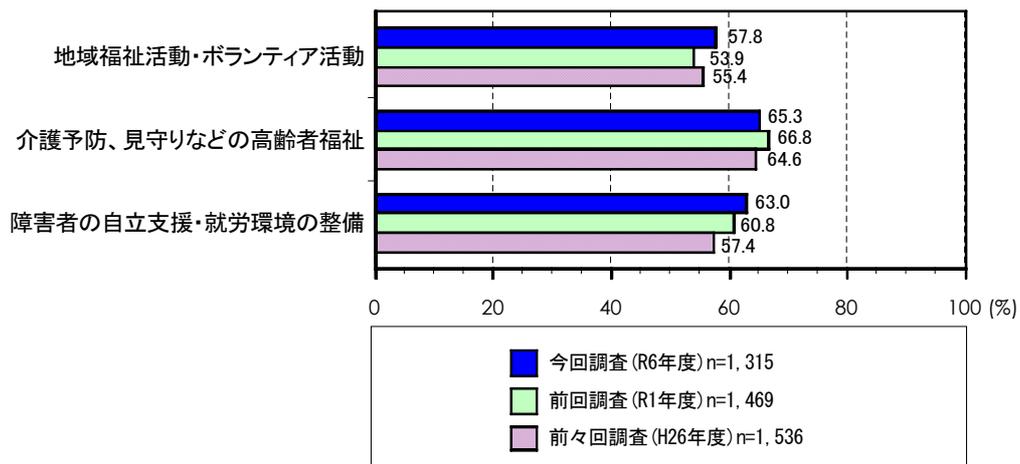


図 3-2-11-2 「地域福祉・高齢者・障害者福祉について」の重要度（前回・前々回調査比較）

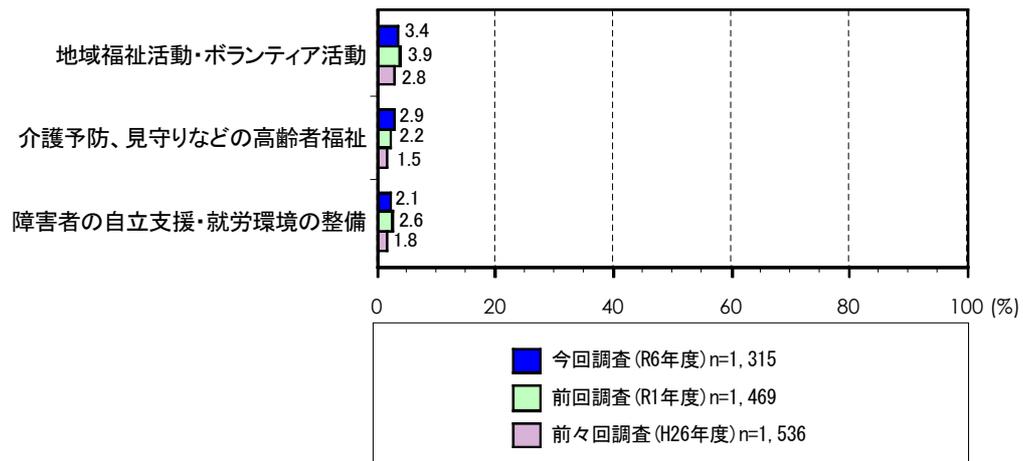


図 3-2-11-3 「地域福祉・高齢者・障害者福祉について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[学校教育・生涯学習について]

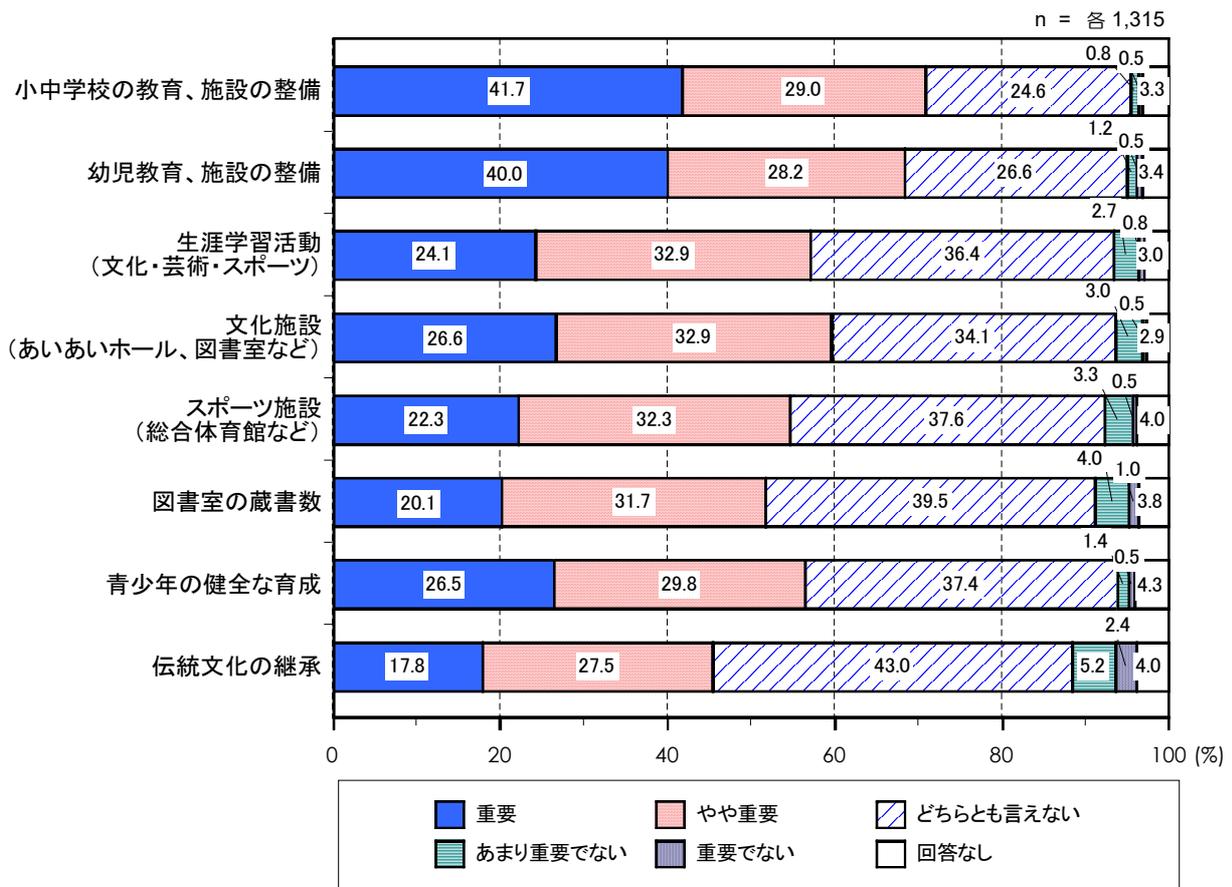


図 3-2-12-1 今後のまちづくりの重要度「学校教育・生涯学習について」

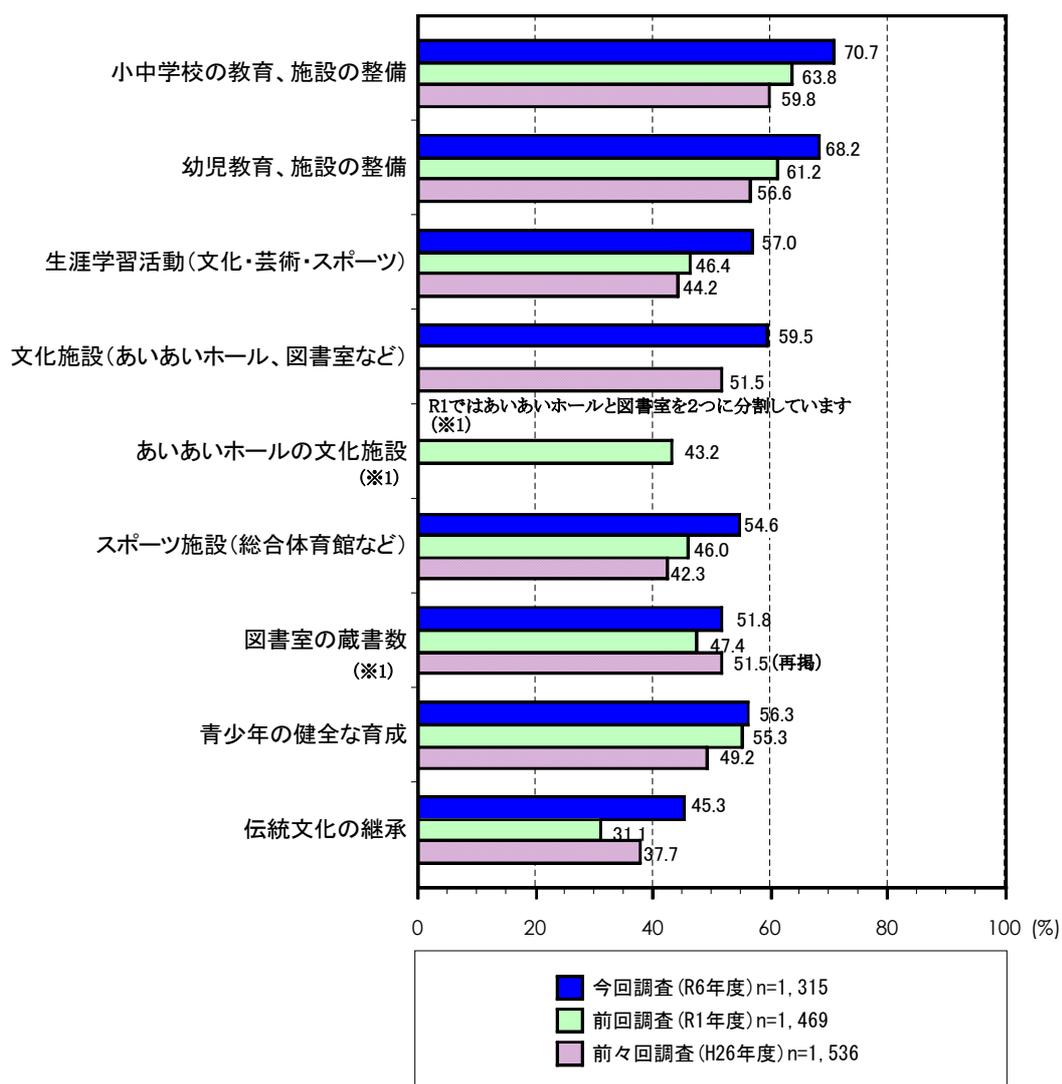


図 3-2-12-2 「学校教育・生涯学習について」の重要度（前回・前々回調査比較）

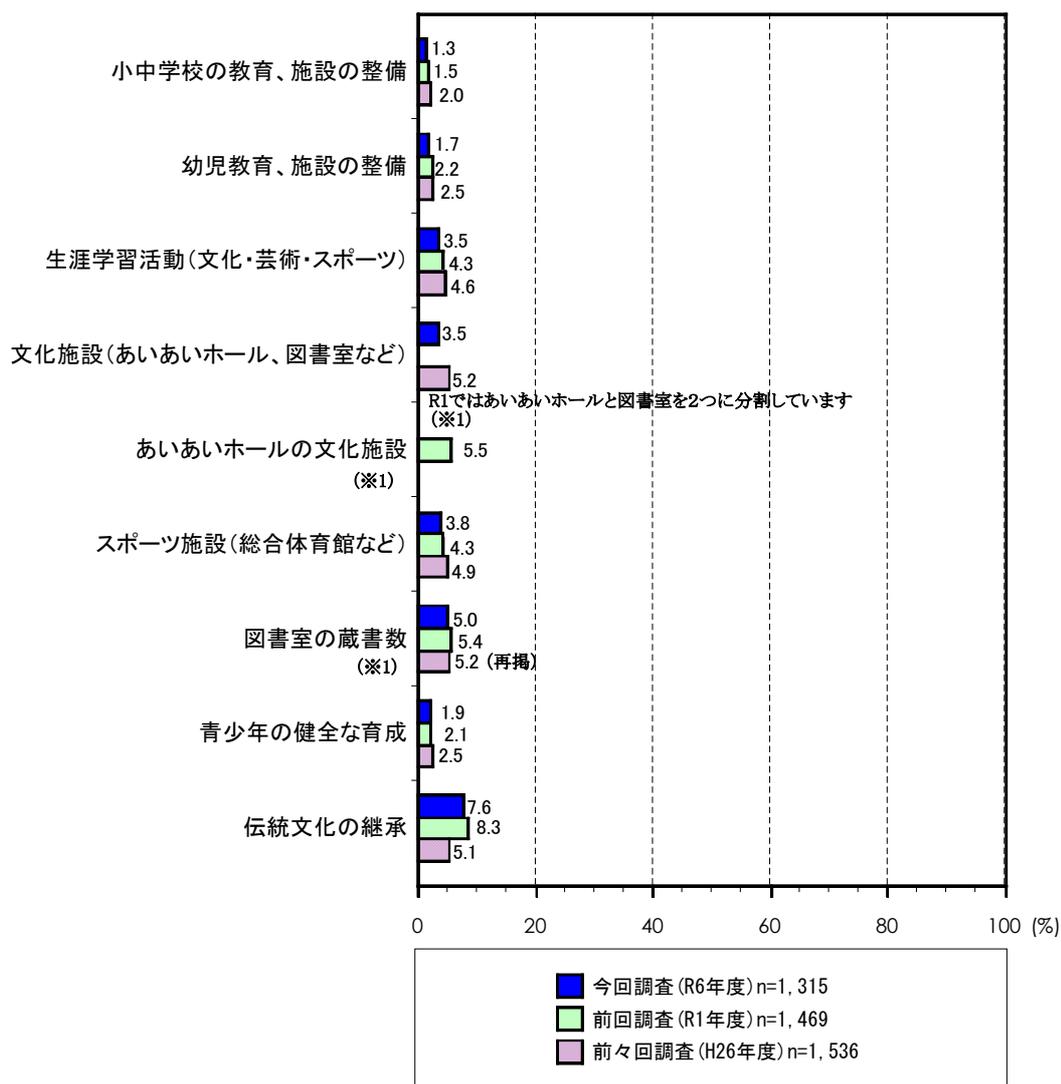


図 3-2-12-3 「学校教育・生涯学習について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[人権尊重・多文化共生について]

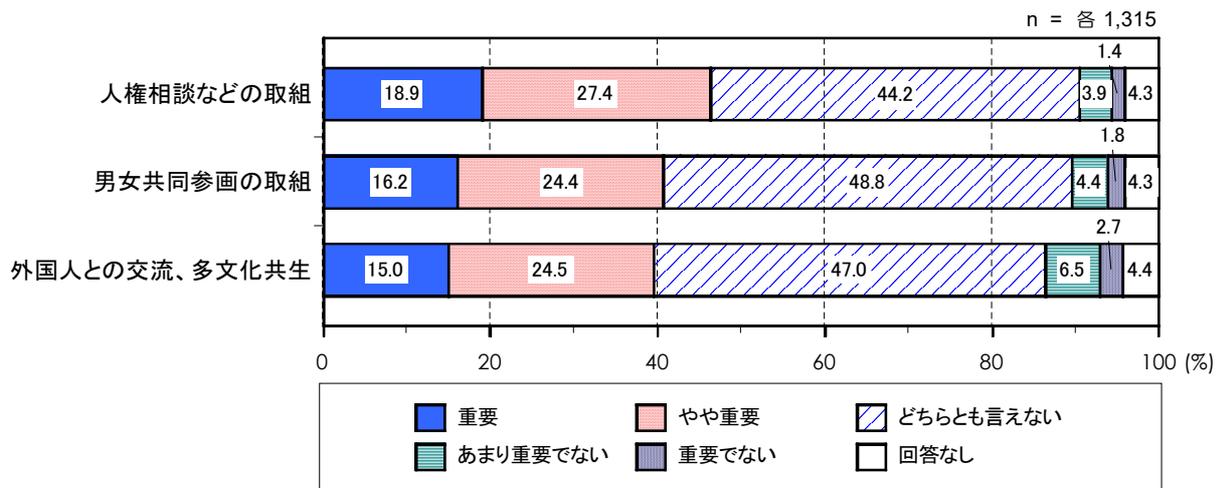


図 3-2-13-1 今後のまちづくりの重要度「人権尊重・多文化共生について」

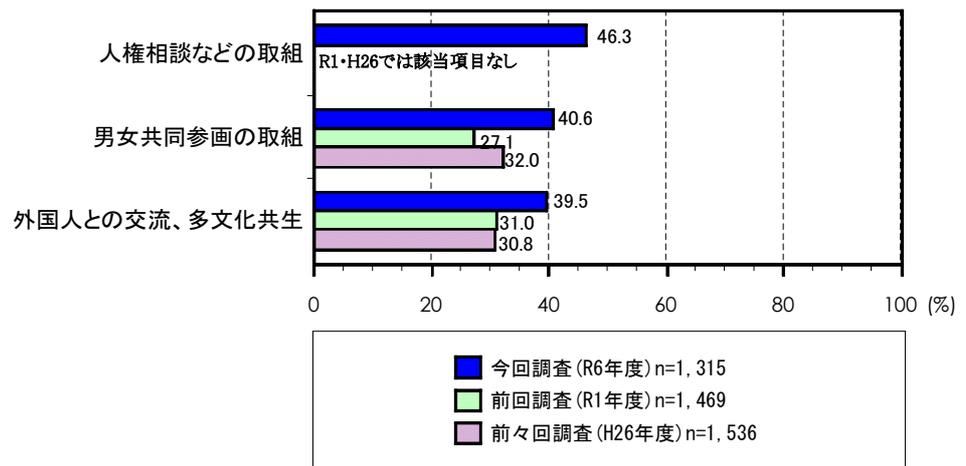


図 3-2-13-2 「人権尊重・多文化共生について」の重要度（前回・前々回調査比較）

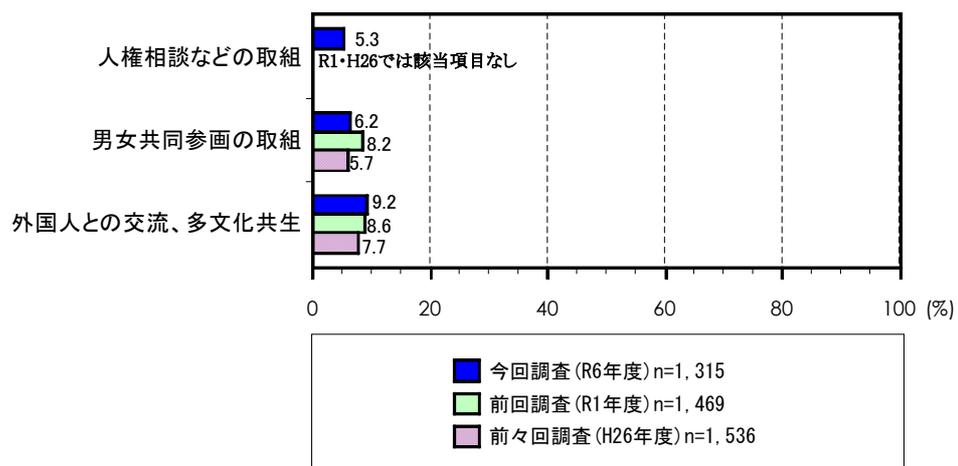


図 3-2-13-3 「人権尊重・多文化共生について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

[協働・行政運営について]

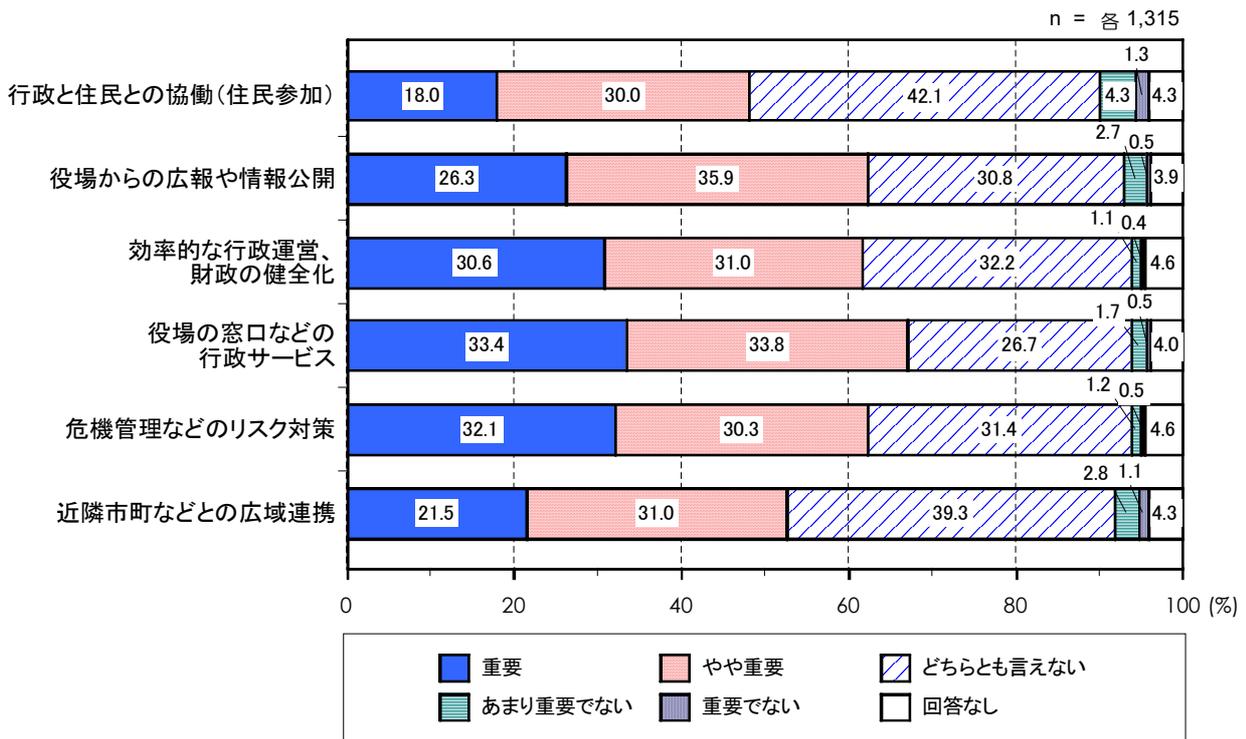


図 3-2-14-1 今後のまちづくりの重要度「協働・行政運営について」

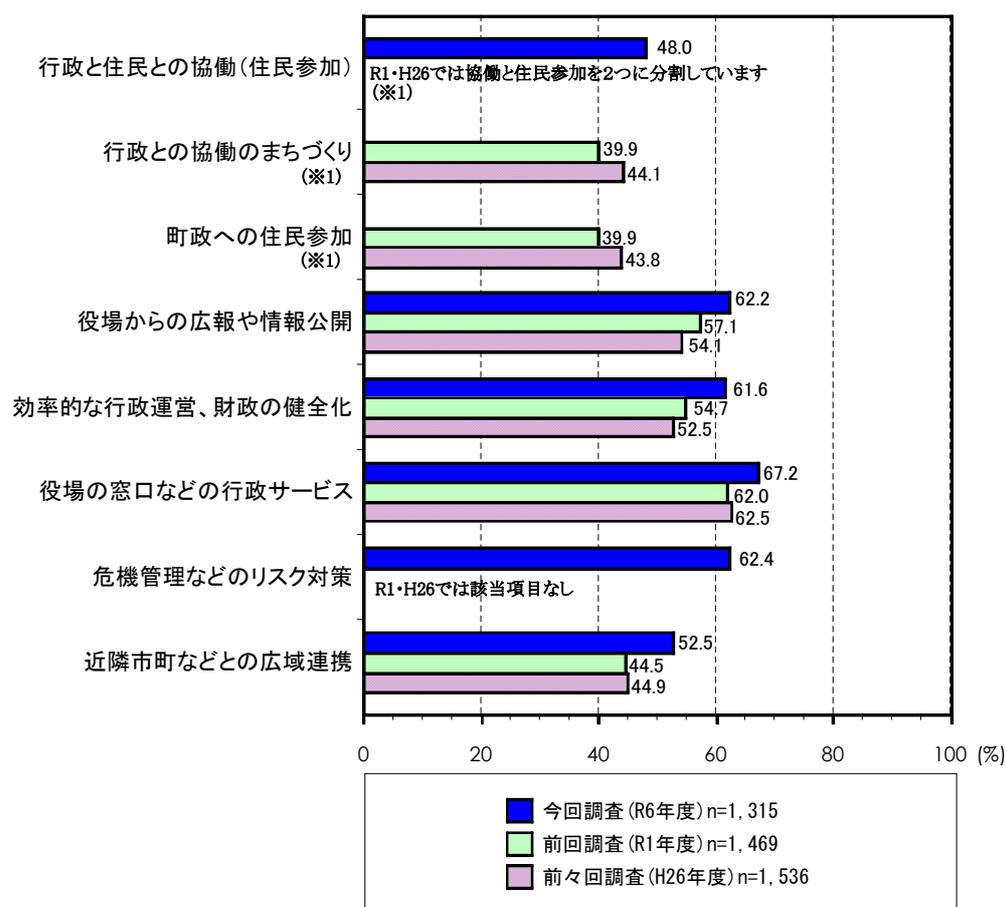


図 3-2-14-2 「協働・行政運営について」の重要度（前回・前々回調査比較）

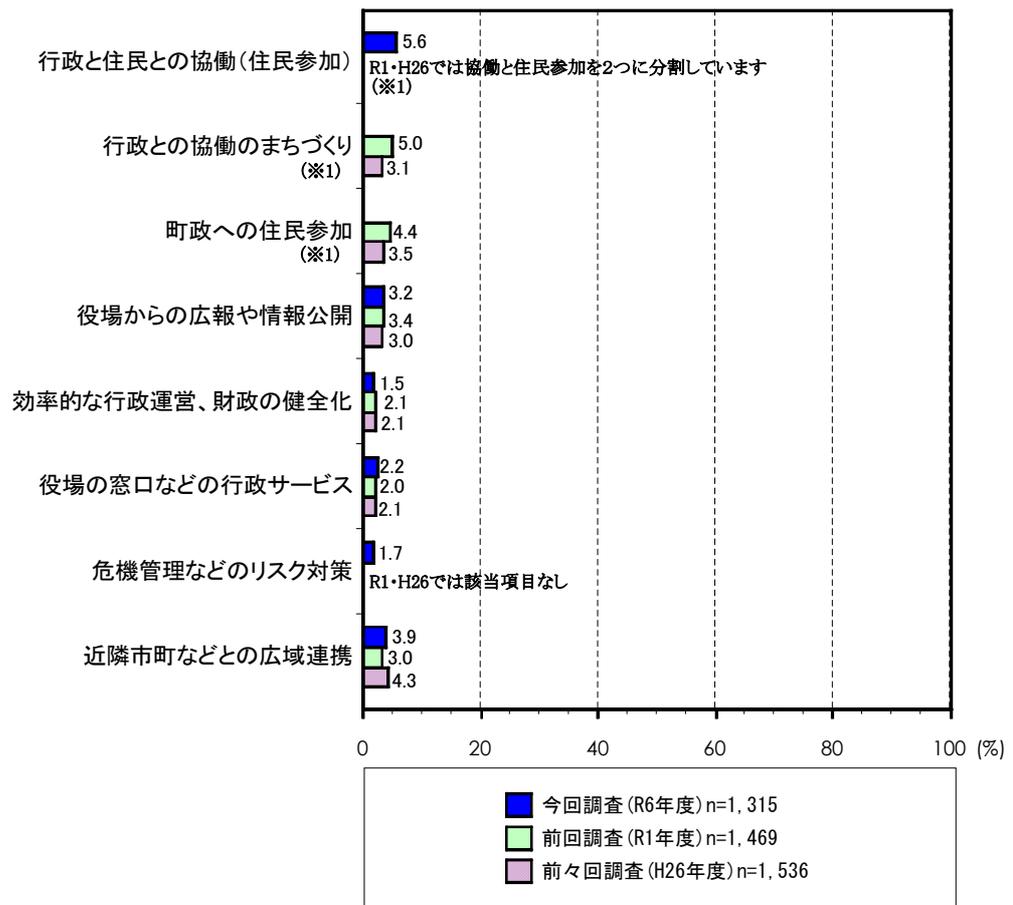


図 3-2-14-3 「協働・行政運営について」の非重要度（前回・前々回調査比較）

- 5段階評価の平均点では、56項目全てがプラスの評点となっています。
- 最も評点が高いのは「地震・津波対策」(1.66点)、次いで「風水害対策」(1.51点)、「河川の整備」(1.39点)、「救急体制」(1.35点)、「上水道の整備(安定した水の供給)」(1.34点)、「消防・防火体制」(1.30点)、「防犯対策」(1.30点)、「雨水排水の整備」(1.30点)、「交通安全対策」(1.28点)となっており、安全・安心に関わる項目の重要度が高くなっています。
- 一方、最も評点が低いのは「外国人との交流、多文化共生」(0.45点)で、次いで「男女共同参画の取組」(0.51点)、「創業や起業の支援」(0.52点)、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの取組」(0.53点)となっています。

表 3-2 今後のまちづくりの重要度(評点)

※「重要」を+2点、「やや重要」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点の5段階評価で得点を付け、56項目ごとに重要度の平均の評点を算出しました。

| 項目 | | 重要度 | | |
|-------------|----|----------------------|-------|------|
| | | n | 評点 | |
| 防消 災防 急救 | 1 | 風水害対策 | 1,268 | 1.51 |
| | 2 | 地震・津波対策 | 1,275 | 1.66 |
| | 3 | 消防・防火体制 | 1,266 | 1.30 |
| | 4 | 救急体制 | 1,261 | 1.35 |
| 犯防 交通 安全 | 5 | 交通安全対策 | 1,268 | 1.28 |
| | 6 | 防犯対策 | 1,267 | 1.30 |
| 海河 岸 | 7 | 河川の整備 | 1,272 | 1.39 |
| | 8 | 海岸の保全・維持管理 | 1,268 | 1.23 |
| 上下 水道 | 9 | 上水道の整備(安定した水の供給) | 1,269 | 1.34 |
| | 10 | 雨水排水の整備 | 1,266 | 1.30 |
| | 11 | 公共下水道の整備 | 1,269 | 1.26 |
| 環境 共生 | 12 | 太陽光発電などの再生可能エネルギーの取組 | 1,261 | 0.53 |
| | 13 | ごみの分別収集、減量化・リサイクル活動 | 1,271 | 1.07 |
| | 14 | 不法投棄の防止 | 1,268 | 1.09 |
| | 15 | 公害の防止対策 | 1,263 | 1.00 |
| 住市 環境 | 16 | 良好な市街地・住宅地の整備 | 1,266 | 0.94 |
| | 17 | 空き家対策 | 1,268 | 0.86 |
| | 18 | 公園緑地の整備・緑化推進 | 1,271 | 0.86 |
| 通交 路道 | 19 | 国道などの幹線道路の整備 | 1,274 | 1.05 |
| | 20 | 町道などの身近な生活道路の整備 | 1,277 | 1.17 |
| | 21 | 安全・安心な歩行環境の整備 | 1,271 | 1.25 |
| | 22 | 鉄道や駅の利便性 | 1,277 | 1.04 |
| | 23 | ふれあいバスなどの移動手段の利便性 | 1,281 | 0.81 |
| 産業 | 24 | 農業振興・農地の保全 | 1,269 | 0.58 |
| | 25 | 商工業の振興 | 1,261 | 0.59 |
| | 26 | 新たな企業の誘致 | 1,263 | 0.57 |
| | 27 | 創業や起業の支援 | 1,262 | 0.52 |
| | 28 | 就業の場、就業の機会 | 1,261 | 0.70 |
| 療医 健保 | 29 | 母子保健(妊娠・出産の支援) | 1,265 | 1.14 |
| | 30 | 健康づくり・検診などの疾病予防対策 | 1,271 | 1.21 |
| | 31 | 感染症予防対策 | 1,270 | 1.11 |
| | 32 | 地域医療(川越診療所など) | 1,273 | 1.11 |

| 項目 | | | 重要度 | | |
|------|---------------|---------------------|--------------------|-------|------|
| | | | n | 評点 | |
| 生涯学習 | 子育て支援 | 33 | 保育サービスなどの子育て支援 | 1,259 | 1.15 |
| | | 34 | 児童館などの子どもの居場所づくり | 1,264 | 1.13 |
| | | 35 | 一人親家庭への支援 | 1,262 | 0.97 |
| | | 36 | 子どもの虐待防止対策 | 1,263 | 1.17 |
| | 地域福祉 障害者福祉 | 37 | 地域福祉活動・ボランティア活動 | 1,269 | 0.81 |
| | | 38 | 介護予防、見守りなどの高齢者福祉 | 1,270 | 0.95 |
| | | 39 | 障害者の自立支援・就労環境の整備 | 1,265 | 0.93 |
| | 学校教育 | 40 | 小中学校の教育、施設の整備 | 1,272 | 1.15 |
| | | 41 | 幼児教育、施設の整備 | 1,270 | 1.10 |
| | | 42 | 生涯学習活動(文化・芸術・スポーツ) | 1,275 | 0.79 |
| 43 | | 文化施設(あいあいホール、図書室など) | 1,277 | 0.85 | |
| 44 | | スポーツ施設(総合体育館など) | 1,262 | 0.76 | |
| 学習 | | 45 | 図書室の蔵書数 | 1,265 | 0.69 |
| | | 46 | 青少年の健全な育成 | 1,258 | 0.84 |
| | 47 | 伝統文化の継承 | 1,262 | 0.55 | |
| 行政運営 | 多文化共生 | 48 | 人権相談などの取組 | 1,258 | 0.61 |
| | | 49 | 男女共同参画の取組 | 1,258 | 0.51 |
| | | 50 | 外国人との交流、多文化共生 | 1,257 | 0.45 |
| | 働協 | 51 | 行政と住民との協働(住民参加) | 1,259 | 0.62 |
| | | 52 | 役場からの広報や情報公開 | 1,264 | 0.88 |
| | | 53 | 効率的な行政運営、財政の健全化 | 1,254 | 0.95 |
| | 54 | 役場の窓口などの行政サービス | 1,263 | 1.02 | |
| | 55 | 危機管理などのリスク対策 | 1,255 | 0.97 | |
| | 56 | 近隣市町などとの広域連携 | 1,258 | 0.72 | |

(3) 満足度と重要度の関係

◆「地震・津波対策」をはじめ、「風水害対策」、「河川の整備」、「防犯対策」、「交通安全対策」、「海岸の保全・維持管理」、「ごみの分別、減量化・リサイクル活動」、「不法投棄の防止」、「公害の防止対策」、「生活道路の整備」、「歩行環境の整備」、「鉄道や駅の利便性」、「子どもの虐待防止」の13項目が重点改善項目となっています。

- 【重点改善項目】としては、「地震・津波対策」、「風水害対策」、「河川の整備」、「防犯対策」、「交通安全対策」、「安全・安心な歩行環境の整備」、「海岸の保全・維持管理」、「町道などの身近な生活道路の整備」、「子どもの虐待防止対策」、「不法投棄の防止」、「ごみの分別収集、減量化・リサイクル活動」、「鉄道や駅の利便性」、「公害の防止対策」などがあげられ、主に安全・安心なまちづくりや環境対策などについて重点的に改善していくことが求められています。
- 【重点維持項目】としては、「救急体制」、「水道の整備（安定した水の供給）」、「雨水排水の整備」、「消防・防火体制」、「公共下水道の整備」、「健康づくり・検診などの疾病予防対策」、「保育サービスなどの子育て支援」、「小中学校の教育、施設の整備」、「母子保健（妊娠・出産の支援）」、「児童館などの子どもの居場所づくり」、「感染症予防対策」、「地域医療（川越診療所など）」、「幼児教育、施設の整備」、「国道などの幹線道路の整備」、「役場の窓口などの行政サービス」があげられ、生活環境、救急や消防、保健や医療、子育て・教育などについて引き続き維持・充実していくことが求められます。
- 【推移注目項目】としては、「一人親家庭への支援」、「危機管理などのリスク対策」、「介護予防、見守りなどの高齢者福祉」、「効率的な行政運営、財政の健全化」、「障害者の自立支援・就業環境の整備」、「公園緑地の整備・緑化推進」、「空き家対策」、「青少年の健全な育成」、「ふれあいバスなどの移動手段の利便性」、「近隣市町などとの広域連携」、「就業の場、就業の機会」、「図書室の蔵書数」、「行政と住民との協働（住民参加）」、「人権相談などの取組」、「商工業の振興」、「農業振興・農地の保全」、「新たな企業の誘致」、「伝統文化の継承」、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの取組」、「創業や起業の支援」、「男女共同参画の取組」、「外国人との交流、多文化共生」があげられ、これらは重点課題ではありませんが、満足度が高まるように今後も推移を見守る項目として考えられます。
- 【維持項目】としては、「良好な市街地・住宅地の整備」、「役場からの広報や情報公開」、「文化施設（あいあいホール、図書室など）」、「地域福祉活動・ボランティア活動」、「生涯学習活動（文化・芸術・スポーツ）」、「スポーツ施設（総合体育館など）」があげられ、これらは満足度が高く、今後の重要度は低いため、当面は現状の水準を維持する項目として考えられます。

※満足度と重要度の関係を把握するため、56項目全体の評点の平均値（満足度：0.27点、重要度：0.98点）をもとに、全56項目を【重点改善項目】、【重点維持項目】、【推移注目項目】、【維持項目】の4区分で分類しました。

Aランク：【重点改善項目】（満足度が低く、重要度が高い）

～最優先で改善が求められるもの～

Bランク：【重点維持項目】（満足度が高く、重要度も高い）

～おおむね満足が得られているが、引き続き維持・充実していることが求められるもの～

Cランク：【推移注目項目】（満足度が低く、重要度も低い）

～重要課題ではないが、今後の推移を注目していくことが求められるもの～

Dランク：【維持項目】（満足度が高く、重要度が低い）

～このままの状態を保つことが求められるもの～

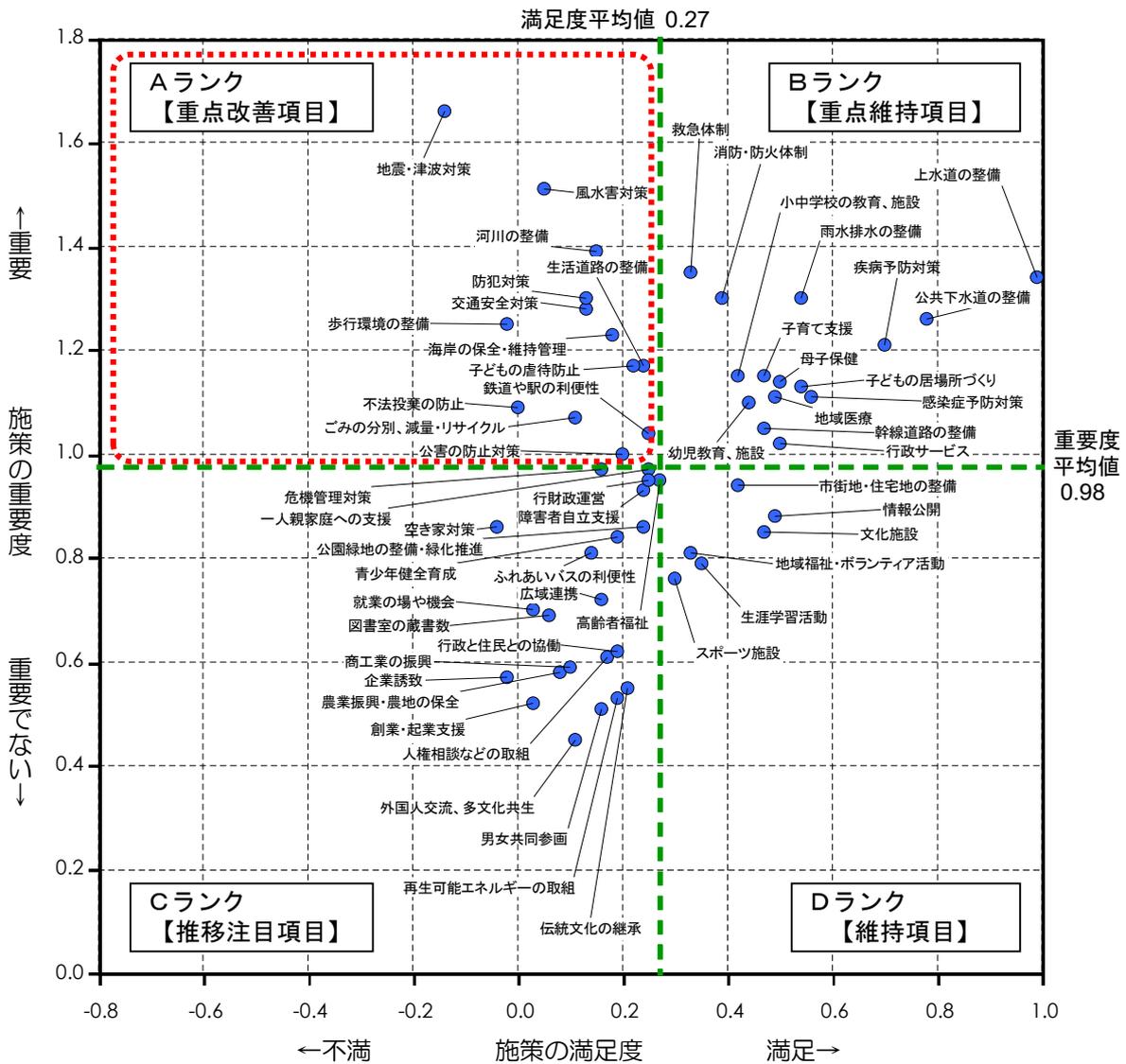


図 3-3-1 満足度と重要度の関係散布図

第4章

川越町の将来のまちづくり

(1) まちの将来イメージ

【3つまでの複数回答】

問9 川越町が今後、どのようなイメージのまちをめざすべきだと思いますか。

◆人にやさしいまちや災害に強いまち、安全・安心なまちを、将来のまちのイメージとして望んでいます。

○川越町が今後めざすべきまちのイメージとしては、「子ども、高齢者、障害者など誰もが暮らしやすい、人にやさしいまち」が71.9%で最も割合が高くなっています。次いで、「水害や地震など災害に強いまち」(69.0%)、「犯罪のない安全・安心なまち」(51.2%)、「健康でいきいきと暮らせるまち」(26.0%)、「自然を大切にし、自然の魅力を感じられる、環境にやさしいまち」(20.1%)と続いており、人にやさしいまちや災害に強いまち、安全・安心なまちを半数以上の人が望んでいます。

○前回調査、前々回調査では2つまでの回答としていたため、今回調査ではそれぞれの割合が高くなっていますが、概ね同じような傾向で、人にやさしいまち、災害に強いまち、安全・安心なまちを望んでいます。

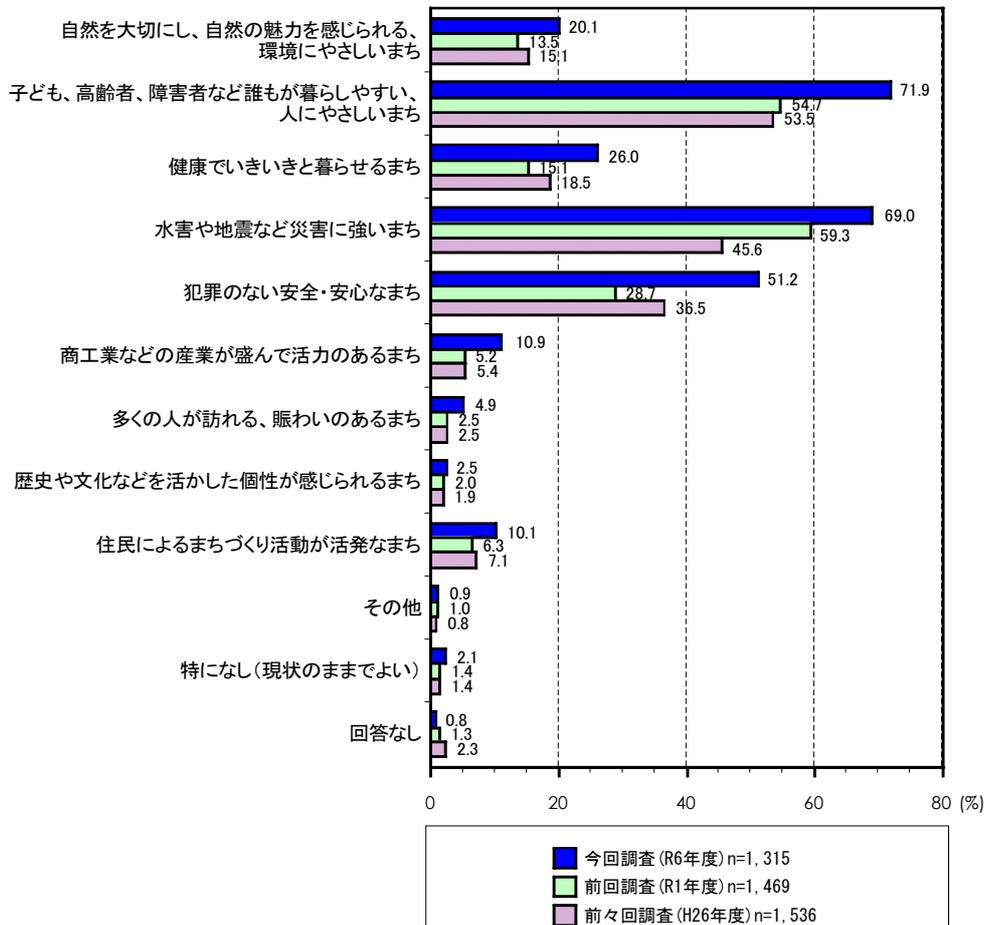


図 4-1 まちの将来イメージ (前回・前々回調査比較)

問 10 「ず～～っと暮らしたい町」となるためには、行政等がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆医療や福祉の充実、防災対策、公共交通・道路の充実、子育て施設や子育て支援サービスの充実に望んでいます。

○定住促進に向けて行政等が力を入れるべきこととしては、「医療や福祉面を充実すること」が52.9%で最も割合が高くなっています。次いで「防災対策を充実すること」(47.5%)、「鉄道、バス、道路などの交通の利便性を良くすること」(35.1%)、「子育て施設や子育て支援サービスを充実すること」(29.3%)、「防犯対策を充実すること」(19.9%)、「商業施設を増やし、買い物や飲食をしやすいようにすること」(17.7%)、「公害やごみがないきれいなまちにすること」(16.2%)、「学校教育など教育環境を充実すること」(15.8%)と続いており、医療や福祉の充実、防災対策、公共交通・道路の充実、子育て施設や子育て支援サービスの充実などを多くの人が望んでいます。

○前回調査と比較して「子育て施設や子育て支援サービスを充実すること」が7.9ポイント、「防災対策を充実すること」が3.5ポイント上昇しています。

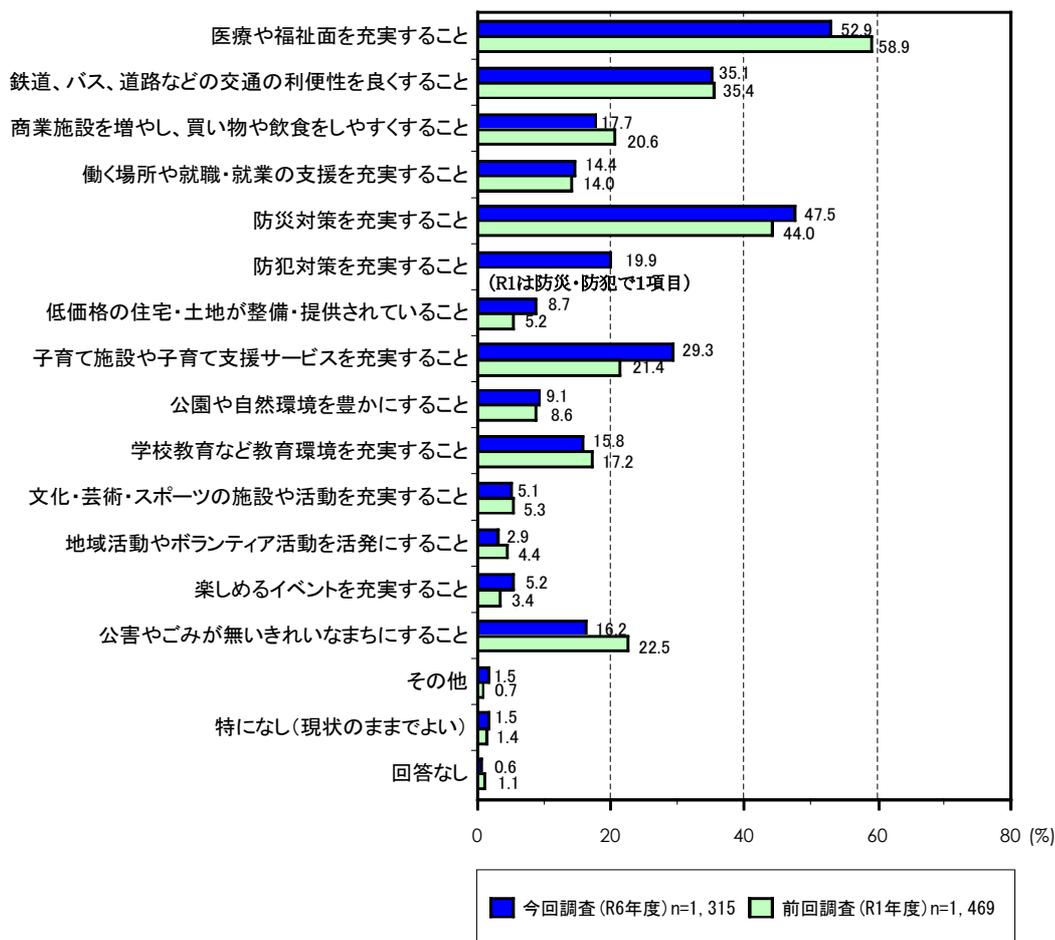


図 4-2 定住促進策 (前回調査比較)

問 11 川越町内で働く就業者を増やすために、行政がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆就業対策に向けて、企業誘致等による雇用の増加や就労条件の改善の働きかけ、事業所の事業継承、就職相談窓口、起業支援、スキルアップ支援などが望まれています。

○就業対策としては、「企業・工場・店舗などを誘致し、新たな雇用の場を増やす」が 49.1%で最も割合が高くなっています。次いで「町内の事業所等に賃金等の労働条件がもっと良くなるように働きかける」(32.0%)、「雇用の安定を図るため、町内の事業所等の事業継承、安定化や高度化を支援する」(29.4%)、「就職に関して気軽に相談できる窓口を充実する」(26.5%)、「町内で新たに起業する人を支援する」(23.3%)、「技術や能力を向上するためのスキルアップを支援する」(22.4%)などと続いており、企業誘致や就労環境の改善の働きかけ、事業所の事業継承、就職相談窓口、起業支援、スキルアップ支援などが望まれています。

○前回調査と比較して「企業・工場・店舗などを誘致し、新たな雇用の場を増やす」が 13 ポイント上昇しており、新たな雇用の場を増やすことへの要望が強くなっています。

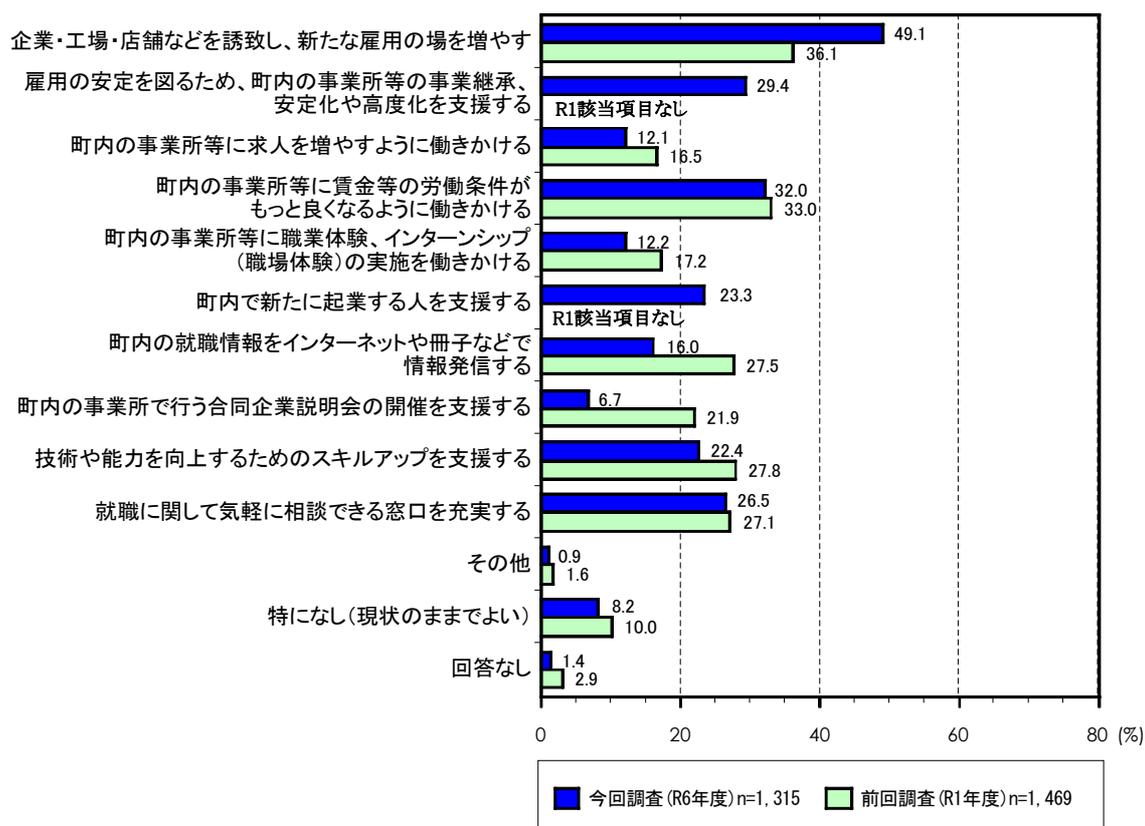


図 4-3 就業対策 (前回調査比較)

問 12 南海トラフ地震や集中豪雨などの大地震や水害に備えて、川越町ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆大地震や水害に備えて、備蓄品の確保をはじめ、津波対策施設や避難路・避難場所の整備、救助・復旧・復興体制の整備などに力を入れることが望まれています。

- 大地震や水害などに備えて力を入れるべきものとしては、「食料、飲料水、医薬品など備蓄品の確保」が56.9%で最も割合が高くなっています。次いで「防潮堤、防波堤、津波避難タワーの整備などの津波対策」(54.1%)、「避難路や避難場所の整備」(33.7%)、「迅速な救助・復旧・復興活動を行う体制の整備・充実」(27.8%)、「災害時における迅速な情報提供」(22.8%)、「道路、橋、鉄道など交通施設の防災対策の強化」(22.4%)と続いており、備蓄品の確保をはじめ、津波対策施設や避難路・避難場所の整備、救助・復旧・復興体制の整備などに力を入れることが望まれています。
- 前回調査、前々回調査では2つまでの回答としていたため、今回調査の割合が高くなっていますが、「食料、飲料水、医薬品など備蓄品の確保」については他の項目に比べて割合が高く、多くの人に望まれる結果となっています。

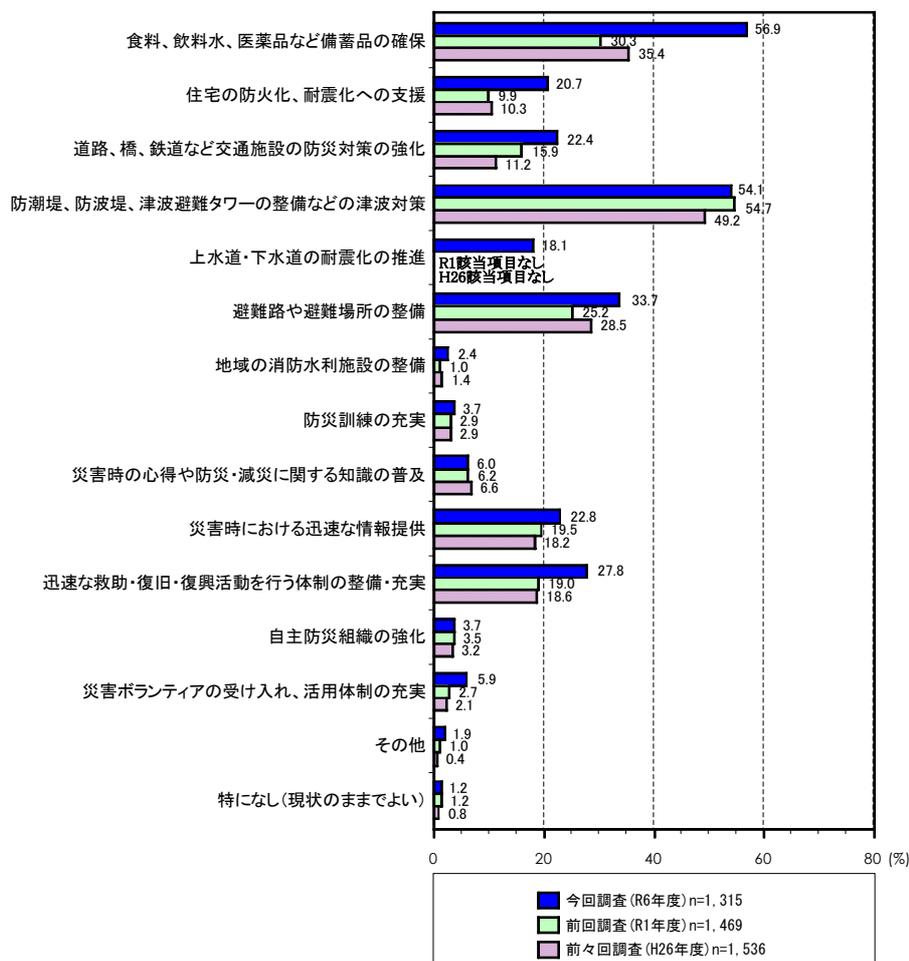


図 4-4 災害対策 (前回・前々回調査比較)

問 13 川越町の環境対策として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆環境対策として、公害防止対策をはじめ、廃棄物対策、エネルギー対策、公園緑地の整備・緑化などに力を入れることが望まれています。

○力を入れるべき環境対策としては、「騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁などの公害防止対策の推進」が49.8%で最も割合が高くなっています。次いで「ごみの減量化やリサイクルなど廃棄物対策の推進」(47.2%)、「太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進」(35.4%)、「公園緑地の整備や緑化による緑の創出」(28.7%)などと続いており、公害防止対策をはじめ、廃棄物対策、エネルギー対策、公園緑地・緑化などに力を入れることが望まれています。

○前回調査、前々回調査では2つまでの回答としていたため、今回調査の割合が高くなっていますが、概ね同じような傾向となっています。その中でもエネルギー対策、公害防止対策、廃棄物対策、公園緑地の整備・緑化、水辺を活かした自然環境の保全・形成などは前回と比べ多くの人に望まれる結果となっています。

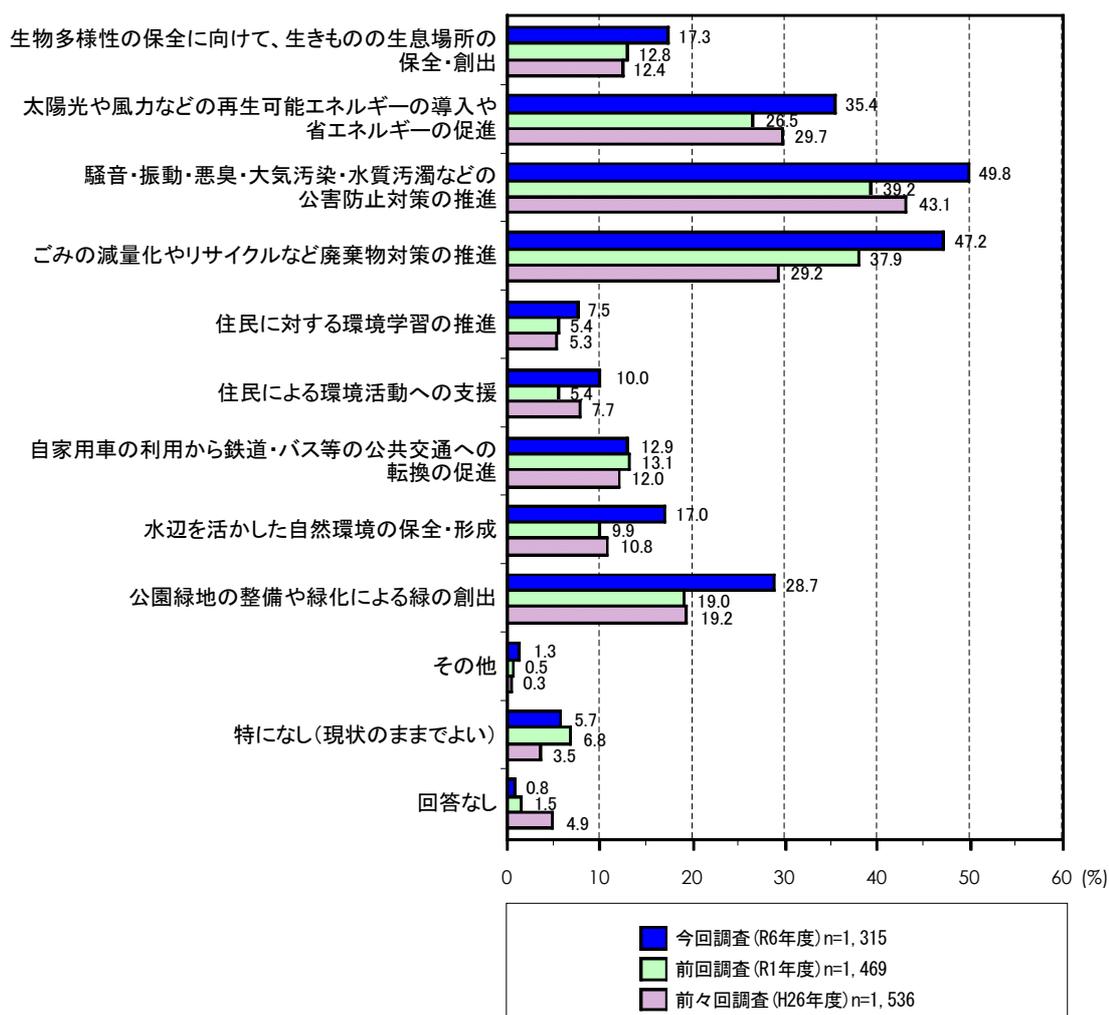


図 4-5 環境対策（前回・前々回調査比較）

問 14 子ども・子育て施策に対して、行政等がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

- ◆子ども・子育て施策として、医療体制、妊娠・出産、子育て等に係る経済的な支援、子育てと仕事を両立できる事業所への支援、保育所・幼稚園・認定こども園の整備などに力を入れることが望まれています。

- 力を入れるべき子ども・子育て施策としては、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制（病児保育など）の充実」が46.8%で最も割合が高くなっています。次いで「妊娠、出産、子育てに関する公的な経済的支援」（35.7%）、「子育てと仕事が両立できる事業所への支援」（34.7%）、「多様なニーズに応えられる保育所、幼稚園、認定こども園などの整備」（30.7%）と続いており、医療体制、子育て等に係る経済的な支援の充実、子育てと仕事を両立できる事業所への支援、保育所・幼稚園・認定こども園の整備などに力を入れることが望まれています。
- 前回調査と比較して「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制（病児保育など）の充実」が10.4ポイント上昇、「妊娠、出産、子育てに関する公的な経済的支援」が5.2ポイント上昇しています。

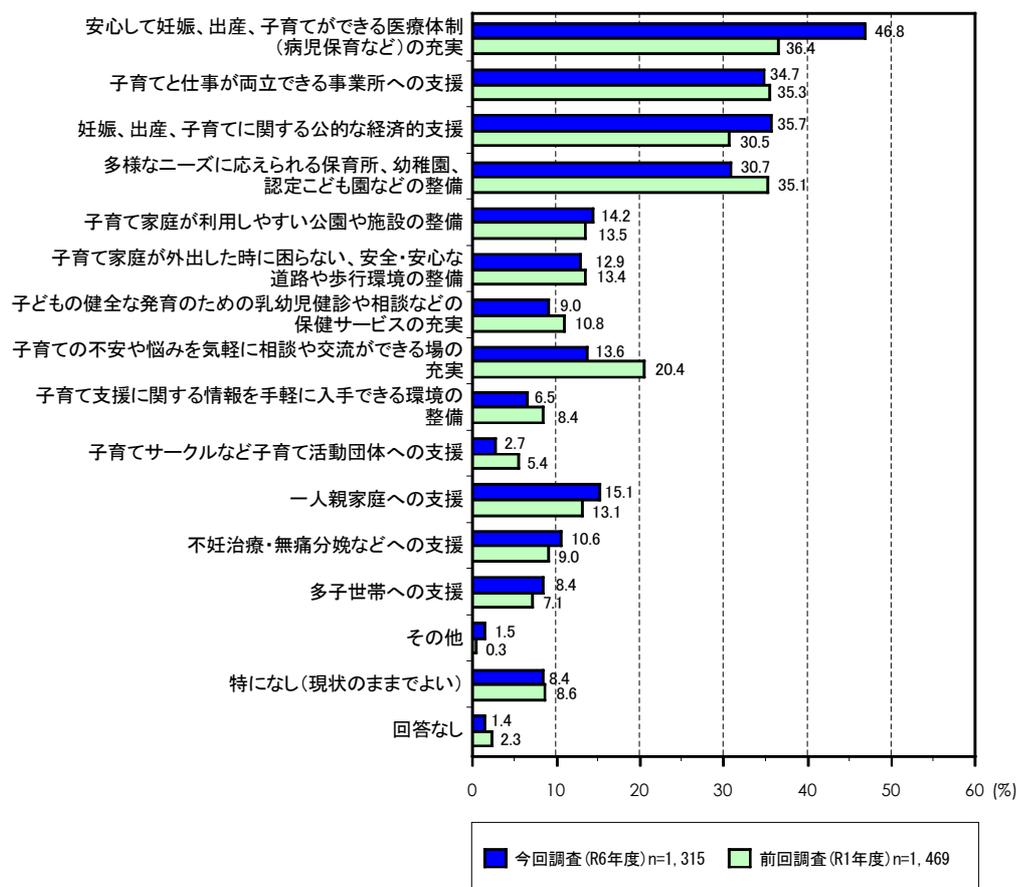


図 4-6 子ども・子育て施策（前回調査比較）

問 15 川越町の学校教育として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

- ◆社会で生きていく力をつけること、助け合い・ボランティア精神などの心を育てること、基礎学力を高めること、思考力・判断力などを高めること、親の経済的な負担を軽減すること、生活習慣を身につけることなどが望まれています。

- 力を入れるべき学校教育としては、「社会で生きていく力をつけること（コミュニケーション力、課題発見・解決能力、自立心など）」が48.2%で最も割合が高くなっています。次いで「心を育てること（生命や人権の尊重、助け合い、ボランティア精神など）」(37.1%)、「基礎学力を高めること」(33.2%)、「思考力や判断力、表現力を高めること」(30.7%)、「学校給食費の無償化など、親の経済的な負担を減らすこと」(24.3%)、「基礎的な生活習慣を身につけること（あいさつ、ルール、整理整頓など）」(23.3%)と続いており、社会で生きていく力をつけること、助け合い・ボランティア精神などの心を育てること、基礎学力を高めること、思考力・判断力などを高めること、親の経済的な負担を軽減すること、生活習慣を身につけることなどが望まれています。
- 前回調査、前々回調査では2つまでの回答としていたため、今回調査ではそれぞれの割合が高くなっていますが、「社会で生きていく力をつけること」は18.5ポイント、「基礎学力を高めること」は9.4ポイント上昇しています。

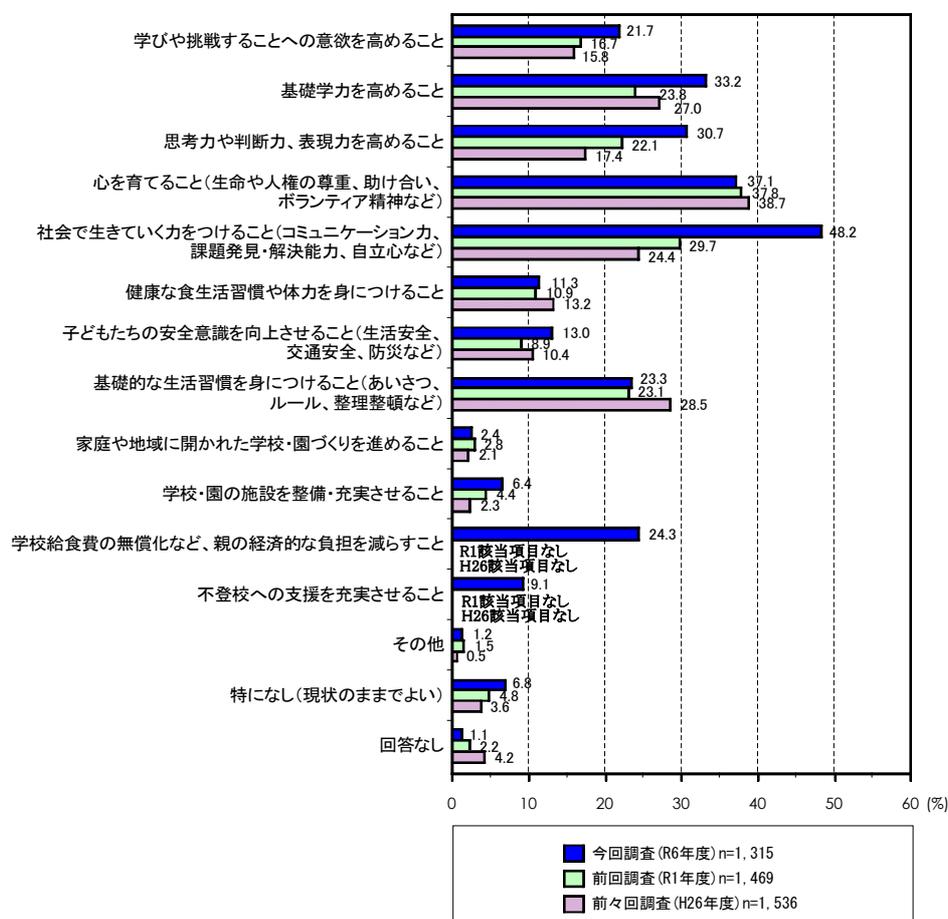


図 4-7 学校教育（前回・前々回調査比較）

問 16 川越町の文化・芸術・スポーツ等の活動の振興等に向けて、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆スポーツを楽しむ場所や機会、生涯学習活動や、多様な文化・芸術にふれられる場や機会、本とふれあう場所、図書館の蔵書数を増やすことなどが望まれています。

○文化・芸術・スポーツ振興に向けて必要なこととしては、「スポーツを楽しめる場所や機会があること」が41.2%で最も割合が高くなっています。次いで「趣味を生かした多様な生涯学習活動を楽しめる場所や機会があること」(37.3%)、「気軽にゆつくりと本にふれあう場所があること」(34.8%)、「多様な文化・芸術にふれられる場所があること」(26.6%)、「読みたい本が読めるように図書館の蔵書数を増やすこと」(25.2%)と続いており、スポーツを楽しむ場所や機会、生涯学習活動、多様な文化・芸術にふれられる場や機会、本とふれあう場所、図書館の蔵書数を増やすことなどが望まれています。

○前回調査、前々回調査では2つまでの回答としていたため、今回調査ではそれぞれの割合が高くなっていますが、概ね同じような傾向となっています。

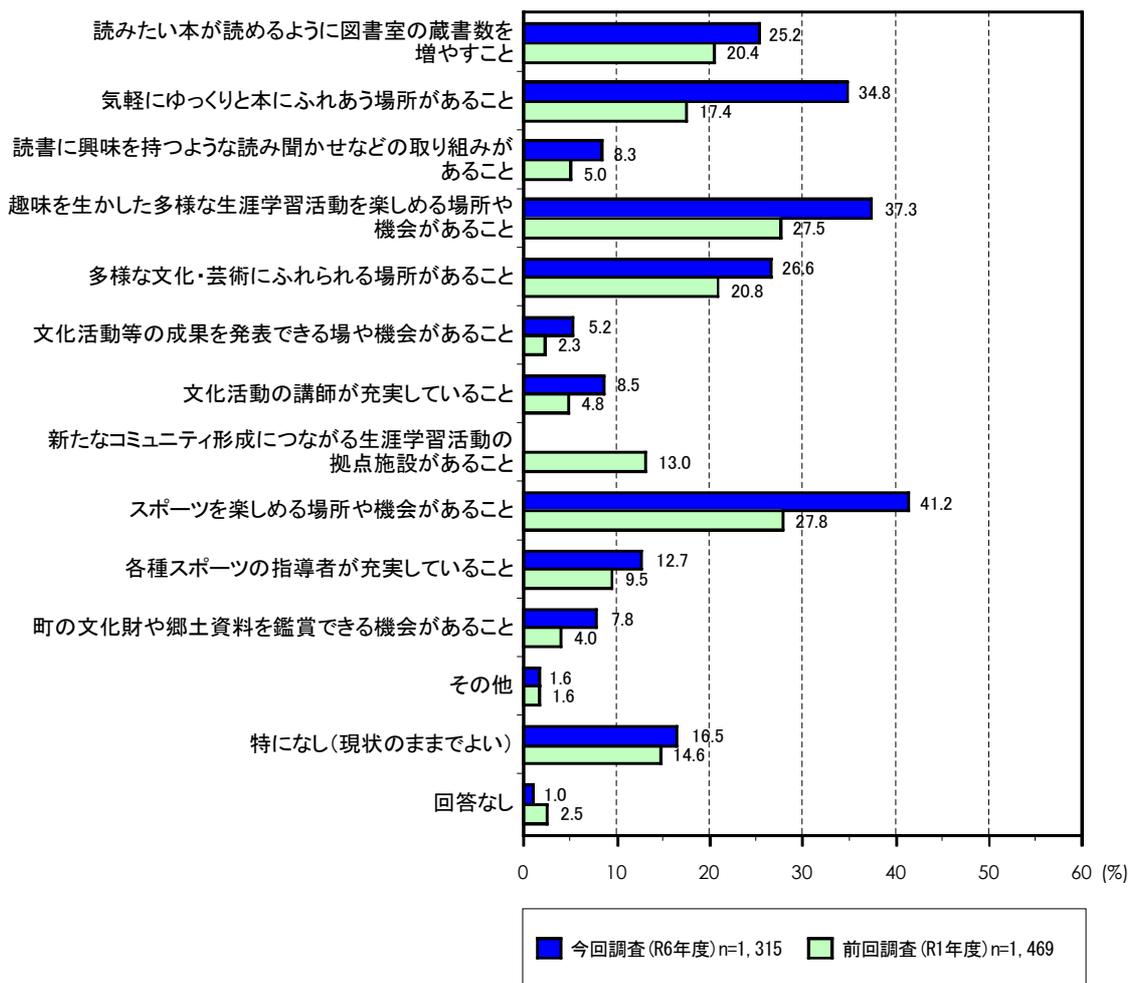


図 4-8 生涯学習 (前回調査比較)

問 17 川越町の高齢者・障害者に対する施策について、今後、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆医療や福祉サービスへの経済的な負担の軽減、介護・福祉サービスの充実、働く場や機会を拡大すること、自宅で住み続けるための住宅改修等への支援などが望まれています。

- 高齢者・障害者施策としては、「医療や福祉サービスなどに対する経済的な負担を軽減すること」が48.1%で最も割合が高くなっています。次いで「入所施設やデイサービスなどの介護・福祉サービスを充実すること」(45.1%)、「高齢者・障害者が働くことができる場所や機会を拡大すること」(35.6%)、「高齢者・障害者が自宅で住み続けられるような住宅改修等を支援すること」(28.1%)と続いており、医療や福祉サービスへの経済的な負担の軽減、介護・福祉サービスの充実、働く場や機会を拡大すること、自宅で住み続けるための住宅改修等への支援などが望まれています。
- 前回調査、前々回調査では2つまでの回答としていたため、今回調査ではそれぞれの割合が高くなっていますが、概ね同じような傾向となっています。

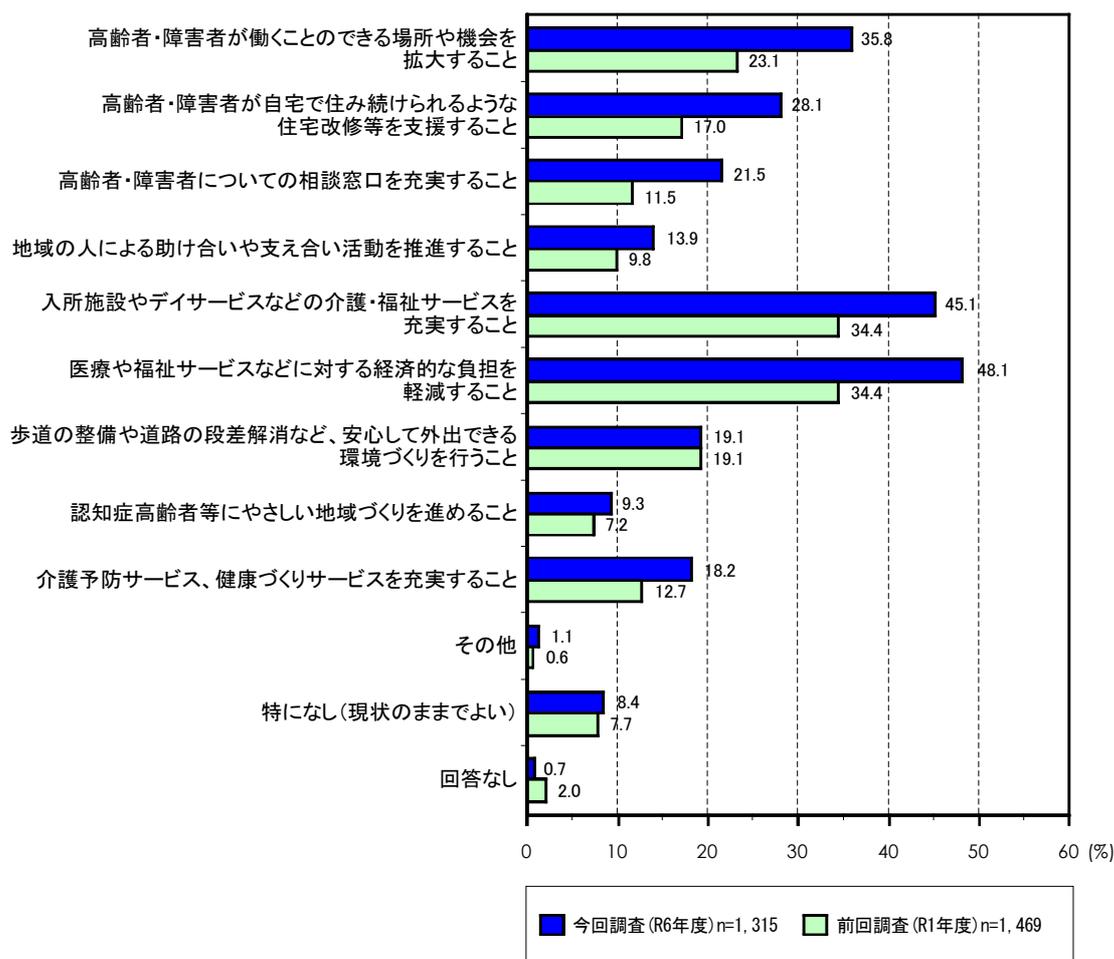


図 4-9 高齢者・障害者施策（前回調査比較）

(1) 行政情報の入手手段

【あてはまるものすべての複数回答】

問 18 町の行政情報を、どのような手段で入手していますか。

◆町の広報紙や自治会からの回覧板、町のホームページ、行政情報番組、町のメール配信サービスや公式 LINE などが主な入手手段となっています。

- 行政情報の入手手段としては、「町の広報紙」が 71.2%で最も割合が高くなっています。次いで「自治会からの回覧板」(47.8%)、「町のホームページ」(32.2%)、「川越町の行政情報番組「情報満載！かわごえ」」(25.6%)、「川越町メール配信サービス」(20.8%)、「町の公式 LINE」(19.3%)と続いており、町の広報紙や自治会からの回覧板、町のホームページ、行政情報番組、町のメール配信サービスや公式 LINE などが主な入手手段となっています。
- なお、いずれも利用していないが 7.6%となっており、9割以上がいずれかの手段で情報を入力しています。
- その他の意見では、「役場へ直接電話で問い合わせる」、「マンションの掲示板などを見る」などが言われています。

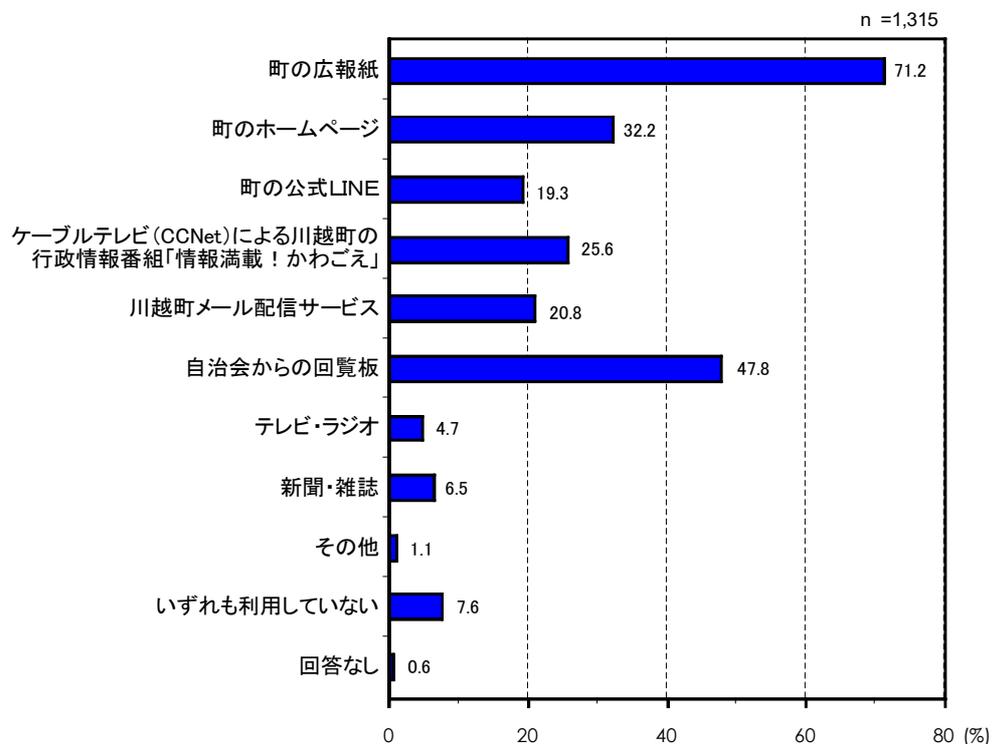


図 5-1 行政情報の入手手段

問 19 現在、川越町では公式 LINE アカウントを使って情報発信をしていますが、あなたが入手したい、または関心のある町の行政情報はどのような情報ですか。

◆防災や防犯に関する情報、健康・医療・福祉などに関する情報、イベントなどの情報、環境に関する情報、インフラ・ライフライン情報への関心が高くなっています。

○関心のある行政情報としては、「防災・防犯に関する情報」が 66.6%で最も割合が高くなっています。次いで「健康、医療、福祉に関する情報」(47.6%)、「イベントなどに関する情報」(37.0%)、「公害、ごみなどの環境に関する情報」(28.0%)、「道路、上下水道、電気などのインフラやライフラインに関する情報」(26.1%)などと続いています。

○その他の意見としては、「スマホを使っていない」、「LINE を使っていない」のほか、「新しい制度の情報」、「町のお得な情報」、「経済支援に関する情報」、「コミュニティバスの発着時間や遅延情報」、「粗大ごみの回収情報」などが言われています。

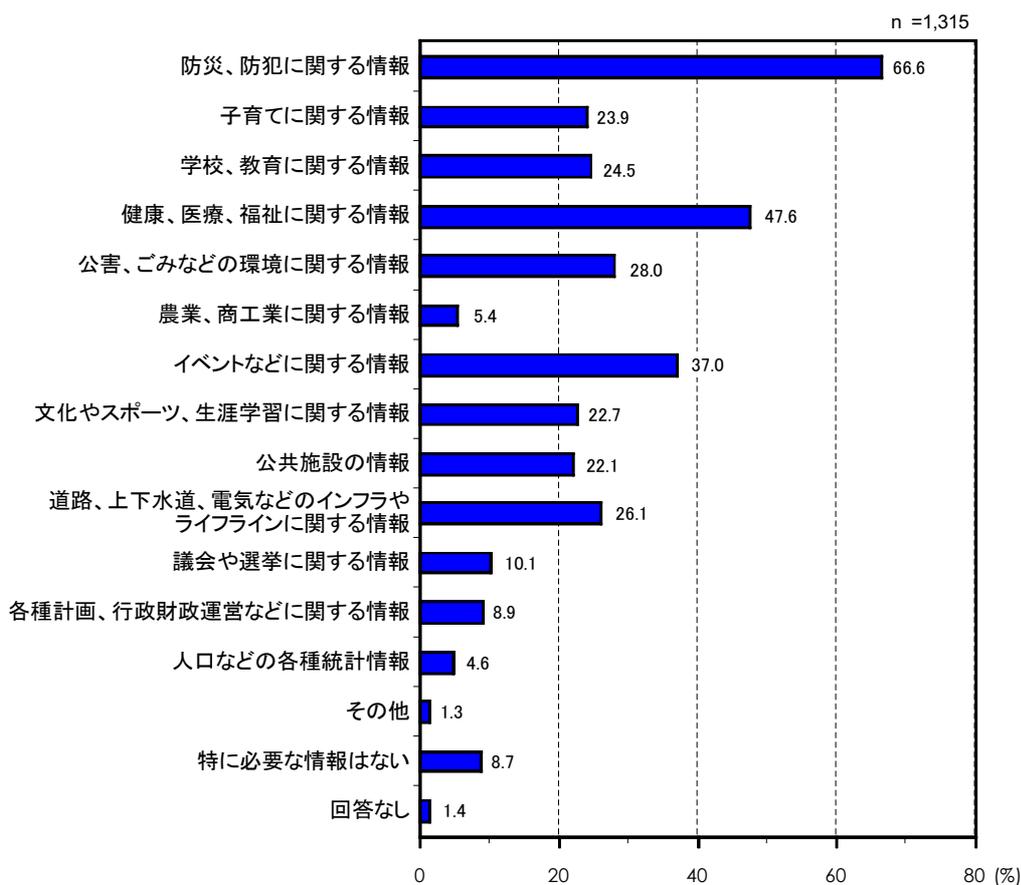


図 5-2 関心のある行政情報

問 20 自治体のIT・デジタル化が全国的に進められていますが、町としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

◆役場への電子申請や届出、税金や施設利用料金などのキャッシュレス支払いへの対応、ホームページの利便性向上のほか、公共施設へのフリーWi-Fiの設置やメールやLINEを利用した情報発信、災害・防犯情報のリアルタイムな発信が求められています。

- IT・デジタル化で取り組むべきこととしては、「スマートフォンやパソコンで役場への申請や届出ができるようにする」が50.9%で最も割合が高くなっています。次いで「税金や証明書、施設利用の料金などがキャッシュレスで支払いができるようにする」(30.3%)、「知りたいことが役場のホームページで簡単に見つけることができるようにする」(23.5%)、「町内の公共施設などでWi-Fiが利用できるようにする」(18.2%)、「役場からの必要な情報がメールやLINEなどで配信されるようにする」(17.1%)、「屋外のカメラを使って災害情報や防犯情報がリアルタイムで発信されるようにする」(16.9%)などと続いており、電子申請、キャッシュレス化、ホームページの利便性向上、フリーWi-Fiの設置、メールやLINEによる情報発信、災害・防犯情報のリアルタイム発信などが求められています。
- その他の意見としては、「スマートフォンやパソコンが使えない」、「IT・デジタルを説明してくれる窓口を作る」、「スマートフォンやパソコン講座の実施」、「災害時にリアルタイムの避難所情報の配信」などが言われています。

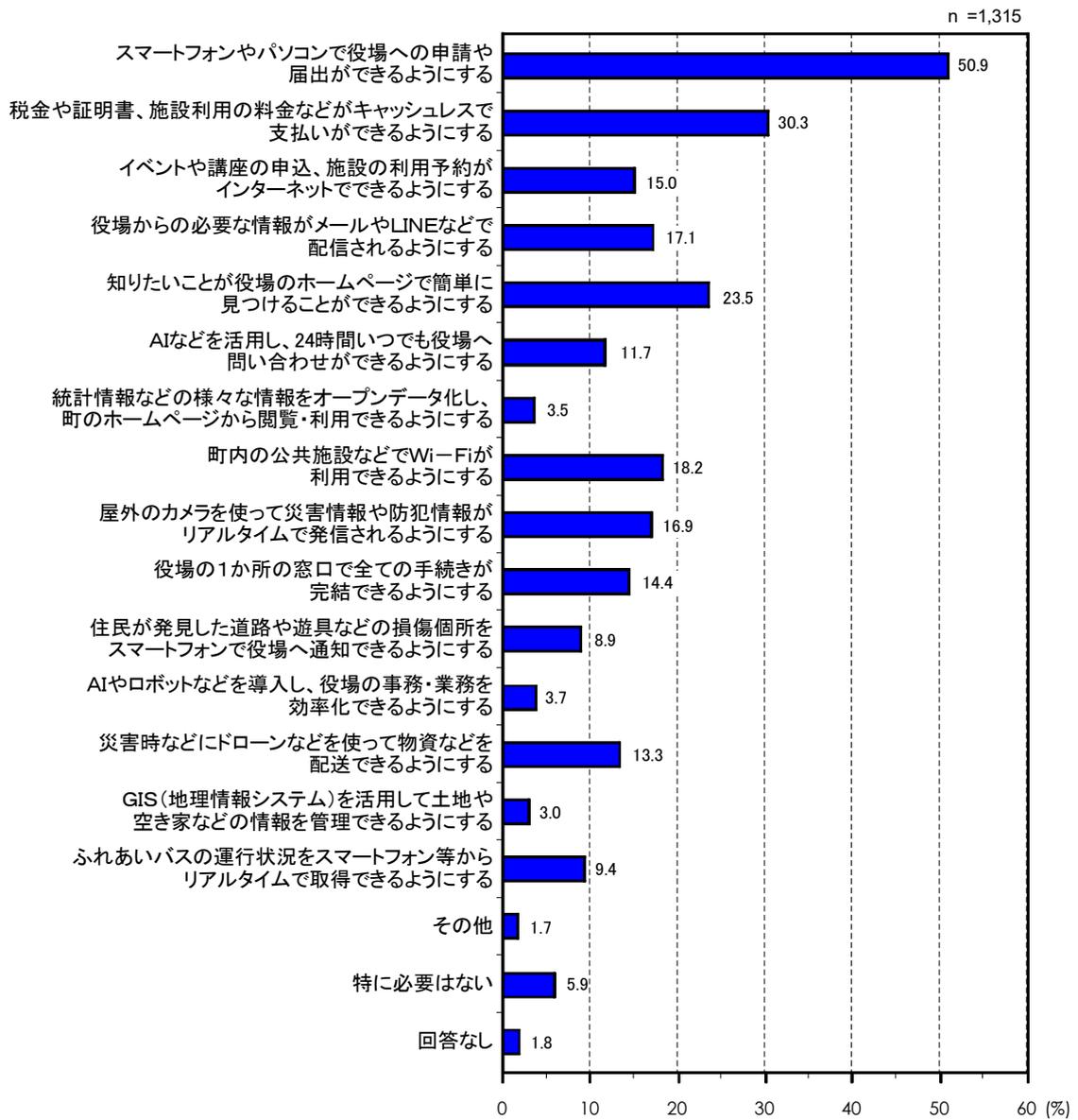


図 5-3 IT・デジタル化で町が取り組むべきこと

(1) 地域を良くしていくための活動への参加状況

【あてはまるものすべての複数回答】

問 21 あなたは、地域を良くしていくために、現在、どのような活動に参加していますか。

◆地域を良くするための活動に「参加していない」が6割を占めており、何らかの活動に参加している人の割合は37.4%となっています。各活動の参加状況については、地区の自治会活動が2割程度、他の活動はそれぞれ1割未満となっています。

- 地域を良くしていくために「現在、活動には参加していない」が60.8%（799名）を占めています。回答なし（1.8%）を除き、何らかの活動に参加している人の割合は37.4%となります。
- 参加している活動としては、「自治会や老人クラブ、子ども会などの活動」が20.2%で最も割合が高く、次いで「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」（7.5%）、「地域福祉（地域での助け合い・支え合い活動）に関わる活動」（7.2%）、「防災に関わる活動」（7.1%）、「教育・文化に関わる活動」（6.6%）などとなっており、自治会活動をはじめ、環境、福祉、防災、防災、教育・文化などの活動に参加しています。
- 前回調査と比較して、「参加していない」が3.5ポイント上昇し、地域活動に参加していない割合が高くなっています。特に「自治会や老人クラブ、子ども会などの活動」は7.7ポイント低下しています。

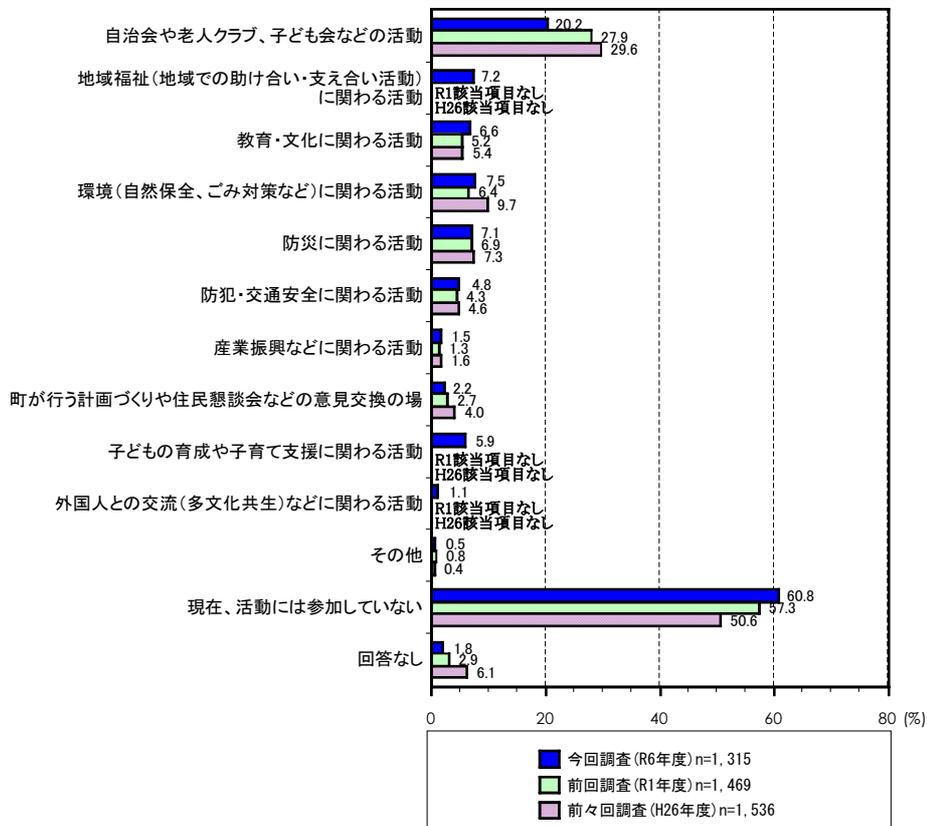


図 6-1 地域を良くしていくための活動への参加状況（前回・前々回調査比較）

(2) 地域を良くしていく活動への今後の参加意向

【あてはまるものすべての複数回答】

問 22 あなたは、地域を良くしていくために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。

◆防災活動をはじめ、子育て支援、助け合い・支え合い、自治会活動、教育・文化や環境活動への意向が高くなっています。また、「参加するつもりはない」は3割程度となっています。

○地域を良くしていく活動への今後の参加意向については、「活動に参加するつもりはない」が31.3% (411名) を占めていますが、前問で現在、「活動に参加していない」が60.8% (799名) であったことから、29.5% (388名) が新たに活動への参加意向を示しています。

○参加意向のある活動としては、「防災に関わる活動」が22.1%で最も割合が高く、次いで「子どもの育成や子育て支援に関わる活動」(18.5%)、「地域福祉(地域での助け合い・支え合い活動)に関わる活動」(17.1%)、「自治会や老人クラブ、子ども会などの活動」(16.6%)、「教育・文化に関わる活動」(15.4%)、「環境(自然保全、ごみ対策など)に関わる活動」(15.4%)などとなっています。

○前回調査と比較して、「活動に参加するつもりはない」が7.8ポイント上昇しています。また、全体的に各活動への参加意向も低くなっています。

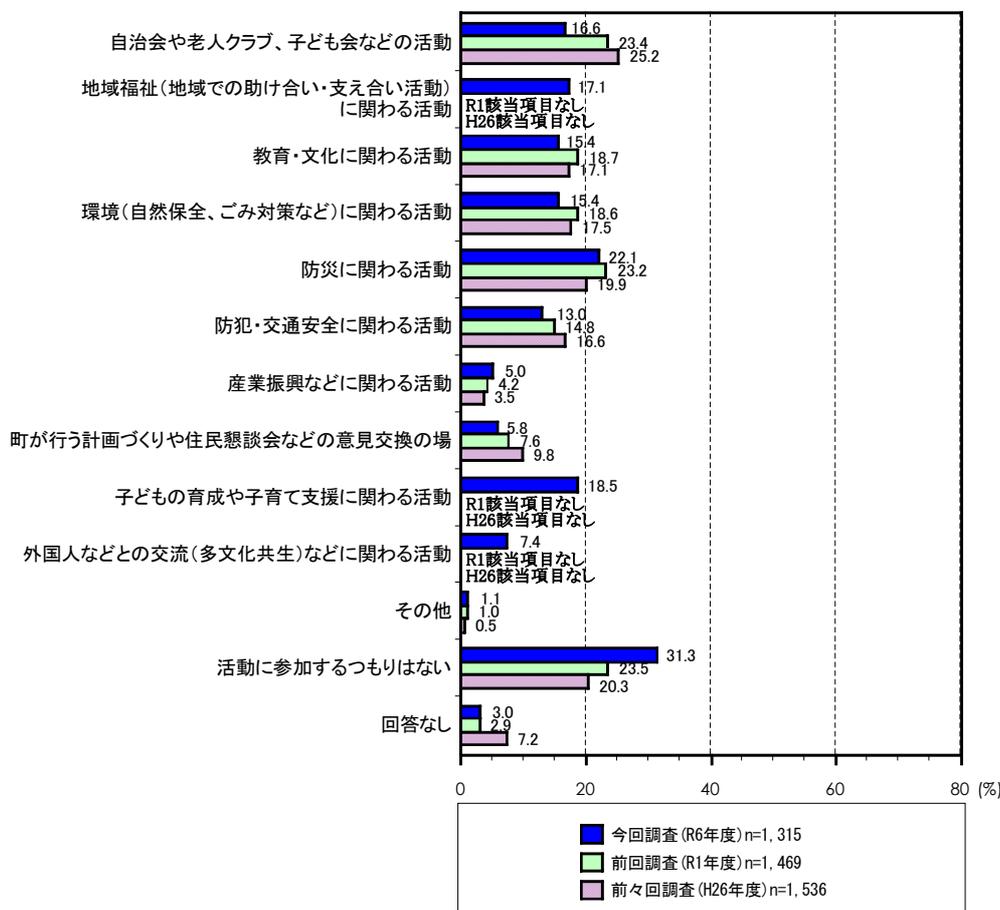


図 6-2 地域を良くしていく活動への今後の参加意向 (前回・前々回調査比較)

(3) 住民参加や住民主体のまちづくりを推進するために町として行うべきこと【2つまでの複数回答】

問 23 住民参加や住民主体のまちづくりを推進する上で、町としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

◆まちづくりの情報を提供すること、まちづくりへの参加の場や機会の提供、活動費助成、リーダー等の人材育成が望まれています。

○住民参加や住民主体のまちづくりを推進する上で、町として行うべきことは、「まちづくりに関するさまざまな情報を提供する」が36.4%で最も割合が高くなっています。次いで「まちづくりについて考えたり、参加したりできる場や機会を提供する」(31.8%)、「まちづくり活動を行うための活動費などを支援する」(20.2%)、「まちづくりリーダー研修の開催など、まちづくり活動を行う人材を育成する」(16.0%)となっており、住民参加等を推進するためには、まちづくりの情報を提供すること、まちづくりへの参加の場や機会の提供、活動費助成、リーダー等の人材育成などを行うことが望まれています。

○前回調査と比較して、「まちづくり活動を行うための活動費などを支援する」が2.8ポイント上昇しています。

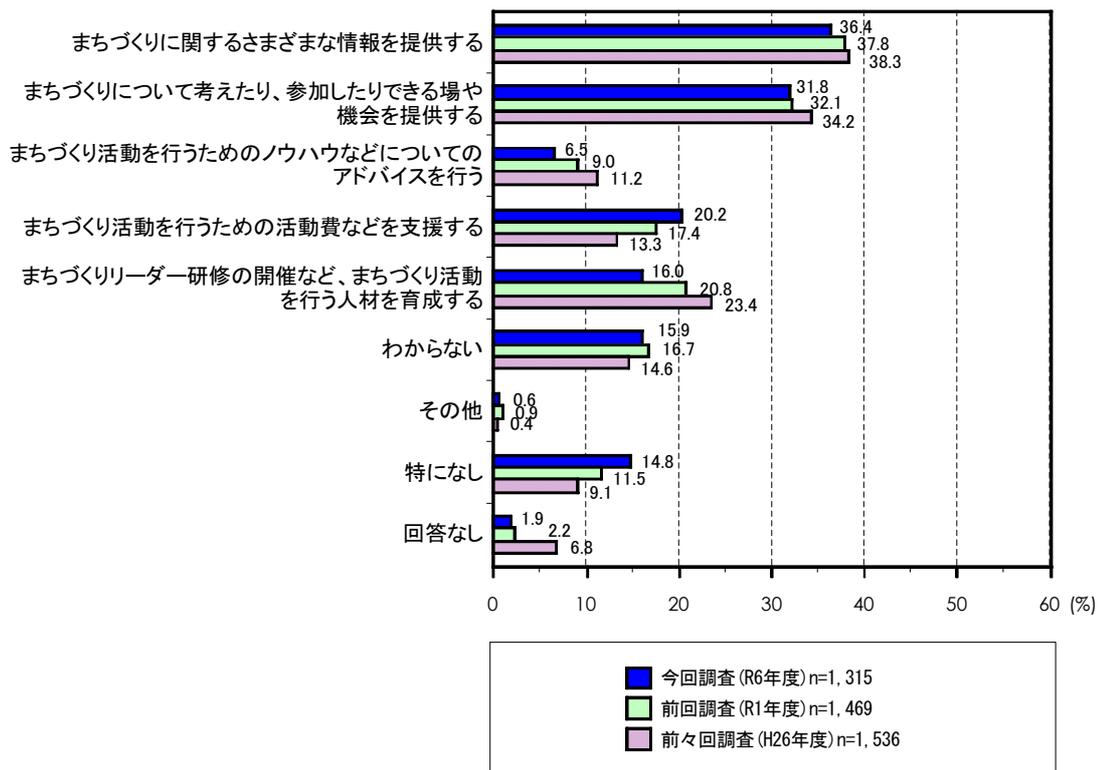


図 6-3 住民参加や住民主体のまちづくりを推進するために町として行うべきこと（前回調査比較）

第7次川越町総合計画 後期基本計画策定に向けた住民意識調査

報告書
令和7年2月

発行／川越町役場 企画情報課

TEL 059-366-7112 FAX 059-364-2568

E-mail : k-kikaku@town.kawagoe.mie.jp